乳幼児の事故に関連する養育者の要因に関する研究
−乳幼児の生活行動範囲の視点から−

課題番号　１３６７２４８６

平成 13 年度〜平成 15 年度科学研究費補助金（基盤（C）（2））研究成果報告書

平成１７年３月

研究代表者　日沼千尋

（東京女子医科大学看護学部教授）

目次

はしがき

我が国の母子保健において、小児救急医療体制の整備と並び乳幼児の「不慮の事故」による死亡の減少が緊急の課題であり、2010 年までの母子保健の主要課題を提示する「健やか親子 21」検討会報告書でも課題の一つとして挙げられている。

本研究は乳幼児の発達段階に応じた事故防止のための情報と学習機会の提供のための教育プログラムを検討するにあたり、一地域の乳幼児の事故実態の調査と乳幼児健診時の教育的介入を行い、その効果を検討した。

調査の方法と教育プログラムの内容、研究の一連の流れについては「研究の概要」を参照いただきたい。

本研究の調査にあたり、ご協力頂きました静岡県大東町(旧)、小笠町(旧)、菊川町(旧)、浜岡町(旧)の町民の皆様、保健センターの皆様に深く感謝申し上げます。

平成 17 年 3 月　研究代表者　日沼千尋

研究組織

研究代表者：日沼 千尋　（東京女子医科大学看護学部 教授）
研究分担者：仁志田 博司（東京女子医科大学医学部 教授）
研究分担者：臼井 雅美　（東京女子医科大学看護学部 助教授）
研究分担者：奥野 順子　（東京女子医科大学看護学部 講師）
研究分担者：川口 千鶴　（自治医科大学看護学部 教授）
研究分担者：澤田 和美　（東京医科歯科大学大学院保健衛生学研究科 助教授）
研究分担者：関森 みゆき（聖路加看護大学大学院看護学研究科博士課程）
研究分担者：石川 眞里子（東京女子医科大学大学院看護学研究科博士課程）
研究分担者：宗村 弥生（東京女子医科大学看護学部 助手）
研究協力者：田久保 由美子（東京女子医科大学看護学部 助手）
研究協力者：谷水 敏子（元大東町保健福祉課 保健師）
研究協力者：平川 歩（大東町保健福祉課 保健師）

交付決定額（配分額）

（金額単位：千円）

	直接経費	間接経費	合計
平成 13 年度	1100	0	1100
平成 14 年度	1100	0	1100
平成 15 年度	1100	0	1100
総計	3300	0	3300

研究発表

（1） 学会誌等

澤田和美, 川口千鶴, 奥野順子, 石川眞里子, 日沼千尋, 谷水敏子, 平川歩：乳幼児の事故に関連する要因-乳幼児健診との関連-, 小児保健研究, 62巻5号576－583, 2003.9.

(2) 口頭発表

澤田和美, 川口千鶴, 奥野順子, 石川眞里子, 日沼千尋, 谷水敏子, 平川歩：乳幼児の事故に関連する要因-乳幼児健診との関連-, 第 49 回日本小児保健学会, 2002.10

関森みゆき, 奥野順子, 臼井雅美, 日沼千尋, 澤田和美, 川口千鶴, 石川眞里子：乳幼児の事故と予防に関する調査-事故と家庭における安全対策との関連から-, 第 50 回日本小児保健学会, 2003.11

研究の概要

我が国は先進国の中でも乳幼児の死因として不慮の事故が多く、21世紀の母子保健の主要な取り組みを提示する「健やか親子21」検討会報告書では、2010年までの主要課題の一つとして、発達段階に応じた事故予防のための情報提供と学習機会の提供が課題として挙げられている。

これまでも住民全員が対象になる乳幼児健診で事故予防のための対策や安全教育といった介入は、安全対策の意識調査への記入[1]や、集団指導やパンフレットを活用した啓発教育が行われており[2)-4)]、一定の成果が報告されている。しかし、子どもの事故や安全対策とそれに関連する要因を検討した実態調査の結果から、介入方法を導き出し、介入実践、効果測定をした研究は見あたらない。そこで、本研究では、一地域における乳幼児と事故との関連要因を検討して、その結果を基に近隣地域で、関連要因を有する対象に乳幼児健診時に介入を行った。介入の前後に、事故実態を測定し、さらに介入群と従来の乳幼児健診のみを受けた対照群との比較を行い、事故予防の早期介入の効果について検討することを目的とした。

従来の乳幼児の事故に関する研究の課題から、本研究では次の２点を考慮した。１点目は家庭内で起こる事故実態は、養育者による報告を基に調査されているが、過去にあった事故を養育者が想起する方法によって行われている事が多く[5)-7)]、この場合、回顧法のため事故の大きさや時期については信頼性が十分とは言えないことが考えられた。そこで、より正確で客観的な事故の程度や回数を明らかにするために、田中[8)]に準じた方法で、養育者が日記形式で記入し、事故実態の把握を試みた。

２点目は、事故と安全対策の関連性を検討する場合に、回顧法で事故実態を調査した場合、事故を起こしたから安全対策を実施したのか、安全対策をとっていなかったので事故を起こしたのか関連性を明らかにできない。そこで、家庭内の安全対策の実施に関する調査後に、事故実態を日記形式で毎日記入し、関係性を明らかにすることを試みた。

３年間（平成13年～15年）の研究経過は下線のように進めた。

<u>平成13年度　乳幼児の事故と関連要因の分析</u>

前年度に実施した静岡県Ａ町の小学校入学前の乳幼児を対象にした事故実態、安全対策、育児負担感の質問紙調査の結果と、子どもの特性、乳幼児健診の受診状況との関連を明らかにした。（この結果は小児保健研究62(5)：576-583, 2003. に発表した。）

ここで得られた結果を基に、以下の仮説を立てて、近隣地域での準実験的な介入研究を行った。

Ⅰ　ベースラインスタディ（介入前）における仮説

仮説１．乳幼児の事故実態は子どもの生活行動による年齢階層によって異なる

仮説２．安全対策をとっている者は事故が少ない

仮説３．乳幼児の事故には、子ども側の要因として性別、きょうだい数、出生順位（下にきょうだいがいる）、通園しているか家庭内で生活するかといった生活形態、および養育者側の要因として、育児負担感、母親の就労状況、母親の年齢、住居形態、子どもの世話をする人数が事故に関連している

Ⅱ　介入後の効果測定における仮説

仮説４：介入群は非介入群より事故が少ない

仮説５：介入群は介入後に事故が減少する

仮説６：介入群は非介入群より、育児負担感が低減し、事故が少なく、安全対策を実施している

なお「年齢階層」とは、成長・発達や生活行動に伴う乳幼児の事故の特徴を反映するために、運動能力や認知能力の発達、生活行動範囲を考慮して、①生後２～７か月児：自力で移動が可能になるまでの時期、②８か月～１歳児：ハイハイや歩行により移動が始まる時期、③２～３歳児：自我や知的好奇心が強くなり行動範囲が広がる時期、④４～６歳児：幼稚園など家庭外での集団生活が営まれる時期、の４つに区分したものである。

<u>平成14年度～15年度　介入研究の実施</u>

静岡県Ａ町周辺３町村において、平成14年10月～平成15年２月に事故実態、安全対策、育児困難感に関する質問紙調査を行った。その後、平成14年11月～平成15年２月に同地域の各保健センターにおける乳児健診、１歳６か月健診、３歳児健診を、

隔回ごとに介入回・非介入回に設定し、介入回の健診では乳幼児と養育者（主に母親）を対象に、以下の事故予防プログラム項目を実施した。（図１）

１．研究班作成のパンフレットの配付：２～７か月，８か月～１歳，２～３歳，４歳～小学校入学前の４段階の年齢階層でみる乳幼児事故予防パンフレット『安全・安心子育て　みんなで気をつけよう!!』を配付した。

２．安全対策物品の展示：安全対策物品として、ビデオロックやコーナークッション、誤飲チェッカーなど販売されている物の他に、牛乳パックのドアガードやレンジカバー、ラップ芯のキャビネットロックなど家庭で作成できる物品の展示を行った。また、自分で手作りできるチャイルドマウスや視野体験メガネ、手作り安全グッズの作り方のプリントを配付した。

３．ビデオ上映：研究班作成の歌が挿入された、オリジナルビデオ『アッ、あぶないよー』を上映した。

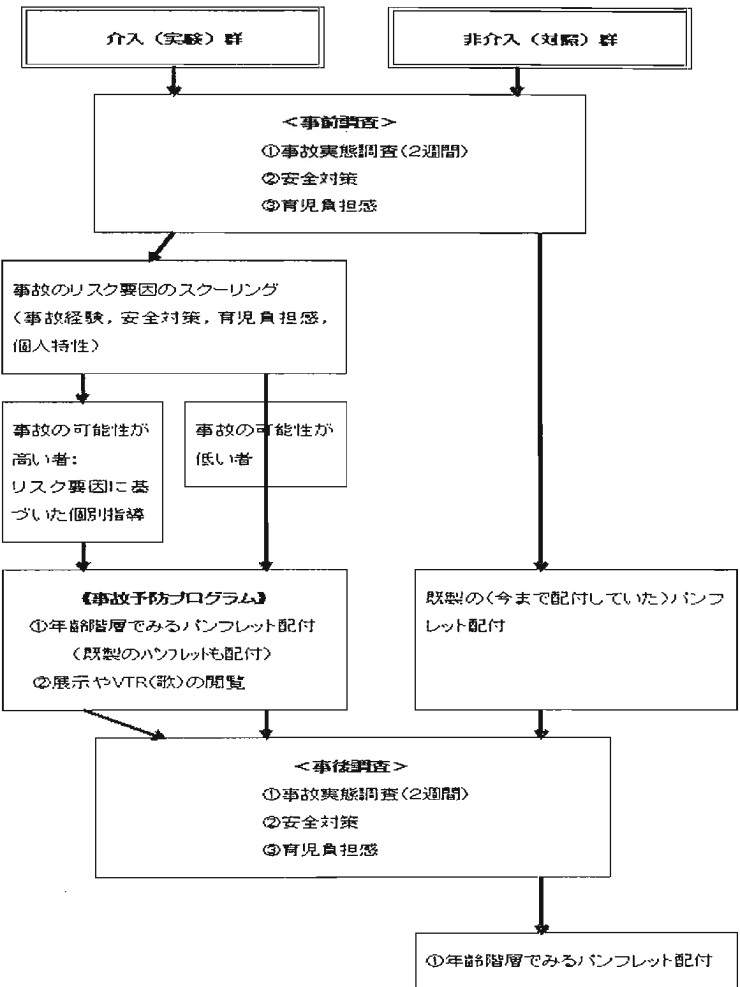



図１．介入デザイン

４．リスク要因を持つ養育者に対する保健師の個別指導：各健診の受付時に“乳幼児の事故予防チェックリスト”を用いて、①就学前までの子どもの過去の事故経験の有無、②安全対策実施の有無、③育児負担感の強弱、④子どもの背景（健診に来ている児のきょうだいの有無，母親以外に児を世話している人の有無など）のチェックを行った。さらに、事故の可能性が高いことが予測されるリスク要因をもつ養育者に対しては、保健師が個別指導を実施した。リスク要因として、①過去に事故の経験がある、②安全対策の未実施、③育児負担感が強い、④子どもの背景として下にきょうだいがいる、子どもの世話する人が母親のみ、を取り上げた。

なお、非介入群には、従来保健センターで行っていた指導を行った。また２回目の調査の後に、非介入群に対しても年齢階層でみる乳幼児事故予防パンフレット『安全・安心子育て　みんなで気をつけよう!!』を配付した。

本研究では、介入回にあたった健診対象の児のきょうだいも介入効果がある対象と考えて介入群に含めた。また非介入回の健診対象児のきょうだいは非介入群に含めて効果測定を行った。

介入後の効果測定のための調査は、平成15年9月～11月に前年の10月～２月に行った調査と同様の質問紙調査を行った。但し、安全対策に関する質問紙は、年齢が異なることで起こりやすい事故が異なると考えたため、介入後調査時点の年齢階層の質問紙を用いた。

倫理的配慮

質問紙調査の実施にあたっては、調査地域の町村に研究実施の承認を得た。対象者には、主任研究者から研究目的と研究の趣旨の説明、また匿名性の維持と秘密の保持、さらに研究参加に同意した後であっても途中で調査への協力を中止することができる旨を明記して、調査への協力を依頼し、同意書による同意を得た。また、居住自治体からの調査協力依頼を同封した。同意書が返送されたものを今回の研究の対象者とし、介入前と介入後に質問紙を郵送した。データは個人が特定できないように処理をし、保管は鍵つきの保管庫で行った。

介入を実施したのは、調査期間の隔回の介入回に相当する乳幼児健診対象だけだったので、それ以外の住民には、２回目の調査終了後、年齢階層でみる事故予防パンフレットの配付、安全対策用具の展示、体験、安全対策のためのビデオ上映ができるよう、用具用材一式を提供し３町村に委託した。

引用文献

1) 梅田勝、清水美登里、天野多真他. 小児事故防止のための保健指導. 平成２年度厚生省心身障害研究「地域・家庭環境の小児に対する影響等に関する研究」報告書. 1991, 176-182.
2) 野尻孝子、由良早苗、尾崎則子. 保健所における小児の事故防止活動の展開. 小児科診療 1996. 10;1625-1634.
3) 鶴田憲一、望月みつ子. 子どもの事故防止のためのアンケート調査. 平成７年度厚生省心身障害研究「生活環境の子どもの健康におよぼす影響に関する研究」報告書. 1996;148-152.
4) 清水美登里、高野陽. 小児の事故防止のための保健指導の試みとその効果. 児童研究 1996. 75;16-24.
5) 高橋種昭、須永進他：現代児童の生活実態に関する研究－乳幼児の事故と安全教育－. 日本総合愛育研究所紀要26集　53-61, 1990.
6) 谷原真一、大牧真理子他：乳幼児の事故経験歴に関する調査． 小児保健研究 60(3):440-446, 2001.
7) 荒木暁子、相墨生恵他：家庭内における幼児の事故及びニアミスの分析. 岩手県立大学看護学部紀要 3:69-75, 2001.
8) 田中哲郎：乳幼児の事故の実態関する調査研究. 平成２年度厚生省心身障害研究「地域・家庭環境の小児に対する影響等に関する研究」報告書. 1990;163-171.

（文責：澤田和美）

乳幼児の事故の実態－14 日間の事故の記録から－

【はじめに】

乳幼児の事故に対して、安全対策がさまざまな方法で取り組まれている。その成果を高めるには、まず事故やその原因を把握することが第１である。事故の実態は数多く調査されているが、事故の実態は過去に起こった事故を想起した調査や医療機関を対象にした調査が多い。今回、家庭内で起こる事故の実態を正確に把握することを目的に日記形式で事故の実態を調査した。

【研究方法】

対象：静岡県中央部の3町に在住する乳幼児のうち、平成14年11月から平成15年2月までに乳幼児健診の対象となった子どもとそのきょうだいとした。

調査方法：調査対象者に調査協力の依頼文を郵送し、文書による同意が得られた養育者に対して、郵送による調査用を送付した。回収は世帯ごとに受取人払い郵送法で行った。調査用紙の記入は母親に依頼した。

調査期間：調査は平成14年10月から平成15年2月に行った。

調査項目：事故の有無と種類別に分けた事故について、16日間連続して記入してもらった。事故の種類は、先行研究を元に、①「転倒（平らなところで転ぶ）」②「転落（高いところや段差から落ちる）」③「衝突（人や物にぶつかる）」④「はさむ」⑤「切る」⑥「やけど」⑦「誤飲（食べてはいけない物を飲み込む）」⑧「窒息（のどに詰まらせる）」⑨「溺れる」⑩「引っぱる（人や物にひっぱられる）」⑪「咬まれる（危険な虫や動物に咬まれる）」⑫「噛まれる（人に噛まれる）」⑬「交通事故」⑭「その他」の14項目とした。事故の種類別に回数と手当をしたかどうか、手当をした場合は家庭か病院か入院かの別も記入してもらった。さらに、事故の原因が分かっている場合はその名称を記入してもらった。

分析方法：事故の記入の 16 日間の最初の２日間は事故に対する意識が高まっていると考え、分析から除外し、14 日間の事故について分析した。

対象となる乳幼児を、成長・発達や生活行動に伴う子どもの事故の特徴を反映するために、運動能力や認知能力の発達、生活行動範囲を考慮して、①生後２～７か月児－自力で移動が可能になるまでの時期、②８か月～１歳児－ハイハイや歩行により移動が始まる時期、③２～３歳児－自我や知的好奇心が強くなり行動範囲が広がる時期、④４～６歳児－幼稚園など家庭外での集団生活が営まれる時期、の４つの年齢階層に区分し、年齢階層ごとに分析した。分析には統計パッケージSPSS11ｊを使用した。

倫理的配慮：調査対象者の養育者に対して主任研究者および、居住自治体からの調査協力依頼を文書で行った。同意書が返送された養育者に改めて質問紙を郵送した。データは個人が特定できないように処理をし、保管は鍵つきの保管庫で行った。

【結果】

1．対象者の背景

乳幼児健診の対象となった乳幼児は680人（663世帯）で、養育者の同意が得られた乳幼児は455人(290世帯)、同意率は66.9％（世帯同意率43.7％）であった。質問紙の返信は440人（279世帯）で、回収率は96.7％であった。そのうち有効解答は425名(96.6％)であった。

今回、事故実態の分析対象となる乳幼児は399名で、その年齢階層別内訳は2～7か月児76名（19.0％）、8か月～１歳児122名（31.5％）、2～3歳児127名（31.8％）、4～6歳児74名（18.6％）であり、平均年齢は2.3歳であった(表１)。男児は195名(41.1％)、女児は202名（50.9％）であった。出生順位は第１子209名、第２子147名で、きょうだい数は一人っ子96名、二人204名、三人以上99名であった。通園状況は家庭内が238名、保育所や幼稚園等に通っている場合は126名であった。

表1　年齢階層別対象人数　n=399

年齢階層	人	(%)
2～7か月児	76	(19.0)
8か月～1歳児	122	(30.6)
2～3歳児	127	(31.8)
4～6歳児	74	(18.5)
計	399	(100.0)

母親の年齢は平均30.4歳で、130名（33.8%）が有職者であった。同居している大人の人数が二人の場合は230名(58.6%)で、子どもの世話をする人数は一人以上が358名(90.2%)であった。住居形態は１階部分（平屋の１戸建て、および集合住宅１階）が89名(22.3%)、２階以上（２階建ての一戸建て、および集合住宅２階以上)が310名(77.7%)であった(表２)。

表3　事故の経験と回数

	全体	2～7か月児	8か月～1歳児	2～3歳児	4～6歳児
	n=399	n-76	n=122	n=127	n=74
	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
事故なし	91 (22.8)	50 (65.8)	3 (2.5)	21 (16.5)	17 (23.0)
事故あり	308 (77.2)	26 (34.2)	119 (97.5)	106 (83.5)	57 (77.0)
回数　1回	58 (18.8)	11 (42.3)	18 (15.1)	16 (15.1)	13 (22.8)
2回	45 (14.6)	7 (26.9)	10 (8.4)	16 (15.1)	12 (21.1)
3回	41 (13.3)	2 (7.7)	12 (10.1)	15 (14.2)	12 (21.1)
4回	22 (7.1)	1 (3.8)	5 (4.2)	9 (8.5)	7 (12.3)
5回以上	142 (46.1)	5 (19.2)	74 (62.2)	50 (47.2)	13 (22.8)

２．事故の経験

１）事故を経験した乳幼児

分析対象の399名の乳幼児のうち、14日間に事故があった乳幼児は308名（77.2%）であった（表３）。回数は１回が58名（18.8%）で、５回以上も142名（45.1%）おり、最大56回、平均回数は6.9回であった。

事故の種類別では「転倒」があった乳幼児が228名（57.1%）で最も多く、次いで「衝突」164名(41.1%)、「転落」121名（30.3%）、「はさむ」95名（23.8%）であった（表４）。「交通事故」は一人もいなかった。

表2　対象の背景　n=399

		人	(%)
性別	男	195	(48.9)
	女	202	(50.6)
	不明	2	(0.5)
出生順位	第1子	209	(52.4)
	第2子	147	(36.8)
	第3子以上	43	(10.8)
兄弟数	1人っ子	96	(24.1)
	2人	204	(51.1)
	3人以上	99	(24.8)
通園など	家庭内	238	(59.6)
	幼稚園	51	(12.8)
	保育園	75	(18.8)
	その他	11	(2.8)
	不明	24	(6.0)
母親の年齢	24歳以下	28	(7.0)
	25～29歳	144	(36.1)
(平均30.4歳)	30～34歳	161	(40.4)
	35～39歳	55	(13.8)
	40歳以上	5	(1.3)
	不明	6	(1.5)
母親の職業	有職	130	(32.6)
	無職	255	(63.9)
	不明	14	(3.5)
同居している大人の人数	2人	230	(57.6)
	3人	29	(7.3)
	4人	79	(19.8)
	5人以上	55	(13.8)
	不明	6	(1.5)
世話する人数	1人以下	366	(91.7)
	2人以上	31	(7.8)
	不明	2	(0.5)
住居層	1階	89	(22.3)
	2階以上	310	(77.7)

表4　種類別事故の経験

事故		全体	2～7か月児	8か月～1歳児	2～3歳児	4～6歳児
		n=399	n=76	n=122	n=127	n=74
種類	有無	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
転倒	なし	171 (42.9)	74 (97.4)	26 (21.3)	40 (31.5)	31 (41.9)
	あり	228 (57.1)	2 (2.6)	96 (78.7)	87 (68.5)	43 (58.1)
衝突	なし	235 (58.9)	61 (80.3)	52 (42.6)	67 (52.8)	55 (74.3)
	あり	164 (41.1)	15 (19.7)	70 (57.4)	60 (47.2)	19 (25.7)
転落	なし	278 (69.7)	69 (90.8)	57 (46.7)	86 (67.7)	66 (89.2)
	あり	121 (30.3)	7 (9.2)	65 (53.3)	41 (32.3)	8 (10.8)
はさむ	なし	304 (76.2)	75 (98.7)	69 (56.6)	95 (74.8)	65 (87.8)
	あり	95 (23.8)	1 (1.3)	53 (43.4)	32 (25.2)	9 (12.2)
引っぱる	なし	352 (88.2)	71 (93.4)	102 (83.6)	113 (89.0)	66 (89.2)
	あり	47 (11.8)	5 (6.6)	20 (16.4)	14 (11.0)	8 (10.8)
切る	なし	352 (88.2)	72 (94.7)	112 (91.8)	106 (83.5)	62 (83.8)
	あり	47 (11.8)	4 (5.3)	10 (8.2)	21 (16.5)	12 (16.2)
誤飲	なし	383 (96.0)	73 (96.1)	110 (90.2)	126 (99.2)	74 (100.0)
	あり	16 (4.0)	3 (3.9)	12 (9.8)	1 (0.8)	0 (0.0)
噛まれる	なし	383 (96.0)	74 (97.4)	118 (96.7)	120 (94.5)	71 (95.9)
	あり	16 (4.0)	2 (2.6)	4 (3.3)	7 (5.5)	3 (4.1)
やけど	なし	386 (96.7)	76 (100.0)	116 (95.1)	122 (96.1)	72 (97.3)
	あり	13 (3.3)	0	6 (4.9)	5 (3.9)	2 (2.7)
咬まれる	なし	390 (97.7)	76 (100.0)	119 (97.5)	123 (96.9)	72 (97.3)
	あり	9 (2.3)	0	3 (2.5)	4 (3.1)	2 (2.7)
溺れ	なし	392 (98.2)	76 (100.0)	116 (95.1)	126 (99.2)	74 (100.0)
	あり	7 (1.8)	0	6 (4.9)	1 (0.8)	0
窒息	なし	397 (99.5)	76 (100.0)	121 (99.2)	126 (99.2)	74 (100.0)
	あり	2 (0.5)	0	1 (0.8)	1 (0.8)	0
交通事故	なし	399 (100.0)	76 (100.0)	122 (100.0)	127 (100.0)	74 (100.0)
	あり	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
その他	なし	393 (98.5)	76 (100.0)	121 (99.2)	124 (97.6)	72 (97.3)
	あり	6 (1.5)	0 (0.0)	1 (0.8)	3 (2.4)	2 (2.7)

2）事故で手当てを受けた乳幼児

事故があった乳幼児のうち、手当てを受けたのは130名（42.4%）であった（表５）。対象者全体（399名）では32.6%にあたった。回数は１回が76名（60.8%）、２回が29名（22.3%）で、平均1.8回だった。

事故の種類では「転倒」があった乳幼児228名のうち、手当を受けたのは77名(33.8%)で、「衝突」では164名中、21名（12.8%）、「転落」121名中、21名（17.4%）、「はさむ」95名中17名（17.9%）であった（表６）。

手当てをした割合が最も高かった事故の種類は「やけど」で13名中、11名（84.6%）おり、次いで「切る」47名中、22名（46.8%）であった。

3）年齢階層別にみた事故の経験（表３～６）

(1) ２～７か月児

2~7か月児76名のうち、14日間に事故があった乳児は26名(34.2%)で、他の年齢階層に比べて、最も少ない割合であった。事故の種類では「衝突」が15名(19.7%)で最も多く、次いで「転落」7名（9.2%）であった。

事故があった26名中、7名(26.9%)が手当を受けたが、他の年齢階層に比べると、最も少ない割合だった。手当てをうけた事故の種類は「転落」が3名、「切る」2名、「衝突」と「誤飲」が1名ずつであった。

(2) ８か月～１歳児

８か月～１歳児122名中、119名(97.5%)の乳幼児が事故を経験していた。平均回数は9.1回で、５回以上が74名（62.6%）おり、経験率、回数ともに他の年齢階層に比して、一番多かった。

表5　手当てをした事故の経験

	全体 n=308		2～7か月児 n=26		8か月～1歳児 n=119		2～3歳児 n=106		4～6歳児 n=57	
	人	(%)	人	(%)	人	(%)	人	(%)	人	(%)
手当てなし	178	(57.8)	19	(73.1)	81	(68.1)	52	(49.1)	26	(45.6)
手当てあり	130	(42.2)	7	(26.9)	38	(31.9)	54	(50.9)	31	(54.4)
回数 1回	79	(60.8)	6	(85.7)	19	(50.0)	33	(61.1)	21	(67.7)
2回	29	(22.3)	0		11	(28.9)	13	(24.1)	5	(16.1)
3回	11	(8.5)	0		3	(7.9)	6	(11.1)	2	(6.5)
4回	4	(3.1)	0		2	(5.3)	0		2	(6.5)
5回	1	(0.8)	0		1	(2.6)	0		0	
6回	2	(1.5)	0		1	(2.6)	1	(1.9)	0	
7回	3	(2.3)	0		1	(2.6)	1	(1.9)	1	(3.2)
10回	1	(0.8)	1	(14.3)	0		0		0	

表6　事故の種類別手当ての経験

事故の種類	手当ての有無	全体		2～7か月児		8か月～1歳児		2～3歳児		4～6歳児	
		人	(%)	人	(%)	人	(%)	人	(%)	人	(%)
転倒	なし	151	(66.2)	2	(100.0)	77	(80.2)	52	(59.8)	20	(46.5)
n=228	あり	77	(33.8)	0		19	(19.8)	35	(40.2)	23	(53.5)
衝突	なし	143	(87.2)	14	(93.3)	64	(91.4)	48	(80.0)	17	(89.5)
n=164	あり	21	(12.8)	1	(6.7)	6	(8.6)	12	(20.0)	2	(10.5)
転落	なし	100	(82.6)	4	(57.1)	54	(83.1)	36	(87.8)	6	(75.0)
n=121	あり	21	(17.4)	3	(42.9)	11	(16.9)	5	(12.2)	2	(25.0)
はさむ	なし	78	(82.1)	1	(100.0)	46	(86.8)	25	(78.1)	6	(66.7)
n=95	あり	17	(17.9)	0	(0.0)	7	(13.2)	7	(21.9)	3	(33.3)
切る	なし	25	(53.2)	2	(50.0)	5	(50.0)	12	(57.1)	6	(50.0)
n=47	あり	22	(46.8)	2	(50.0)	5	(50.0)	9	(42.9)	6	(50.0)
引っぱる	なし	46	(97.9)	5	(100.0)	19	(95.0)	14	(100.0)	8	(100.0)
n=47	あり	1	(2.1)	0		1	(5.0)	0		0	
誤飲	なし	13	(81.3)	2	(66.7)	9	(90.0)	0	(0.0)	0	
n=16	あり	3	(18.8)	1	(33.3)	1	(10.0)	1	(100.0)	0	
噛まれる	なし	15	(93.8)	2	(100.0)	4	(100.0)	6	(85.7)	3	(100.0)
n=16	あり	1	(6.3)	0		0		1	(14.3)	0	
やけど	なし	2	(15.4)	0		1	(16.7)	1	(20.0)	0	
n=13	あり	11	(84.6)	0		5	(83.3)	4	(80.0)	2	(100.0)
咬まれる	なし	7	(77.8)	0		3	(100.0)	4	(100.0)	0	
n=9	あり	2	(22.2)	0		0		0		2	(100.0)
溺れる	なし	6	(85.7)	0		5	(83.3)	1	(100.0)	0	
n=7	あり	1	(14.3)	0		1	(16.7)	0		0	
窒息	なし	2	(100.0)	0		1	(100.0)	1	(100.0)	0	
n=2	あり	0		0		0		0		0	
その他	なし	5	(83.3)	0		0		3	(100.0)	2	(100.0)
n=6	あり	1	(16.7)	0		1	(100.0)	0		0	

事故の種類は「転倒」が96名(78.7%)と最も多く、「衝突」70名(57.4%)、「転落」65名(53.3%)、「はさむ」53名(43.4%)の順であった。「引っぱる」「誤飲」「やけど」「溺れ」は他の年齢階層と比べて、経験率が最も高かった。また、「窒息」があったのは全対象児で２名あったが、うち１名が8か月～１歳児であった。

事故があった119名のうち、手当てを受けたのは、38名(31.9%)であった。事故の種類では「転倒」があった96名中、19名(15.6%)が手当てを受け、「転落」では65名中、11名（16.9%）、「はさむ」53名中、7名(13.2%)であった。「やけど」は6名中、5名が手当てを受けた。

(3) ２～３歳児

2～3歳児127名のうち、事故があったのは106名(83.5%)であった。事故の種類では「転倒」が87名（68.5%）で最も多く、次いで「衝突」60名（47.2%）であった。「切る」「噛まれる」「咬まれる」が年齢階層の中で割合が高かった。また、「窒息」は1名あった。

事故があった106名中、手当てをうけたのは、54名（50.9%）であった。事故の種類では「転倒」87名中、35名（40.2%）、「衝突」60名中、12名（20.0%）が手当てを受けた。「切る」では9名が、「やけど」は4名、「誤飲」1名、「噛まれる」1名が手当てを受けた。

(4) ４～６歳児

74名の4～6歳児のうち、57名(77.0%)に事故があった。事故の種類では「転倒」43名(58.1%)、「衝突」19名（25.7%）、「切る」12名（16.2%）が多かった。

手当てを受けたのは31名で、事故があったうちの54.4%にあたり、他の年齢階層に比べて、最も高い割合であった。「転倒」では43名中、53.5%の23名が、「切る」では12名中、半数の6名が手当てを受けた。また、「やけど」と「咬まれる」では２名ずつが手当てを受けた。

３．事故の内訳

１）事故の種類（表７）

14日間で全対象者が経験した事故の合計は2112件であった。14日間の発生頻度は対象者全体で5.3回であった。

事故の種類では「転倒」が1038件（49.1%）で最も多く、次いで「衝突」399件（18.9%）、「転落」235件（11.1%）の順であった。

２）手当てをした事故（表８）

総事故数2112件のうち、手当てをした事故は234件、約１割であった。手当てを受けた事故の発生頻度は対象者全体で0.59回/14日間であった。

表7 事故の種類別、事故件数 (%)

事故の種類	件数	内、手当した件数
転倒	1038 (49.1)	106 (45.3)
衝突	399 (18.9)	27 (11.5)
転落	235 (11.1)	33 (14.1)
はさむ	144 (6.8)	20 (8.5)
引っぱる	143 (6.8)	4 (1.7)
切る	54 (2.6)	23 (9.8)
噛まれる	38 (1.8)	1 (0.4)
誤飲	20 (0.9)	3 (1.3)
やけど	13 (0.6)	11 (4.7)
咬まれる	9 (0.4)	2 (0.9)
溺れ	9 (0.4)	1 (0.4)
窒息	2 (0.1)	0 (0.0)
交通事故	0 (0.0)	0 (0.0)
その他	8 (0.4)	3 (1.3)
合計	2112 (100.0)	234 (100.0)

表8 手当をした事故の対応別件数 (%)

事故の種類		対応	全体	2～7か月児	8か月～1歳児	2～3歳児	4～6歳児
全事故	n=234	家庭	225 (96.2)	16 (100.0)	71 (93.4)	88 (97.8)	50 (96.2)
		通院	9 (3.8)	0 (0.0)	5 (6.6)	2 (2.2)	2 (3.8)
転倒	n=106	家庭	102 (96.2)	0	26 (92.9)	45 (97.8)	31 (96.9)
		通院	4 (3.8)	0	2 (7.1)	1 (2.2)	1 (3.1)
転落	n=33	家庭	30 (90.9)	12 (100.0)	8 (72.7)	7 (100.0)	3 (100.0)
		通院	3 (9.1)	0 (0.0)	3 (27.3)	0 (0.0)	0 (0.0)
衝突	n=27	家庭	26 (96.3)	1 (100.0)	8 (100.0)	14 (93.3)	3 (100.0)
		通院	1 (3.7)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (6.7)	0 (0.0)
切る	n=234	家庭	22 (95.7)	2 (100.0)	5 (100.0)	9 (100.0)	6 (85.7)
		通院	1 (4.3)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (14.3)
はさむ	n=20	家庭	20 (100.0)		10 (100.0)	7 (100.0)	3 (100.0)
やけど	n=11	家庭	11 (100.0)		5 (100.0)	4 (100.0)	2 (100.0)
引っぱる	n=4	家庭	4 (100.0)		4 (100.0)		
誤飲	n=33	家庭	3 (100.0)	1 (100.0)	1 (100.0)	1 (100.0)	
咬まれる	n=2	家庭	2 (100.0)				2 (100.0)
溺れる	n=1	家庭	1 (100.0)		1 (100.0)		
噛まれる	n=1	家庭	1 (100.0)			1 (100.0)	
その他	n=3	家庭	3 (100.0)		3 (100.0)		

事故の種類では「転倒」が106件（45.3%）、「転落」（14.1%）、「衝突」（11.5%）、「切る」（9.8%）などであった。

手当てをした事故234件の96.2%が〈家庭で手当てした〉（225件）であった。〈病院で手当てを受けた〉は9件（3.8%）あったが、入院はなかった。

２～７か月児では手当てをした事故は16件で、全て〈家庭で手当て〉した。「転落」が12件（75%）で最も多かった。

８か月～１歳児では76件、手当てしており、事故の種類では「転倒」が28件（36.8%）で最も多く、次いで「転落」11件（14.5%）、「はさむ」10件（13.2%）であった。〈病院を受診〉した事故は5件あり、うち3件が「転落」であった。

２～３歳児は90件の手当てをした事故があり、半数が「転倒」であった（46件、51.1%）。また、「衝突」は16件（17.8%）、「切る」9件（10%）であった。〈病院を受診〉した事故は2件で「転倒」と「衝突」であった。

４～６歳児では52件手当てしており、事故の種類では「転倒」が32件（61.5%）で最も多く、次いで「切る」6件（13.5%であった。〈病院を受診〉した事故は2件あり、「転倒」と「切る」であった。

４．事故の原因（物）（表９）

１）衝突

手当をしなかった事故の原因(物)は、324件あり、事故の種類の中では最も多く記入されていた。原因（物）では〈テーブル・机〉が96件と多く、〈人〉、〈きょうだい〉、〈椅子〉も多かった。

家庭で手当をした事故の原因（物）についての記入は23件あり、8か月～1歳児と2～3歳児では〈きょうだい〉の記入があった。

病院を受診した2件は8か月～1歳児の〈テーブル・机〉であった。

２）転倒

手当をしなかった事故の原因（物）では、319件の記入があり、〈石〉や〈おもちゃ〉、〈敷物や布団〉が多かった。〈足のもつれ〉は8か月～1歳児、2～3歳児に記入があった。

家庭で手当をした事故の原因（物）は37件あり、〈石〉が6件で多かった。8か月～1歳児で多い原因（物）は〈石〉で、他に〈敷居〉〈段差〉〈靴〉〈スリッパ〉があった。2～3歳児では〈コンビカーなどの乗り物〉、4～6歳児では〈自転車〉の記入があった。

病院を受診した2件は8か月～1歳児の〈台や箱〉と2～3歳児の〈カート〉によるものであった。

３）転落

手当をしなかった事故の原因（物）182件では〈椅子〉が最も多く、他〈段差〉〈ソファ〉〈室内大型遊具〉などもあった。

家庭で手当をした原因（物）には31件の記入があり、〈敷物・布団〉が最も多く、すべて2～7か月児であった。8か月～1歳児以降では〈椅子〉〈階段〉、4～6歳児では〈固定遊具〉の記入があった。

病院を受診した３件はいずれも8か月～1歳児で、原因は〈階段〉〈椅子〉〈テーブル・机〉であった。

４）はさむ

「はさむ」事故のうち、手当をしなかった場合の原因（物）には、118件の記入があり、〈ドア・引き戸〉が54件で最も多かった。2～7か月児では原因(物)物の記入は少なかった。家庭で手当てをした事故の原因（物）でも〈ドア・引き戸〉が、どの年齢階層でも一番多かった。

５）引っぱる

「引っぱる」では、手当てをしなかった原因（物）物は108件あり、うち67件が〈きょうだい〉だった。また、23件は〈友人〉で、8か月～1歳児が多かった。家庭で手当てをした4件はすべて8か月～1歳児で〈きょうだい〉であった。

６）切る

手当をしなかった事故の原因(物)22件では、〈紙〉が多かった。家庭で手当てをした事故では18件の記入があり、〈紙〉の他に〈爪切り〉があった。病院を受診した原因（物）は4～6歳児の〈ドアのレール〉であった。

７）噛まれる

人に「噛まれる」で手当てをしなかった事故（物）は33件あり、うち〈きょうだい〉が26件、友人が4件であった。手当てをしたのは2～3歳児の１件だった。

表９ 事故の原因物

衝突

区分	手当なし	323	家庭で手当て	23	病院で手当て	2
全体	テーブル・机	96	テーブル・机	3	テーブル・机	2
	人	39	きょうだい	3		
	きょうだい	23	柱	2		
	椅子	22	ドア・引き戸	2		
2～7か月児	テーブル・机	11				
	家具	4				
8か月～1歳児	テーブル・机	59	テーブル・机	2	テーブル・机	2
	人	22	家具	1		
	きょうだい	12	窓サッシ	1		
2～3歳児	テーブル・机	24	ドア・引き戸	2		
	人	15	きょうだい	2		
	ドア・引き戸	8	自動車	1		
4～6歳児	自転車	4	おもちゃ	1		
	友人	4	柱	1		

転倒

区分	手当なし	319	家庭で手当て	37	病院で手当て	2
全体	石	51	石	6	台・箱	1
	おもちゃ	32	段差	3	カート	1
	敷物・布団	29	靴	3		
	足もつれ	24	敷居	2		
2～7か月児	食器棚	1				
8か月～1歳児	石	30	石	3	台・箱	1
	敷物・布団	24	敷居	2		
	おもちゃ	24	段差	1		
2～3歳児	石	17	コンビカー乗り物	2	カート	1
	段差	10	石	2		
	足もつれ	10	段差	2		
4～6歳児	自転車	9	坂	2		
	石	4	自転車	2		
	段差	3	ロープ	1		

転落

区分	手当なし	182	家庭で手当て	31	病院で手当て	3
全体	椅子	46	敷物・布団	10	階段	1
	段差	19	テーブル・机	3	椅子	1
	ソファ	17	固定遊具	2	テーブル・机	1
	室内大型遊具	14	段差	2		
2～7か月	ソファ	3	敷物・布団	10		
	椅子	1	ソファ	1		
8か月～1歳児	椅子	34	椅子	2	階段	1
	階段	10	テーブル・机	1	椅子	1
	ソファ	10	ベット	1	テーブル・机	1
2～3歳児	段差	11	階段	1		
	椅子	9	段差	1		
	台・箱	5	ソファ	1		
4～6歳児	固定遊具	3	固定遊具	2		
	段差	2				
	椅子	2				

切る

区分	手当なし	22	家庭で手当て	18	病院で手当て	1
全体	紙	5	紙	3	ドアのレール	1
	人	3	爪切り時	3		
	おもちゃ	3	おもちゃ	2		
	友人	2	自分で爪を切る	1		
2～7か月	紙	1	爪切り時	3		
8か月～1歳児	おもちゃ	2	コンクリート	1		
	紙	2	おもちゃ	1		
			友人	1		
2～3歳児	紙	2	紙	2		
	椅子	1	はさみ	1		
	おもちゃ	1	棒・木・板	1		
4～6歳児	人	2	おもちゃ	1	ドアのレール	1
	友人	1	固定遊具	1		

はさむ

区分	手当なし	118	家庭で手当て	20
全体	ドア・引き戸	54	ドア・引き戸	10
	窓サッシ	8	窓サッシ	3
	引き出し	8	引き出し	3
	ふすま	8	車のドア	1
2～7か月	テーブル・机	1		
	家具	1		
8か月～1歳児	ドア・引き戸	34	ドア・引き戸	4
	ふすま	7	窓サッシ	3
	窓サッシ	6	ベビーカー	1
2～3歳児	ドア・引き戸	14	ドア・引き戸	4
	おもちゃ	4	椅子	1
	窓サッシ	2	引き出し	1
4～6歳児	ドア・引き戸	6	ドア・引き戸	2
	ベット	1	引き出し	1

引っぱる

区分	手当なし	108	家庭で手当て	4
全体	きょうだい	67	きょうだい	4
	友人	23		
	人	12		
	祭りのひも	2		
2～7か月	きょうだい	16		
8か月～1歳児	きょうだい	11	きょうだい	4
	友人	10		
	人	5		
2～3歳児	きょうだい	24		
	友人	8		
	犬	1		
4～6歳児	きょうだい	16		
	友人	5		

噛まれる（人）

区分	手当なし	33	家庭で手当て	1
全体	きょうだい	23	友人	1
	友人	4		
	人	2		
	自分の手	1		
2～7か月	きょうだい	19		
8か月～1歳児	きょうだい	3		
	人	1		
	友人	1		
2～3歳児	友人	3	友人	1
	人	1		
	きょうだい	1		
4～6歳児	きょうだい	3		

誤飲

区分	手当なし	15	家庭で手当て	3
全体	砂	3	ティッシュ	1
	紙	2	おはじき	1
	薬	1	蟻の巣コロリ	1
	小梅の種	1		
2～7か月児	髪の毛	1	ティッシュ	1
	コンセント	1		
8か月～1歳児	砂	3	おはじき	1
	紙	2		
	薬	1		
2～3歳児			蟻の巣コロリ	1
4～6歳児				

咬まれる（動物や虫）

区分	手当なし	8	家庭で手当て	2
全体	猫	2	虫	1
	犬	1	蚊	1
	うさぎ	1		
	ハムスター	1		
2～7か月児				
8か月～1歳児	ハムスター	1		
	うさぎ	1		
	猫	1		
2～3歳児	カマキリ	1		
	キリギリス	1		
	犬	1		
4～6歳児			虫	1
			蚊	1

溺れる

区分	手当なし	7	家庭で手当て	1
全体	風呂	7	風呂	1
2～7か月児				
8か月～1歳児	風呂	6	風呂	1
2～3歳児	風呂	1		
4～6歳児				

やけど

区分	手当なし	3	家庭で手当て	10
全体	コンロ類	2	湯・汁物・食べ物	2
	なべ柳	1	なべ類	2
			コンロ類	2
			食器	1
8か月～1歳児	コンロ類	2	湯・汁物・食べ物	1
			なべ類	1
			コンロ類	1
2～3歳児	なべ類	1	食べ物	1
			線香	1
			蚊取り線香	1
4～6歳児			なべ類	1
			食器	1

窒息

区分	手当なし	2	家庭で手当て	0
全体	枝豆の皮	1		
	入れすぎ	1		
8か月～1歳児	枝豆の皮	1		
2～3歳児	入れすぎ	1		
4～6歳児				

その他

区分	手当なし	2
全体	妹に目をつつかれる	1
	ホース（ひっかかる）	1
8か月～1歳児		
2～3歳児	妹に目をつつかれる	1
	ホース（ひっかかる）	1
4～6歳児		

8）誤飲

「誤飲」では手当てをしなかった原因（物）物には15件の記入があり、〈砂〉や〈紙〉の他、〈薬〉〈小梅の種〉〈朝顔の種〉〈ドングリ〉〈実〉などがあり、8か月～1歳児に記入が多かった。家庭で手当てをした事故の原因（物）物3件は2～7か月児〈ティッシュ〉、8か月～1歳児〈おはじき〉、2～3歳児〈『蜂の巣ころり』〉であった。

9）咬まれる

「咬まれる」動物は〈猫〉や〈犬〉〈ウサギ〉〈ハムスター〉、虫は〈蚊〉〈キリギリス〉〈かマキリ〉で、8か月～1歳児と2～3歳児であった。家庭で手当てをしたのは4～6歳児の〈虫〉と〈蚊〉であった。

10）溺れる

「溺れる」の原因は全て〈風呂〉であった。手当てをしなかった事故は７件あり、うち６件が8か月～1歳児で、１件が2～3歳児であった。家庭で手当てをしたのは8か月～1歳児で１件であった。

11）やけど

「やけど」は手当てをしなかった原因（物）の記入は3件で少なかった。一方、家庭で手当てをした事故は10件で、〈湯・汁・食べ物〉や〈なべ・やかん・フライパン〉〈コンロ・ホットプレート〉などの調理器具であった。また、2～3歳児では〈線香〉〈蚊取り線香〉が１件ずつあった。

12）窒息

「窒息」では手当てをしなかった原因（物）に、8か月～1歳児〈枝豆の皮〉、2～3歳児〈食べ物の入れすぎ〉の計２件のみの記入があった。

【考察】

今回、14日間におよぶ事故実態の調査期間中、対象となった乳幼児のうち、８割弱の乳幼児が事故を経験し、約３割が手当てを受けた。事故の総件数の約１割が手当てした事故だった。また、そのうち９件が病院を受診したが、幸いにも入院には至らなかった。

田中ら[1)]は平成２年に東京都下で７日間、乳幼児を対象に家庭で起こった事故を調査した研究を行い、その結果によると年間事故発生頻度は40回/年であった。今回の調査から同様の方法で年間事故発生頻度を算出したところ、138回/年であり、約3.5倍、多い値となった。これは、調査の時代や地域の違いの他に、身体に損傷が起こらなくても、「もう少し～だったら、危害が生じたかもしれない」などの、いわゆるニアミス体験も養育者が「事故」と判断したことが多かったためと思われる。今回は「事故」でも手当てをしなかった場合は約９割あったが、田中らの調査では、手当てをしなかった場合は約６割と少なかったことからも、今回の事故への認識が高かったため、結果、事故発生頻度が多くなったと考えられた。

田中らの調査では家庭や病院で処置をした事故の年間発生頻度は約13件（267*365/7/1075=12.95）であった。今回の調査でも手当てをした事故の年間発生頻度は約15件（234*365/14/399= 15.3）で、ほぼ同じ値となった。田中らの調査も、今回の調査もいずれも日記形式で事故を記録するという方法をとっており、事故の実態をより正確に把握できる方法と考えられるが、何らかの処置を必要とする事故の発生頻度がほぼ同じという結果は興味深い。

事故の種類では「転倒」を経験した乳幼児は約６割で、事故件数でも５割が「転倒」で最も多かった。これは先行研究と同様の結果であった。「やけど」や「切る」は手当てを受ける割合が高い事故であったが、これらの事故の種類は身体に損傷を受ける事故であり、特に注意が必要である。

年齢階層では、8か月～1歳児が最も高い割合で事故を経験していたが、8か月～1歳児は歩行を確立する頃であり、転びやすいなど発達の特徴から事故が起こりやすいと考えられた。また「引っぱる」「誤飲」「やけど」「溺れ」の経験率が他の年齢層に比べて高かったが、行動範囲の広がりに起因する事故と思われた。

手当てをした事故の経験は２～７か月児では事故があったうちの26.9%が手当てを受けていたが、4～6歳児では54.4%となり、年齢階層が高くなるに従って手当ての割合が高くなっていた。この傾向も田中らの調査と同様であった。子どもが幼少なほど、養育者は子どもの行動に対する関心が強いため、手当てには至らない事をも事故と判断した結果と思われる。

原因（物）の調査からは年齢階層によって事故の原因（物）が違うことが、一層明らかにされた。たとえば「転倒」は8か月～1歳児では〈石〉〈敷居〉〈段差〉が、2～3歳児では〈コンビカーなどの乗り物〉、4～6歳児では〈自転車〉というように、年齢階層によって原因が異なっていた。さらに、「やけど」の原因には〈線香〉や〈蚊取り線香〉があり、地域によっては使用頻度が低いと思われるものもあった。

また、事故の原因で〈噛まれる〉をはじめ、〈衝突〉〈引っぱる〉などの事故はきょうだいや友人が原因になっていることが多かった。保育所での事故調査[2)]によると、事故の原因物質として他児が15.7%で最も多いことが明らかにされているが、子どものかかわりの中で起こりうる事故については、周囲の大人の適切な配慮はもちろんのこと、理解力に応じた子どもたちへの安全教育も必要である。

今回の日記形式による14日間の事故の実態から、事故を予防するには、発達を考慮し、地域特性をふまえた生活や環境を把握した内容であるものが重要であることが再確認された。

引用・参考文献

1）田中哲郎:乳幼児の事故の実態関する調査研究. 平成2年度厚生省心身障害研究「地域・家庭環境の小児に対する影響等に関する研究」報告書. 1990;163-171.

2）田中哲郎:保育所における事故防止マニュアル. 日本小児医事出版社, 2002.

3）田中哲郎：わが国の乳幼児事故. 1990, まほろば.

4）田中哲郎, 小林正子：小児事故の全国調査の詳細分析に関する研究結果の概要, 平成１０年度厚生省厚生科学研究「子どもの事故とその防止に関する研究」報告書, 257-266, 1999.

5）谷原真一, 大牧真理子, 中村好一他：乳幼児の事故経験に関する調査, 小児保健研究, 60 (3), 440-446, 2001.

6）奥野順子, 川口千鶴, 日沼千尋他：乳幼児の事故の実態と対応――地域における事故の経験から―, 日本小児看護学会誌, 11(1), 37-43, 2002.

（文責：奥野順子）

資料 表1 対象の背景 (%)

		全体 n=399	2～7か月児 n=76	8か月～1歳児 n=122	2～3歳児 n=127	4～6歳児 n=74
性別	男	195 (48.9)	38 (50.0)	54 (44.3)	72 (56.7)	31 (41.9)
	女	202 (50.6)	38 (50.0)	67 (54.9)	55 (43.3)	42 (56.8)
	不明	2 (0.5)	0 (0.0)	1 (0.8)	0 (0.0)	1 (1.4)
出生順位	第1子	209 (52.4)	27 (35.5)	58 (47.5)	68 (53.5)	56 (75.7)
	第2子	147 (36.8)	35 (46.1)	46 (37.7)	48 (37.8)	18 (24.3)
	第3子	41 (10.3)	14 (18.4)	17 (13.9)	10 (7.9)	0 (0.0)
	第4子	2 (0.5)	0 (0.0)	1 (0.8)	1 (0.8)	0 (0.0)
兄弟数	1人っ子	96 (24.1)	27 (35.5)	53 (43.4)	16 (12.6)	0 (0.0)
	2人	204 (51.1)	35 (46.1)	51 (41.8)	81 (63.8)	37 (50.0)
	3人	94 (23.6)	14 (18.4)	16 (13.1)	28 (22.0)	36 (48.6)
	4人	5 (1.3)	0 (0.0)	2 (1.6)	2 (1.6)	1 (1.4)
通園など	家庭内	238 (59.6)	66 (86.8)	84 (68.9)	88 (69.3)	0 (0.0)
	幼稚園	51 (12.8)	0 (0.0)	0 (0.0)	3 (2.4)	48 (64.9)
	保育園	75 (18.8)	0 (0.0)	20 (16.4)	32 (25.2)	23 (31.1)
	その他	11 (2.8)	2 (2.6)	7 (5.7)	2 (1.6)	0 (0.0)
	不明	24 (6.0)	8 (10.5)	11 (9.0)	2 (1.6)	3 (4.1)
母親の年齢	24歳以下	28 (7.0)	8 (10.5)	12 (9.8)	8 (6.3)	0 (0.0)
	25～29歳	144 (36.1)	26 (34.2)	49 (40.2)	48 (37.8)	21 (28.4)
(平均30.4歳)	30～34歳	161 (40.4)	34 (44.7)	43 (35.2)	48 (37.8)	36 (48.6)
	35～39歳	55 (13.8)	8 (10.5)	13 (10.7)	19 (15.0)	15 (20.3)
	40歳以上	5 (1.3)	0 (0.0)	3 (2.5)	2 (1.6)	0 (0.0)
	不明	6 (1.5)	0 (0.0)	2 (1.6)	2 (1.6)	2 (2.7)
母親の職業	有職	130 (32.6)	19 (25.0)	40 (32.8)	43 (33.9)	28 (37.8)
	無職	255 (63.9)	56 (73.7)	77 (63.1)	80 (63.0)	42 (56.8)
	不明	14 (3.5)	1 (1.3)	5 (4.1)	4 (3.1)	4 (5.4)
同居している大人の人数	2人	230 (57.6)	45 (59.2)	74 (60.7)	69 (54.3)	42 (56.8)
	3人	29 (7.3)	5 (6.6)	12 (9.8)	8 (6.3)	4 (5.4)
	4人	79 (19.8)	16 (21.1)	20 (16.4)	28 (22.0)	15 (20.3)
	5人以上	55 (13.8)	10 (13.2)	14 (11.5)	20 (15.7)	11 (14.9)
	不明	6 (1.5)	0 (0.0)	2 (1.6)	2 (1.6)	2 (2.7)
世話する人数	1人以下	366 (91.7)	70 (92.1)	109 (89.3)	119 (93.7)	68 (91.9)
	2人以上	31 (7.8)	6 (7.9)	13 (10.7)	8 (6.3)	4 (5.4)
	不明	2 (0.5)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	2 (2.7)
住居層	1階	89 (22.3)	16 (21.1)	34 (27.9)	25 (19.7)	14 (18.9)
	2階以上	310 (77.7)	60 (78.9)	88 (72.1)	102 (80.3)	60 (81.1)

資料 表2 事故種類別、年齢階層別、事故の有無と回数

＊発生頻度：14日間の事故合計回数/対象者数

年齢階層		全体 人(%)	発生頻度	2～7か月児 人(%)	発生頻度	8か月～1歳児 人(%)	発生頻度	2～3歳児 人(%)	発生頻度	4～6歳児 人(%)	発生頻度
事故全体	事故なし	91 (22.8)	5.29	50 (65.8)	1.41	3 (2.5)	8.90	21 (16.5)	5.47	17 (23.0)	3.03
	事故あり	308 (77.2)		26 (34.2)		119 (97.5)		106 (83.5)		57 (77.0)	
回数	1回	58 (18.8)		11 (42.3)		18 (15.1)		16 (15.1)		13 (22.8)	
	2回	45 (14.6)		7 (26.9)		10 (8.4)		16 (15.1)		12 (21.1)	
	3回	41 (13.3)		2 (7.7)		12 (10.1)		15 (14.2)		12 (21.1)	
	4回	22 (7.1)		1 (3.8)		5 (4.2)		9 (8.5)		7 (12.3)	
	5回以上	142 (46.1)		5 (19.2)		74 (62.2)		50 (47.2)		13 (22.8)	
転倒	事故なし	171 (42.9)	2.60	74 (97.4)	0.03	26 (21.3)	4.55	40 (31.5)	2.92	31 (41.9)	1.49
	事故あり	228 (57.1)		2 (2.6)		96 (78.7)		87 (68.5)		43 (58.1)	
	1回	68 (29.8)		2 (100.0)		24 (25.0)		27 (31.0)		15 (34.9)	
	2回	43 (18.9)		0		20 (20.8)		14 (16.1)		9 (20.9)	
	3回	38 (16.7)		0		10 (10.4)		16 (18.4)		12 (27.9)	
	4回	16 (7.0)		0		4 (4.2)		8 (9.2)		4 (9.3)	
	5回以上	63 (27.6)		0		38 (39.6)		22 (25.3)		3 (7.0)	
転落	事故なし	278 (69.7)	0.59	69 (90.8)	0.28	57 (46.7)	1.07	86 (67.7)	0.53	66 (89.2)	0.22
	事故あり	121 (30.3)		7 (9.2)		65 (53.3)		41 (32.3)		8 (10.8)	
	1回	63 (52.1)		4 (57.1)		30 (46.2)		25 (61.0)		4 (50.0)	
	2回	29 (24.0)		1 (14.3)		18 (27.7)		9 (22.0)		1 (12.5)	
	3回	16 (13.2)		0		10 (15.4)		4 (9.8)		2 (25.0)	
	4回	8 (6.6)		0		4 (6.2)		3 (7.3)		1 (12.5)	
	5回以上	5 (4.1)		2 (28.6)		3 (4.6)		0 (0.0)		0	
衝突	事故なし	235 (58.9)	1.00	61 (80.3)	0.50	52 (42.6)	1.72	67 (52.8)	0.98	55 (74.3)	0.35
	事故あり	164 (41.1)		15 (19.7)		70 (57.4)		60 (47.2)		19 (25.7)	
	1回	73 (44.5)		6 (40.0)		27 (38.6)		28 (46.7)		12 (63.2)	
	2回	43 (26.2)		5 (33.3)		14 (20.0)		17 (28.3)		7 (36.8)	
	3回	17 (10.4)		2 (13.3)		10 (14.3)		5 (8.3)		0	
	4回	11 (6.7)		0		7 (10.0)		4 (6.7)		0	
	5回以上	20 (12.2)		2 (13.3)		12 (17.1)		6 (10.0)		0	
はさむ	事故なし	304 (76.2)	0.36	75 (98.7)	0.03	69 (56.6)	0.74	95 (74.8)	0.33	65 (87.8)	0.14
	事故あり	95 (23.8)		1 (1.3)		53 (43.4)		32 (25.2)		9 (12.2)	
	1回	62 (65.3)		0		32 (60.4)		22 (68.8)		8 (88.9)	
	2回	25 (26.3)		1 (100.0)		13 (24.5)		10 (31.3)		1 (11.1)	
	3回	2 (2.1)		0		2 (3.8)		0		0	
	4回	5 (5.3)		0		5 (9.4)		0		0	
	5回以上	1 (1.1)		0		1 (1.9)		0		0	
切る	事故なし	352 (88.2)	0.14	72 (94.7)	0.08	112 (91.8)	0.09	106 (83.5)	0.17	62 (83.8)	0.22
	事故あり	47 (11.8)		4 (5.3)		10 (8.2)		21 (16.5)		12 (16.2)	
	1回	41 (87.2)		3 (75.0)		9 (90.0)		21 (100.0)		8 (66.7)	
	2回	5 (10.6)		0		1 (10.0)		0		4 (33.3)	
	3回	1 (2.1)		1 (25.0)		0		0		0	
やけど	事故なし	386 (96.7)	0.03	76 (100.0)		116 (95.1)	0.05	122 (96.1)	0.04	72 (97.3)	0.03
	事故あり	13 (3.3)		0		6 (4.9)		5 (3.9)		2 (2.7)	
	1回	13 (3.3)		0 (0.0)		6 (4.9)		5 (3.9)		2 (2.7)	
誤飲	事故なし	383 (96.0)	0.05	73 (96.1)	0.04	110 (90.2)	0.13	126 (99.2)	0.01	74 (100.0)	
	事故あり	16 (4.0)		3 (3.9)		12 (9.8)		1 (0.8)		0 (0.0)	
	1回	13 (81.3)		3 (100.0)		9 (75.0)		1 (100.0)			
	2回	2 (12.5)		0		2 (16.7)		0			
	3回	1 (6.3)		0		1 (8.3)		0			
窒息	事故なし	397 (99.5)	0.01	76 (100.0)		121 (99.2)	0.01	126 (99.2)	0.01	74 (100.0)	
	事故あり	2 (0.5)		0		1 (0.8)		1 (0.8)		0	
	1回	2 (0.5)				1 (0.8)		1 (0.8)			
溺れ	事故なし	392 (98.2)	0.02	76 (100.0)		116 (95.1)	0.07	126 (99.2)	0.01	74 (100.0)	
	事故あり	7 (1.8)		0		6 (4.9)		1 (0.8)		0	
	1回	5 (1.3)				4 (3.3)		1 (0.8)			
	2回	2 (0.5)				2 (1.6)		0 (0.0)			
引っぱる	事故なし	352 (88.2)	0.36	71 (93.4)	0.21	102 (83.6)	0.39	113 (89.0)	0.34	66 (89.2)	0.50
	事故あり	47 (11.8)		5 (6.6)		20 (16.4)		14 (11.0)		8 (10.8)	
	1回	30 (63.8)		2 (40.0)		11 (55.0)		11 (78.6)		6 (75.0)	
	2回	7 (14.9)		2 (40.0)		3 (15.0)		1 (7.1)		1 (12.5)	
	3回	2 (4.3)		0		2 (10.0)		0		0	
	4回	2 (4.3)		0		2 (10.0)		0		0	
	5回以上	6 (12.8)		1 (20.0)		2 (10.0)		2 (14.3)		1 (12.5)	
咬まれる	事故なし	390 (97.7)	####	76 (100.0)		119 (97.5)	####	123 (96.9)	####	72 (97.3)	####
	事故あり	9 (2.3)		0		3 (2.5)		4 (3.1)		2 (2.7)	
	1回	9 (100.0)				3 (100.0)		4 (100.0)		2 (100.0)	
噛まれる	事故なし	383 (96.0)		74 (97.4)		118 (96.7)		120 (94.5)		71 (95.9)	
	事故あり	16 (4.0)	0.10	2 (2.6)	0.25	4 (3.3)	0.04	7 (5.5)	0.09	3 (4.1)	0.04
	1回	11 (68.8)		1 (50.0)		3 (75.0)		4 (57.1)		3 (100.0)	
	2回	3 (18.8)		0		1 (25.0)		2 (28.6)		0	
	3回	1 (6.3)		0		0		1 (14.3)		0	
	5回以上	1 (6.3)		1 (50.0)		0		0		0	
交通事故	事故なし	399 (100.0)		76 (100.0)		122 (100.0)		127 (100.0)		74 (100.0)	
	事故あり	0 (0.0)		0 (0.0)		0 (0.0)		0 (0.0)		0 (0.0)	
その他	事故なし	393 (98.5)	0.02	76 (100.0)		121 (99.2)	0.02	124 (97.6)	0.02	72 (97.3)	0.03
	事故あり	6 (1.5)		0 (0.0)		1 (0.8)		3 (2.4)		2 (2.7)	
	1回	5 (83.3)				0		3 (100.0)		2 (100.0)	
	2回	1 (16.7)				1 (100.0)		0		0	
	3回	0				0		0		0	

資料　表3　年齢階層別、手当てをした事故の有無と回数、発生頻度

＊発生頻度：14日間の事故合計回数/対象者数

年齢階層			全体		2～7か月児		8か月～1歳児		2～3歳児		4～6歳児	
			人（%）	発生頻度	人（%）	発生頻度	人（%）	発生頻度	人（%）	発生頻度	人（%）	発生頻度
全事故	手当てなし		178 (57.8)	0.59	19 (73.1)	0.21	81 (68.1)	0.62	52 (49.1)	0.71	26 (45.6)	0.70
n=308	手当てあり		130 (42.2)		7 (26.9)		38 (31.9)		54 (50.9)		31 (54.4)	
	回数	1回	79 (60.8)		6 (85.7)		19 (50.0)		33 (61.1)		21 (67.7)	
		2回	29 (22.3)		0		11 (28.9)		13 (24.1)		5 (16.1)	
		3回	11 (8.5)		0		3 (7.9)		6 (11.1)		2 (6.5)	
		4回	4 (3.1)		0		2 (5.3)		0		2 (6.5)	
		5回	1 (0.8)		0		1 (2.6)		0		0	
		6回	2 (1.5)		0		1 (2.6)		1 (1.9)		0	
		7回	3 (2.3)		0		1 (2.6)		1 (1.9)		1 (3.2)	
		10回	1 (0.8)		1 (14.3)		0		0		0	
転倒	手当てなし		151 (66.2)	0.27	2 (100.0)		77 (80.2)	0.23	52 (59.8)	0.36	20 (46.5)	0.43
n=228	手当てあり		77 (33.8)		0		19 (19.8)		35 (40.2)		23 (53.5)	
	回数	1回	55 (71.4)				13 (68.4)		26 (74.3)		16 (69.6)	
		2回	17 (22.1)				4 (21.1)		7 (20.0)		6 (26.1)	
		3回	3 (3.9)				1 (5.3)		2 (5.7)		0	
		4回	2 (2.6)				1 (5.3)		0		1 (4.3)	
転落	手当てなし		100 (82.6)	0.08	4 (57.1)	0.16	54 (83.1)	0.09	36 (87.8)	0.06	6 (75.0)	0.04
n=121	手当てあり		21 (17.4)		3 (42.9)		11 (16.9)		5 (12.2)		2 (25.0)	
	回数	1回	18 (85.7)		2 (66.7)		11 (100.0)		4 (80.0)		1 (50.0)	
		2回	1 (4.8)		0		0		0		1 (50.0)	
		3回	1 (4.8)		0		0		1 (20.0)		0	
		10回	1 (4.8)		1 (33.3)		0		0		0	
衝突	手当てなし		143 (87.2)	0.07	14 (93.3)	0.01	64 (91.4)	0.07	48 (80.0)	0.12	17 (89.5)	0.04
n=164	手当てあり		21 (12.8)		1 (6.7)		6 (8.6)		12 (20.0)		2 (10.5)	
	回数	1回	17 (81.0)		1 (100.0)		5 (83.3)		10 (83.3)		1 (50.0)	
		2回	2 (9.5)		0		0		1 (8.3)		1 (50.0)	
		3回	2 (9.5)		0		1 (16.7)		1 (8.3)		0	
はさむ	手当てなし		78 (82.1)	0.05	1 (100.0)		46 (86.8)	0.08	25 (78.1)	0.06	6 (66.7)	0.04
n=95	手当てあり		17 (17.9)		0 (0.0)		7 (13.2)		7 (21.9)		3 (33.3)	
	回数	1回	14 (82.4)				4 (57.1)		7 (100.0)		3 (100.0)	
		2回	3 (17.6)				3 (42.9)		0		0	
切る	手当てなし		25 (53.2)	0.06	2 (50.0)	0.03	5 (50.0)	0.04	12 (57.1)	0.07	6 (50.0)	0.09
n=47	手当てあり		22 (46.8)		2 (50.0)		5 (50.0)		9 (42.9)		6 (50.0)	
	回数	1回	21 (95.5)		2 (100.0)		5 (100.0)		9 (100.0)		5 (83.3)	
		2回	1 (4.5)		0		0		0		1 (16.7)	
引っぱる	手当てなし		46 (97.9)	0.01	5 (100.0)		19 (95.0)	0.03	14 (100.0)		8 (100.0)	
n=47	手当てあり		1 (2.1)		0		1 (5.0)		0		0	
	回数	1回	0				0					
		2回	0				0					
		3回	0				0					
		4回	1 (100.0)				1 (100.0)					
誤飲	手当てなし		13 (81.3)	0.01	2 (66.7)	0.01	9 (90.0)	0.01	0 (0.0)	0.01	0	
n=16	手当てあり		3 (18.8)		1 (33.3)		1 (10.0)		1 (100.0)		0	
	回数	1回	3 (100.0)		1 (100.0)		1 (100.0)		1 (100.0)			
噛まれる	手当てなし		15 (93.8)	0.00	2 (100.0)		4 (100.0)		6 (85.7)	0.01	3 (100.0)	
n=16	手当てあり		1 (6.3)		0		0		1 (14.3)		0	
	回数	1回	1 (100.0)						1 (100.0)			
やけど	手当てなし		2 (15.4)	0.03	0		1 (16.7)	0.04	1 (20.0)	0.03	0	0.03
n=13	手当てあり		11 (84.6)		0		5 (83.3)		4 (80.0)		2 (100.0)	
	回数	1回	11 (2.8)				5 (4.1)		4 (3.1)		2 (2.7)	
咬まれる	手当てなし		7 (77.8)	0.01	0		3 (100.0)		4 (100.0)		0	0.03
n=9	手当てあり		2 (22.2)		0		0		0		2 (100.0)	
	回数	1回	2 (100.0)								2 (100.0)	
溺れる	なし		6 (85.7)	0.00	0		5 (83.3)	0.01	1 (100.0)		0	
n=7	あり		1 (14.3)		0		1 (16.7)		0		0	
	回数	1回	1 (100.0)				1 (100.0)					
窒息	手当てなし		2 (100.0)		0		1 (100.0)		1 (100.0)		0	
n=2	手当てあり		0		0		0		0		0	
その他	手当てなし		5 (83.3)	0.01	0		0	0.02	3 (100.0)		2 (100.0)	
n=6	手当てあり		1 (16.7)		0		1 (100.0)		0		0	
	回数	1回	0									
		2回	0									
		3回	1 (100.0)				1 (100.0)					

転倒

	手当なし		家庭で手当て		病院で手当て	
全体	手当なし	319	家庭で手当て	37	病院で手当て	2
2〜7か月児		1		0		0
8か月〜1歳児		186		12		1
2〜3歳児		99		14		1
4〜6歳児		33		11		0

	手当なし		家庭で手当て		病院で手当て	
全体	石	51	石	6	台・箱	1
	おもちゃ	32	段差	3	カート	1
	敷物・布団	29	靴	3		
	足もつれ	24	敷居	2		
	段差	17	自転車	2		
	コンクリート	11	風呂場	2		
	自転車	10	坂	2		
	紙	9	コンビカー乗り物	2		
	靴	9	靴下	2		
	テーブル・机	8	窓サッシ	1		
	砂利	7	人	1		
	本	7	三輪車	1		
	靴下	7	砂利	1		
	敷居	6	階段	1		
	人	6	ロープ	1		
	椅子	6	祭りの綱	1		
	靴	5	スリッパ	1		
	風呂場	5	コンクリート	1		
	草の茎	5	きょうだい	1		
	きょうだい	5	おもちゃ	1		
	スリッパ	4	大人の靴	1		
	棒・木・板	3	足もつれ	1		
	芝生	3				
	坂	3				
	コード	3				
	友人	2				
	布巾	2				
	段ボール	2				
	掃除機	2				
	自分の足	2				
	座椅子	2				
	くぼみ	2				
	風邪薬でふらふら	2				
	カーテン	2				
	窓サッシ	1				
	固定遊具	1				
	犬	1				
	滑り台	1				
	溝の蓋	1				
	水	1				
	ほっとカーペットのスイッチ	1				
	ボール	1				
	フローリング	1				
	フラフープ	1				
	風船	1				
	走ってつまづく	1				
	布	1				
	ドア・引き戸	1				
	堤防	1				
	ズボン脱ぐとき	2				
	砂場の塀	1				
	サイドボードなど家具	1				
	コンビカー乗り物	1				
	玄関	1				
	車止め	1				
	草	1				
	木の根	1				
	一輪車	1				
	食器棚	1				
2〜7か月児	食器棚	1				
8か月〜1歳児	石	30	石	3	台・箱	1
	敷物・布団	24	敷居	2		
	おもちゃ	24	段差	1		
	足もつれ	14	おもちゃ	1		
	靴	9	大人の靴	1		
	テーブル・机	7	靴	1		
	人	6	靴下	1		
	紙	6	スリッパ	1		
	本	6	風呂場	1		
	敷居	4				
	段差	4				
	椅子	4				
	風呂場	4				
	コンクリート	4				
	靴下	4				
	スリッパ	3				
	きょうだい	3				
	砂利	2				
	布巾	2				
	掃除機	2				
	芝生	2				
	座椅子	2				
	くぼみ	2				
	風邪薬でふらふら	2				
	カーテン	2				
	犬	1				
	水	1				
	ほっとカーペットのスイッチ	1				
	ボール	1				
	フローリング	1				
	風船	1				
	布	1				
	段ボール	1				
	ズボン脱ぐとき	1				
	砂場の塀	1				
	コンビカー乗り物	1				
	車止め	1				
	草	1				
	木の根	1				
2〜3歳児	石	17	コンビカー乗り物	2	カート	1
	段差	10	石	2		
	足もつれ	10	段差	2		
	おもちゃ	8	コンクリート	1		
	コンクリート	6	きょうだい	1		
	砂利	5	靴下	1		
	草の茎	5	風呂場	1		
	紙	3	祭りの綱	1		
	靴	3	人	1		
	坂	3	足もつれ	1		
	靴下	3	靴	1		
	棒・木・板	2				
	敷物・布団	2				
	椅子	2				
	自分の足	2				
	きょうだい	2				
	敷居	1				
	窓サッシ	1				
	自転車	1				
	溝の蓋	1				
	本	1				
	風呂場	1				
	走ってつまづく	1				
	ドア・引き戸	1				
	テーブル・机	1				
	堤防	1				
	段ボール	1				
	スリッパ	1				
	ズボン脱ぐとき	1				
	サイドボードなど家具	1				
	コード	1				
	玄関	1				
4〜6歳児	自転車	9	坂	2		
	石	4	自転車	2		
	段差	3	ロープ	1		
	敷物・布団	3	靴	1		
	友人	2	窓サッシ	1		
	コード	2	階段	1		
	敷居	1	砂利	1		
	コンクリート	1	石	1		
	棒・木・板	1	三輪車	1		
	滑り台	1				
	固定遊具	1				
	一輪車	1				
	靴	2				
	芝生	1				
	フラフープ	1				

転落

	手当なし		家庭で手当て		病院で手当て	
全体	手当なし	182	家庭で手当て	31	病院で手当て	3
2～7か月児		8		12		0
8か月～1歳児		106		11		3
2～3歳児		56		6		0
4～6歳児		12		2		0
全体	椅子	46	敷物・布団	10	階段	1
	段差	19	テーブル・机	3	椅子	1
	ソファ	17	固定遊具	2	テーブル・机	1
	室内大型遊具	14	段差	2		
	階段	12	階段	2		
	ベット	9	縁側・縁台	2		
	テーブル・机	8	椅子	2		
	台・箱	7	ソファ	2		
	固定遊具	7	台・箱	1		
	敷物・布団	5	ベット	1		
	玄関	5	ジャングルジム	1		
	人	3	コンビカー乗り物	1		
	サイドボードなど家具	3	コンクリート	1		
	押し車	3	おもちゃ	1		
	用水路・溝	2				
	三輪車	2				
	滑り台	2				
	ブランコ	2				
	バケツ	2				
	カート	2				
	棒・木・板	1				
	敷居サン	1				
	鉄棒	1				
	自動車	1				
	店の座敷	1				
	ブロック	1				
	ピアノ	1				
	配管	1				
	テレビ	1				
	タンス・クローゼット	1				
	掃除機	1				
	おもちゃ	1				
2～7か月	ソファ	3	敷物・布団	10		
	椅子	1	ソファ	1		
	テーブル・机	1	テーブル・机	1		
	ベット	1				
	玄関	1				
	人	1				
8か月～1歳児	椅子	34	椅子	2	階段	1
	階段	10	テーブル・机	1	椅子	1
	ソファ	10	ベット	1	テーブル・机	1
	室内大型遊具	10	コンビカー乗り物	1		
	段差	6	階段	1		
	テーブル・机	6	段差	1		
	ベット	5	おもちゃ	1		
	固定遊具	3	縁側・縁台	1		
	敷物・布団	3	台・箱	1		
	押し車	3	ジャングルジム	1		
	三輪車	2				
	カート	2				
	玄関	2				
	台・箱	2				
	滑り台	2				
	用水路・溝	2				
	おもちゃ	1				
	鉄棒	1				
	人	1				
	バケツ	1				
2～3歳児	段差	11	階段	1		
	椅子	9	段差	1		
	台・箱	5	ソファ	1		
	ソファ	4	コンクリート	1		
	サイドボードなど家具	3	縁側・縁台	1		
	ベット	3	テーブル・机	1		
	室内大型遊具	2				
	敷物・布団	2				
	玄関	2				
	階段	2				
	ブランコ	2				
	店の座敷	1				
	ピアノ	1				
	バケツ	1				
	人	1				
	固定遊具	1				
	棒・木・板	1				
	テレビ	1				
	タンス・クローゼット	1				
2～3歳児	テーブル・机	1				
	自動車	1				
	掃除機	1				
4～6歳児	固定遊具	3	固定遊具	2		
	段差	2				
	椅子	2				
	室内大型遊具	2				
	敷居サン	1				
	配管	1				
	ブロック	1				

衝突

	手当なし		家庭で手当て		病院で手当て	
全体		323		23		2
2~7か月児		35		0		0
8か月~1歳児		176		7		2
2~3歳児		92		13		0
4~6歳児		21		3		0
全体	テーブル・机	96	テーブル・机	3	テーブル・机	2
	人	39	きょうだい	3		
	きょうだい	23	柱	2		
	椅子	22	ドア・引き戸	2		
	ドア・引き戸	22	友人	1		
	友人	16	段差	1		
	柱	9	台・箱	1		
	サイドボードなど家具	9	窓サッシ	1		
	壁	8	人	1		
	ベット	7	車シート	1		
	おもちゃ	7	自動車	1		
	自動車	6	ペットボトル	1		
	タンス・クローゼット	6	ふすま	1		
	冷蔵庫	5	ソファ	1		
	台・箱	5	室外機	1		
	滑り台	5	サイドボードなど家具	1		
	ソファ	5	おもちゃ	1		
	車のドア	4				
	窓サッシ	3				
	三輪車	3				
	ブランコ	3				
	棚	3				
	階段	2				
	ジャングルジム	2				
	棒・木・板	1				
	敷居サン	1				
	浴槽の縁	1				
	物干し竿	1				
	便器	1				
	ふすま	1				
	柱	1				
	太鼓のばち	1				
	自動ドア	1				
	児童館の壁	1				
	シッカロールの缶が落下	1				
	コンビカー乗り物	1				
	靴箱	1				
	カート	1				
2~7か月	テーブル・机	11				
	サイドボードなど家具	4				
	椅子	3				
	ベット	3				
	ドア・引き戸	3				
	きょうだい	3				
	人	2				
	コンビカー乗り物	1				
	敷居サン	1				
	おもちゃ	1				
	台・箱	1				
	車のドア	1				
	浴槽の縁	1				
8か月~1歳児	テーブル・机	59	テーブル・机	2	テーブル・机	2
	人	22	サイドボードなど家具	1		
	きょうだい	12	窓サッシ	1		
	ドア・引き戸	11	ふすま	1		
	友人	11	きょうだい	1		
	椅子	9	室外機	1		
	タンス・クローゼット	5				
	柱	5				
	壁	4				
	三輪車	3				
	ソファ	3				
	ベット	3				
	おもちゃ	3				
	サイドボードなど家具	3				
	窓サッシ	3				
	冷蔵庫	3				
	棚	3				
	階段	2				
	滑り台	2				
	ジャングルジム	2				
	自転車	1				
	カート	1				
	台・箱	1				
	ふすま	1				
	車のドア	1				
	自動ドア	1				
	柱	1				
8か月~1歳児	物干し竿	1				
2~3歳児	テーブル・机	24	ドア・引き戸	2		
	人	15	きょうだい	2		
	ドア・引き戸	8	自動車	1		
	椅子	9	車シート	1		
	きょうだい	6	段差	1		
	柱	4	ソファ	1		
	壁	4	テーブル・机	1		
	おもちゃ	2	台・箱	1		
	台・箱	3	柱	1		
	サイドボードなど家具	2	人	1		
	冷蔵庫	2	友人	1		
	ブランコ	2				
	滑り台	2				
	自動車	1				
	ソファ	1				
	ベット	1				
	タンス・クローゼット	1				
	友人	1				
	車のドア	1				
	児童館の壁	1				
	棒・木・板	1				
4~6歳児	自転車	4	おもちゃ	1		
	友人	4	柱	1		
	テーブル・机	2	ペットボトル	1		
	きょうだい	2				
	ソファ	1				
	椅子	1				
	おもちゃ	1				
	ブランコ	1				
	滑り台	1				
	車のドア	1				
	靴箱	1				
	シッカロールの缶が落下	1				
	太鼓のばち	1				

はさむ

全体	手当なし	118	家庭で手当て	20
2~7か月児		2		0
8か月~1歳児		75		10
2~3歳児		34		7
4~6歳児		7		3
全体	ドア・引き戸	54	ドア・引き戸	10
	窓サッシ	8	窓サッシ	3
	引き出し	8	引き出し	3
	ふすま	8	車のドア	1
	おもちゃ	6	椅子	1
	台・箱	4	ベビーカー	1
	車のドア	3	自動ドア	1
	タンス・クローゼット	3		
	ビデオデッキ	2		
	テーブル・机	2		
	サイドボードなど家具	2		
	コンビカー乗り物	2		
	冷蔵庫	1		
	炊飯器	1		
	車の窓	1		
	三輪車	1		
	椅子	1		
	ペット	1		
	ブランコ	1		
	服のファスナー	1		
	箱の蓋	1		
	通せんぼのスイッチ	1		
	棚の扉	1		
	棚	1		
	洗濯ばさみ	1		
	自転車のベル	1		
	空気入れのバネ	1		
	カセットケース	1		
2~7か月	テーブル・机	1		
	サイドボードなど家具	1		
8か月~1歳児	ドア・引き戸	34	ドア・引き戸	4
	ふすま	7	窓サッシ	3
	窓サッシ	6	ベビーカー	1
	引き出し	5	引き出し	1
	台・箱	4	自動ドア	1
	車のドア	3		
	コンビカー乗り物	2		
	おもちゃ	2		
	タンス・クローゼット	2		
	サイドボードなど家具	1		
	ビデオデッキ	1		
	空気入れのバネ	1		
	自転車のベル	1		
	棚	1		
	棚の扉	1		
	通せんぼのスイッチ	1		
	箱の蓋	1		
	ビデオデッキの挿入口	1		
	服のファスナー	1		
2~3歳児	ドア・引き戸	14	ドア・引き戸	4
	おもちゃ	4	椅子	1
	窓サッシ	2	引き出し	1
	三輪車	1	車のドア	1
	椅子	1		
	テーブル・机	1		
	炊飯器	1		
	引き出し	3		
	ふすま	1		
	冷蔵庫	1		
	ブランコ	1		
	カセットケース	1		
	洗濯ばさみ	1		
	タンス・クローゼット	1		
	車の窓	1		
4~6歳児	ドア・引き戸	6	ドア・引き戸	2
	ペット	1	引き出し	1

切る

全体	手当なし	22	家庭で手当て	18	病院で手当て	1
2~7か月児		1		3		0
8か月~1歳児		4		4		0
2~3歳児		11		6		0
4~6歳児		6		5		1
全体	紙	5	紙	3	ドアのレール	1
	人	3	爪切り時	3		
	おもちゃ	3	おもちゃ	2		
	友人	2	自分で足の爪を切る	1		
	畳	2	友人	1		
	棒・木・板	1	棒・木・板	1		
	椅子	1	固定遊具	1		
	プラスティックケースの角	1	はさみ	1		
	猫	1	カミソリ	1		
	とげ	1	体温計	1		
	ドア・引き戸	1	コンクリート	1		
	爪切り時	1	氷かきの刃	1		
			草	1		
2~7か月	紙	1	爪切り時	3		
8か月~1歳児	おもちゃ	2	コンクリート	1		
	紙	2	おもちゃ	1		
			友人	1		
			体温計	1		
2~3歳児	紙	2	紙	2		
	椅子	1	はさみ	1		
	おもちゃ	1	棒・木・板	1		
	ドア・引き戸	1	氷かきの刃	1		
	棒・木・板	1	カミソリ	1		
	人	1				
	友人	1				
	草	1				
	爪切り時	1				
	とげ	1				
4~6歳児	人	2	おもちゃ	1	ドアのレール	1
	友人	1	固定遊具	1		
	畳	1	紙	1		
	猫	1	草	1		
	プラスティックケースの角	1	自分で足の爪を切る	1		

やけど

全体	手当なし	3	家庭で手当て	10
2~7か月児		0		0
8か月~1歳児		2		4
2~3歳児		1		4
4~6歳児		0		2
全体	コンロ・ホットプレート	2	湯・汁物・食べ物	2
	なべ・やかん・フライパン	1	なべ・やかん・フライパン	2
			コンロ・ホットプレート	2
			食器	1
			風呂ガス湯沸かし	1
			蚊取り線香	1
			線香	1
2~7か月				
8か月~1歳児	コンロ・ホットプレート	2	湯・汁物・食べ物	1
			なべ・やかん・フライパン	1
			コンロ・ホットプレート	1
			風呂ガス湯沸かし	1
2~3歳児	なべ・やかん・フライパン	1	湯・汁物・食べ物	1
			線香	1
			蚊取り線香	1
			コンロ・ホットプレート	1
4~6歳児			なべ・やかん・フライパン	1
			食器	1

資料 表4 事故の原因物

誤飲

全体	手当なし	15	家庭で手当て	3
2～7か月児		2		1
8か月～1歳児		13		1
2～3歳児		0		1
4～6歳児		0		0

全体	砂	3	ティッシュ	1
	紙	2	おはじき	1
	薬	1	蟻の巣コロリ	1
	小梅の種	1		
	朝顔の種	1		
	実	1		
	どんぐり	1		
	マグネット	1		
	おもちゃ	1		
	魚の骨	1		
	コンセント	1		
	髪の毛	1		
2～7か月	髪の毛	1	ティッシュ	1
	コンセント	1		
8か月～1歳児	砂	3	おはじき	1
	紙	2		
	おもちゃ	1		
	薬	1		
	朝顔の種	1		
	小梅の種	1		
	どんぐり	1		
	マグネット	1		
	実	1		
	魚の骨	1		
2～3歳児			蟻の巣コロリ	1

窒息

全体	手当なし	2	家庭で手当て	0
2～7か月児		0		0
8か月～1歳児		1		0
2～3歳児		1		0
4～6歳児		0		0

全体	枝豆の皮	1		
	入れすぎ	1		
2～7か月児				
8か月～1歳児	枝豆の皮	1		
2～3歳児	入れすぎ	1		

溺れる

全体	手当なし	7	家庭で手当て	1
2～7か月児		0		0
8か月～1歳児		6		1
2～3歳児		1		0
4～6歳児		0		0

全体	風呂	7	風呂	1
2～7か月児				
8か月～1歳児	風呂	6	風呂	1
2～3歳児	風呂	1		

その他

全体	手当なし	2
2～7か月児		0
8か月～1歳児		0
2～3歳児		2
4～6歳児		0

全体	妹に目をつつかれる	1
	ホース(ひっかかる)	1
2～3歳児	妹に目をつつかれる	1
	ホース(ひっかかる)	1

引っぱる

全体	手当なし	108	家庭で手当て	4
2～7か月児		16		0
8か月～1歳児		28		4
2～3歳児		41		0
4～6歳児		23		0

全体	きょうだい	67	きょうだい	4
	友人	23		
	人	12		
	祭りのひも	2		
	父	2		
	犬	1		
	綱	1		
2～7か月児	きょうだい	16		
8か月～1歳児	きょうだい	11	きょうだい	4
	友人	10		
	人	5		
	父	1		
	祭りの綱	1		
2～3歳児	きょうだい	24		
	友人	8		
	人	6		
	犬	1		
	綱	1		
	父	1		
4～6歳児	きょうだい	16		
	友人	5		
	人	1		
	祭りのひも	1		

咬まれる(動物や虫)

全体	手当なし	8	家庭で手当て	2
2～7か月児		0		0
8か月～1歳児		4		0
2～3歳児		4		0
4～6歳児		0		2

全体	猫	2	虫	1
	犬	1	蚊	1
	うさぎ	1		
	ハムスター	1		
	蚊	1		
	カマキリ	1		
	キリギリス	1		
8か月～1歳児	蚊	1		
	うさぎ	1		
	猫	1		
	ハムスター	1		
2～3歳児	カマキリ	1		
	キリギリス	1		
	犬	1		
	猫	1		
4～6歳児			虫	1
			蚊	1

噛まれる(人)

全体	手当なし	33	家庭で手当て	1
2～7か月児		19		0
8か月～1歳児		5		0
2～3歳児		6		1
4～6歳児		3		0

全体	きょうだい	23	友人	1
	友人	4		
	人	2		
	自分の手	1		
2～7か月児	きょうだい	19		
8か月～1歳児	きょうだい	3		
	人	1		
	友人	1		
2～3歳児	友人	3	友人	1
	人	1		
	自分の手	1		
	きょうだい	1		
4～6歳児	きょうだい	3		

乳幼児の事故と予防に関する調査
－事故と家庭における安全対策との関連から－

【はじめに】

今回、適切な事故予防方法を導くことを目的とし、より正確な実態を知るために日記形式の記録による事故経験、および家庭内で行われている安全対策について調査した。

本稿では、事故実態と安全対策の実施状況との関連について明らかにし、事故予防としての安全対策のあり方を検討する。

【研究方法】

対象：静岡県A町周辺3町に在住する乳幼児のうち、平成14年11月から平成15年2月までに乳幼児健診の対象となった子どもとそのきょうだいとした。

調査方法：調査協力の依頼文を郵送し、文書による同意が得られた養育者に対して、郵送による調査用紙の送付と回収を行った。

調査項目：① 調査期間中に経験した事故実態、② 家庭内で行われている安全対策の２点とした。

① 事故実態に関する調査

安全対策についての質問に回答後、「転倒」「転落」「衝突」「挟む」「切る」「やけど」「誤飲」「窒息」「溺れ」「引っぱられる」「咬まれる（虫、動物など）」「噛まれる（人）」「交通事故」「その他」の14項目の種類別に事故の回数と手当の内容を16日間、記載してもらった。このうち、最初の２日間は事故に対する意識が高まっていると考え、分析から除外した。なお、本稿においては、回答のうち手当てをした事故に焦点を当て、分析した。

② 家庭内で行われている安全対策

生活行動範囲を考慮して生後2-7ヵ月児＜自力で移動が可能となるまでの時期＞、8ヵ月-1歳児＜ハイハイや歩行により移動が始まる時期＞、2-3歳児＜自我や知的好奇心が広がる時期＞、4-6歳児＜幼稚園など家庭外での集団生活が営まれる時期＞の年齢階層に分けた調査票を用いた。

項目は事故実態の先行研究および死因統計結果より予防が必要と思われるものとした。各年齢階層の質問項目数は、2-7ヵ月児23、8ヵ月-1歳児25、2-3歳児24、4-6歳児25であった（質問内容は表2参照）。

回答は「いつもしている」3点、「時々している」2点、「あまりしていない」1点、「まったくしていない」0点とした。逆説設問では、「いつもしている」0点から「まったくしていない」3点とした。階層ごとに合計得点を求め、さらに得点率を算出し、これを安全対策合計得点率とした。

分析にはSPSS11ｊを使用し、ｔ検定および順位相関係数検定、一元配置分散分析を行った。

倫理的配慮：調査地域の町村に研究実施の承認を得てから、調査対象児の養育者に対して、主任研究者および居住自治体からの調査協力依頼を文書で行なった。調査参加の同意についても文書にて行ない、同意書が返送された養育者に調査用紙を郵送した。データは個人が特定できないように処理をし、保管は鍵つきの保管庫で行なった。

【結果】

1．対象者の背景

乳幼児健診の対象となった乳幼児は680名で、そのうち同意が得られた養育者は455名であり、転居世帯を除いた回収数は425名、回収率は62.5%であった。回収された調査用紙に含まれる分析対象の乳幼児は382名で、その内訳は2-7ヵ月児75名、8ヵ月-1歳児115名、2-3歳児119名、4-6歳児73名であった（表1）。

表1 対象者数

年齢階層	人数（%）
2-7ヵ月児	75名（19.6）
8ヵ月-1歳児	115名（30.1）
2-3歳児	119名（31.2）
4-6歳児	73名（19.1）

2. 家庭内で行われている安全対策の実態

1) 安全対策の内容と実施状況

(表2-①〜④参照)

各安全対策の回答のうち、「いつもしている」と「時々している」を併せた『している』群を各年齢階層でみると、2-7ヵ月児では23項目中22項目は80%以上の人が対策を行っていた。80%に満たなかった項目は、「自動車の中に一人きりにしない」という〔基本的な安全対策〕であり、実施は75.0%であった。全項目の平均実施率は91.2%であった(表2-①)。8ヵ月-1歳児では、「はさみ、ナイフなど危険物は手の届かないところに置く」、「入浴中には目を離さない」、「タバコや熱い物に手が届かないようにする」といった〔挟む〕、〔切る〕、〔溺れ〕、〔誤飲〕、〔熱傷〕に関する対策は98%以上の実施率であった。反対に、実施率が60%に満たなかった項目では、「ドアや扉、引き出しの開け閉めに関する対策」、「テーブルや家具の角の保護」など〔挟む〕、〔切る〕、〔衝突〕の対策であった。平均実施率は81.6%であった(表2-②)。2-3歳児では、「水遊びや三輪車遊びでの安全確認」など遊びに関連した〔溺れ〕、〔交通事故〕に関する対策が多くされていた。実施率が最も低かった項目は、「コンセントのいたずら」の31.2%であった。次いで「ドア、扉、引き出しなどの開閉に関する対策」と、〔熱傷〕、〔挟む〕、〔切る〕への対策の実施は50%に満たなかった。また、「自動車の中に一人きりにする(逆説設問)」という〔基本的な対策〕は比較的行なわれていなかった。平均実施率は76.4%であった(表2-③)。4-6歳児では「花火の遊び方」、「交通ルールの指導」、「プールや海・川で遊ぶ際の注意」などの対策は98%以上の実施と高かった。反対に実施率の低い項目は、「ドアや扉の開閉に関する対策」、「風呂場に1人にする」であった。平均実施率は83.8%であった(表2-④)。

また、「チャイルドシートの装着」という年齢階層に共通した安全対策項目では、8ヵ月-1歳児の実施率97.5%が最も高く、2-7ヵ月児90.8%、次いで2-3歳児、4-6歳児と年齢階層が上がるにつれ実施率の低下が見られた。

表2-① 安全対策実施率順位(2-7ヵ月児)

n=75

		内容(R:逆説設問)		対応事故種	実施率
2-7ヵ月児	質問19	お子さまの沐浴や入浴中は目を離さないようにしていますか		溺れ	100.0
	質問7	お子さまを抱いたりおんぶしているときは周りにぶつからないように気をつけていますか		衝突	98.7
	質問9	お子さまをうつぶせで寝かせた時、お子さまの様子に注意していますか		窒息	98.7
	質問11	お子さまのしているよだれかけのひもなどは、首がしまらないように気をつけていますか		窒息	98.7
	質問15	お子さまにミルクを飲ませる前に、ミルクが適温かどうか確かめていますか		熱傷	98.7
	質問6	お子さまの上には物が落ちてこないようにしていますか		衝突	97.4
	質問18	やけどの原因になるもの(アイロンやポットなど)をお子さまのそばに置かないようにしていますか		熱傷	97.4
	質問8	お子さまの敷きふとんはかためのものにしていますか		窒息	94.7
	質問10	授乳後はゲップさせたりして乳汁を吐かせないように気をつけていますか		窒息	94.7
	質問13	タバコはお子さまの手の届かない場所に置くようにしていますか		誤飲	94.7
	質問16	お子さまを入浴させる場合、湯の温度が適温かどうか確かめていますか		熱傷	94.7
	質問5	カミソリやナイフ、はさみなどの危険物はお子さまの手の届かない場所に置くようにしていますか		挟む・切る	90.8
	質問20	お子さまを自動車に乗せる場合、チャイルドシートは装着していますか		交通事故	90.8
	質問21	おもちゃやベビー用品の安全性を確認していますか		基本	90.8
	質問4	お子さまを抱いたりおんぶしたりしているときは自分の足下に注意していますか		転落	90.7
	質問1	お子さまをベットに寝かせる場合、ベットの柵は上げていますか		転落	89.5
	質問2	ソファーやテーブルなどの上にお子さまを寝かせることがありますか	R	転落	86.8
	質問14	お子さまの口に入るような小物は、お子さまの手の届かない場所に置くようにしていますか		誤飲	85.5
	質問17	お子さまを抱っこしている時、あなたが熱い物を食べたり、飲んだりしますか	R	熱傷	84.2
	質問12	細いひもやビニール袋はお子様の手の届かない場所に置くようにしていますか		窒息	82.9
	質問3	お子さまをラックやベビーカーなどに乗せた場合、固定ベルトはしめていますか		転倒・転落	81.6
	質問22	お子さまを家に一人にして出かけることがありますか	R	基本	81.6
	質問23	お子さまを自動車の中に一人きりにすることがありますか	R	基本	75.0
				平均	91.2

表2-② 安全対策実施率順位（8カ月-1歳児）

n=115

		内容（R:逆説設問）		対応事故種	実施率
8カ月-1歳児	質問 6	カミソリやナイフ、はさみなどの危険物はお子さまの手の届かない場所に置くようにしていますか		挟む・切る	100.0
	質問18	お子さまが入浴中は、お子さまから目を離さないように注意していますか		溺れ	100.0
	質問13	タバコはお子さまの手の届かない場所に置くようにしていますか		誤飲	98.4
	質問16	熱い食べ物が入った食器や調理器具は、お子さまの手の届かない場所に置くようにしていますか		熱傷	98.4
	質問20	お子さまを自動車に乗せる場合、チャイルドシートは装着していますか		交通事故	97.5
	質問12	お子さまの食べ物は、のどにつかえないように注意していますか		窒息	96.7
	質問15	お子さまの口に入るようなおもちゃや硬貨、ピーナツ、飴玉などは、お子様の手の届かない場所に置くようにしていますか		誤飲	94.2
	質問17	ストーブやアイロン、ポット、炊飯器などは、お子さまがさわれないようにしていますか		熱傷	91.7
	質問21	お子さまを自転車に相乗りさせる場合、幼児座席のベルトはしめていますか		交通事故	91.7
	質問23	お子さまの遊ぶ場所が安全かどうかを確認していますか		基本	91.7
	質問19	浴槽に残り湯をしている場合、お子さまが一人で浴槽に入れないような対策をしていますか		溺れ	91.0
	質問 9	食卓のテーブルクロスが動かないような対策をしていますか		衝突・熱傷	89.3
	質問24	お子さまを家に一人にして出かけることがありますか	R	基本	88.5
	質問10	お子さまが犬などの動物に噛まれないように注意していますか		咬まれる	87.6
	質問 3	お子さまが使用する椅子やベビーカーなどは、ベルトをしめていますか		転落	87.5
	質問14	薬品、洗剤、化粧品などは、お子さまの手の届かない場所に置くようにしていますか		誤飲	86.1
	質問25	お子さまを自動車の中に一人きりにすることがありますか	R	基本	82.0
	質問 2	窓の側やベランダに、踏み台となるようなものを置かないようにしていますか		転落	78.5
	質問22	おもちゃや遊具の安全性を確認していますか		基本	77.7
	質問 4	お子さまの周りに、つまずきやすいものがないようにしていますか		転倒	74.4
	質問 1	階段や玄関など段差のあるところから、お子さまが落ちないような対策をしていますか		転落	70.2
	質問 5	ドアや扉がバタンと閉まらないような対策をしていますか		挟む・切る	52.1
	質問 7	収納扉や引き出しには、お子さまが開けられないような対策をしていますか		挟む・切る	49.6
	質問11	風船やビニール袋などは、お子さまの手の届かない場所に置くようにしていますか		窒息	46.7
	質問 8	テーブルや家具の角には、お子さまがけがをしないような対策をしていますか		衝突	18.2
				平均	81.6%

表2-③ 安全対策実施率順位（2-3歳児）

n=119

		内容（R:逆説設問）		対応事故種	実施率
2-3歳児	質問17	お子さまが水遊びをするときは、そばで安全を確認していますか		溺れ	100.0
	質問20	お子さまが三輪車に乗る場合、そばで安全を確認していますか		交通事故	96.0
	質問 9	タバコはお子さまの手の届かない場所に置くようにしていますか		誤飲	93.5
	質問11	お子さまが耳や鼻に物を入れて遊ばないように注意していますか		窒息・誤飲	92.8
	質問13	熱い食べ物が入った食器や調理器具は、お子さまの手の届かない場所に置くようにしていますか		熱傷	92.8
	質問 5	カミソリやナイフ、はさみなどの危険物はお子さまの手の届かない場所に置くようにしていますか		挟む・切る	89.6
	質問 7	お子さまが歯ブラシなど物を口にくわえたまま歩き回らないように注意していますか		衝突	88.0
	質問22	お子さまの遊ぶ場所が安全かどうかを確認していますか		基本	88.0
	質問23	お子さまを家に一人にして出かけることがありますか	R	基本	87.1
	質問12	お子さまがあめ玉や豆、こんにゃくゼリーなどを食べるときは、詰まらないように注意していますか		窒息	86.4
	質問19	お子さまを自転車に相乗りさせる場合、幼児座席のベルトはしめていますか		交通事故	85.6
	質問18	お子さまを自動車に乗せる場合、チャイルドシートは装着していますか		交通事故	84.8
	質問14	ストーブやアイロン、ポット、炊飯器などは、お子さまがさわれないようにしていますか		熱傷	82.1
	質問 8	お子さまが犬などの動物に噛まれないように注意していますか		咬まれる	78.4
	質問 2	窓の側やベランダに、踏み台となるようなものを置かないようにしていますか		転落	77.6
	質問10	薬品、洗剤、化粧品などは、お子さまの手の届かない場所に置くようにしていますか		誤飲	76.0
	質問21	おもちゃや遊具の安全性を確認していますか		基本	71.2
	質問16	浴槽に残り湯をしている場合、お子さまが一人で浴槽に入れないような対策をしていますか		溺れ	66.9
	質問24	お子さまを自動車の中に一人きりにすることがありますか	R	基本	63.7
	質問 3	お子さまの周りに、つまずきやすいものがないようにしていますか		転倒	62.4
	質問 1	階段や玄関など段差のあるところから、お子さまが落ちないような対策をしていますか		転落	56.0
	質問 4	ドアや扉がバタンと閉まらないような対策をしていますか		挟む・切る	48.4
	質問 6	収納扉や引き出しには、お子さまが開けられないような対策をしていますか		挟む・切る	36.0
	質問15	お子さまがコンセントをいたずらできないような対策をしていますか		熱傷	31.2
				平均	76.4%

表 2-④ 安全対策実施率順位(4-6歳児)

n=73

		内容(R:逆説設問)	対応事故種	実施率
4-6歳児	質問12	花火で遊ぶ場合、お子さまのそばで安全な遊び方を教えていますか	熱傷	100.0
	質問19	お子さまを車道に飛び出さないように注意していますか	交通事故	100.0
	質問14	お子さまがプールや海、川で遊ぶ場合、そばで安全を確認していますか	溺れ	98.6
	質問20	お子さまに信号の見方(意味)などの交通ルールを教えていますか	交通事故	98.6
	質問18	お子さまを自転車に乗る場合、安全な乗り方を教えていますか	交通事故	95.9
	質問23	お子さまに、おもちゃや遊具(滑り台やブランコ)の正しい遊び方を教えていますか	転落・衝突・挟む	93.2
	質問 5	お子さまが歯ブラシなど物を口にくわえたまま歩き回らないように注意していますか	衝突	91.9
	質問 9	タバコはお子さまの手の届かない場所に置くようにしていますか	誤飲	91.9
	質問 8	薬品はお子さまの手の届かない場所に置くようにしていますか	誤飲	90.5
	質問22	お子さまの遊ぶ場所が安全かどうか確認していますか	基本	90.4
	質問 6	お子さまが犬などの動物に噛まれないように注意していますか	咬まれる	89.2
	質問10	マッチやライターは、お子さまの手の届かない場所に置くようにしていますか	熱傷	87.8
	質問17	お子さまが三輪車に乗る場合、そばで安全を確認していますか	交通事故	86.5
	質問24	お子さまを家に一人にして出かけることがありますか R	基本	85.1
	質問 4	カミソリやナイフ、はさみなどの危険物は、お子さまの手の届かない場所に置くようにしていますか	挟む・切る	83.8
	質問11	ストーブやアイロン、ポット、炊飯器などは、お子さまがさわれないようにしていますか	熱傷	83.8
	質問 1	窓の側やベランダに、踏み台となるようなものを置かないようにしていますか	転落	79.7
	質問 7	お子さまが食事をするときは、ゆっくり落ち着いて食べるように注意していますか	窒息	78.4
	質問15	お子さまを自動車に乗せる場合、チャイルドシートは装着していますか	交通事故	74.3
	質問25	お子さまを自動車の中に一人きりにすることがありますか	基本	74.3
	質問16	お子さまを自転車に相乗りさせる場合、幼児座席のベルトはしめていますか	交通事故	73.0
	質問21	おもちゃや遊具の安全性を確認していますか	基本	71.6
	質問 2	お子さまの周りに、つまずきやすいものがないようにしていますか	転倒	70.3
	質問 3	ドアや扉がバタンと閉まらないような対策をしていますか	挟む・切る	54.1
	質問13	お子さまを風呂場に一人にしておくことがありますか R	溺れ	51.4
			平均	83.8%

2) 各年齢における安全対策の特徴

各年齢階層別に安全対策調査票の回答を得点化し算出した安全対策合計得点から安全対策合計得点率を算出すると、2-7ヵ月児 89.5%、8ヵ月-1歳児 79.7%、2-3歳児 75.1%、4-6歳児では 80.7% であった。これらの安全対策合計得点率を比較したところ、8ヵ月-1歳児と4-6歳児の得点率のみ有意差はなかったが、2-7ヵ月児は他の8ヵ月-1歳児、2-3歳児、4-6歳児より有意に得点率が高く、2-3歳児は8ヵ月-1歳児、4-6歳児より得点率が低かった(表3)。

表3 安全対策得点率平均(年齢階層別)

年齢階層	2-7ヵ月	8ヵ月-1歳	2-3歳	4-6歳
得点率平均 (SD)	89.5(7.3)	79.7(9.0)	75.1(12.0)	80.7(9.6)

得点率:安全対策合計点/各年齢階層安全対策の満点(%)

3) 安全対策と事故との関連

(1) 安全対策合計得点率との関連

さらに、安全対策合計得点率を算出し、全数および各年齢階層において事故経験の回数との相関をみた(表4)。その結果、全数において事故総数では関連は認められなかったが、事故種類別では「切る」という事故において有意に負の相関が認められた(r=-0.16)。

各年齢階層でみると、8ヵ月-1歳児では、「切る」と「溺れ」の事故についてそれぞれ有意に負の相関が見られ(「切る」:r=-0.27、「溺れ」:r=-0.21)、どちらも安全対策合計得点率が高いほど事故回数は少なかった。2-3歳児では、「転倒」事故において有意に正の相関が見られ(r=0.21)、安全対策合計得点率が高いほど「転倒」事故が多くなっていた。他の年齢階層においては、相関は認められなかった。

表4 安全対策得点率と各種事故回数との関連

	全数(n=382)		2-7ヵ月児(n=75)		8-1歳児(n=115)		2-3歳児(n=119)		4-6歳児(n=73)	
	M	SD	M	SD	M	SD	M	SD	M	SD
安全対策得点率	80.39	11.04	89.49	7.30	79.69	9.05	75.10	11.96	80.75	9.61
転倒	0.27	0.63	0.00	0.00	0.23	0.64	*0.37	0.67	0.44	0.76
衝突	0.07	0.32	0.01	0.12	0.07	0.34	0.11	0.41	0.04	0.26
挟む	0.05	0.25	0.00	0.00	0.09	0.36	0.05	0.22	0.04	0.20
切る	0.06* (r=-0.16)	0.24	0.03	0.16	0.03* (r=-0.27)	0.18	0.08	0.27	0.10	0.34
やけど	0.03	0.17	0.00	0.00	0.04	0.20	0.03	0.18	0.03	0.16
誤飲	0.01	0.09	0.01	0.12	0.01	0.09	0.01	0.09	0.00	0.00
窒息	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
溺れ	0.00	0.05	0.00	0.00	0.01* (r=-0.20)	0.09	0.00	0.00	0.00	0.00
引く	0.01	0.20	0.00	0.00	0.03	0.37	0.00	0.00	0.00	0.00
咬む	0.01	0.07	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.03	0.16
交通	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
噛む	0.00	0.05	0.00	0.00	0.00	0.00	0.01	0.09	0.00	0.00
その他	0.01	0.15	0.00	0.00	0.03	0.28	0.00	0.00	0.00	0.00
事故合計	0.51	1.03	0.05	0.23	0.55	1.22	0.66	1.05	0.67	1.07

表5 安全対策得点群別の事故回数との関連

		全数			2-7ヵ月児(n=75)			8-1歳児(n=115)			2-3歳児(n=119)			4-6歳児(n=73)		
		N	M	SD	N	M	SD	N	M	SD	N	M	SD	N	M	SD
事故合計	低得点群	64	0.66	0.98				17	0.65	1.27	37	0.65	0.89	10	0.70	0.82
	中得点群	252	0.50	0.97	36	0.06	0.23	88	0.47	1.04	75	0.60	0.89	53	0.74	1.18
	高得点群	66	0.38	1.27	39	0.05	0.22	10	1.10	2.28	7	1.29	2.56	10	0.30	0.48
転倒	低得点群		0.30	0.71					0.29	0.99		0.27	0.56		0.40	0.70
	中得点群		0.29	0.64		0.00	0.00		0.23	0.58		0.39	0.68		0.47	0.82
	高得点群		0.15	0.47		0.00	0.00		0.20	0.42		0.71	1.11		0.30	0.48
衝突	低得点群		0.08	0.32					0.00	0.00		0.14	0.42		0.00	0.00
	中得点群		0.05	0.24		0.03	0.17]*		0.05	0.21		0.07	0.25		0.06	0.30
	高得点群		0.11	0.53		0.00	0.00		0.40	0.97		0.43	1.13		0.00	0.00
挟む	低得点群		0.06	0.24					0.06	0.24		0.05	0.23		0.10	0.32
	中得点群		0.06	0.28		0.00	0.00		0.10	0.40		0.04	0.20		0.04	0.19
	高得点群		0.02	0.12		0.00	0.00		0.00	0.00		0.14	0.38		0.00	0.00
切る	低得点群		0.14	0.35					0.18	0.39		0.14	0.35		0.10	0.32
	中得点群		0.05	0.23]*		0.03	0.17]*		0.01	0.11		0.05	0.23		0.11	0.38
	高得点群		0.02	0.12		0.03	0.16		0.00	0.00		0.00	0.00		0.00	0.00
やけど	低得点群		0.06	0.24					0.06	0.24		0.05	0.23		0.10	0.32
	中得点群		0.02	0.15		0.00	0.00		0.03	0.18		0.03	0.16		0.02	0.14
	高得点群		0.02	0.12		0.00	0.00		0.10	0.32		0.00	0.00		0.00	0.00
誤飲	低得点群		0.00	0.00					0.00	0.00		0.00	0.00		0.00	0.00
	中得点群		0.01	0.09		0.00	0.00		0.01	0.11		0.01	0.12		0.00	0.00
	高得点群		0.02	0.12		0.03	0.16		0.00	0.00		0.00	0.00		0.00	0.00
窒息	低得点群		0.00	0.00					0.00	0.00		0.00	0.00		0.00	0.00
	中得点群		0.00	0.00		0.00	0.00		0.00	0.00		0.00	0.00		0.00	0.00
	高得点群		0.00	0.00		0.00	0.00		0.00	0.00		0.00	0.00		0.00	0.00
溺れ	低得点群		0.02	0.13					0.06	0.24		0.00	0.00		0.00	0.00
	中得点群		0.00	0.00		0.00	0.00		0.00	0.00		0.00	0.00		0.00	0.00
	高得点群		0.00	0.00		0.00	0.00		0.00	0.00		0.00	0.00		0.00	0.00
引く	低得点群		0.00	0.00					0.00	0.00		0.00	0.00		0.00	0.00
	中得点群		0.00	0.00		0.00	0.00		0.00	0.00		0.00	0.00		0.00	0.00
	高得点群		0.06	0.49		0.00	0.00		0.40	1.26		0.00	0.00		0.00	0.00
咬む	低得点群		0.00	0.00					0.00	0.00		0.00	0.00		0.00	0.00
	中得点群		0.01	0.09		0.00	0.00		0.00	0.00		0.00	0.00		0.04	0.19
	高得点群		0.00	0.00		0.00	0.00		0.00	0.00		0.00	0.00		0.00	0.00
交通	低得点群		0.00	0.00					0.00	0.00		0.00	0.00		0.00	0.00
	中得点群		0.00	0.00		0.00	0.00		0.00	0.00		0.00	0.00		0.00	0.00
	高得点群		0.00	0.00		0.00	0.00		0.00	0.00		0.00	0.00		0.00	0.00
噛む	低得点群		0.00	0.00					0.00	0.00		0.00	0.00		0.00	0.00
	中得点群		0.00	0.06		0.00	0.00		0.00	0.00		0.01	0.12		0.00	0.00
	高得点群		0.00	0.00		0.00	0.00		0.00	0.00		0.00	0.00		0.00	0.00
その他	低得点群		0.00	0.00					0.00	0.00		0.00	0.00		0.00	0.00
	中得点群		0.01	0.19		0.00	0.00		0.03	0.32		0.00	0.00		0.00	0.00
	高得点群		0.00	0.00		0.00	0.00		0.00	0.00		0.00	0.00		0.00	0.00

(2) 安全対策合計得点率の群別の比較

さらに安全対策合計得点率について、平均値±SDを基準に＜低得点群＞（M-1SD<）、＜中得点群＞（M-1SD≦M<M+1SD）、＜高得点群＞（M+1SD≦）の3群に分け事故回数との関連をみた（表5）。結果、全数では「切る」事故において、＜低得点群＞の事故回数平均0.14回、＜中得点群＞0.05回、＜高得点群＞0.02回と安全対策合計得点が高いほど事故回数が少なく、群間に有意差が認められた。

各年齢階層では、8ヵ月-1歳児において「切る」事故は＜低得点群＞0.18回、＜中得点群＞0.01回、＜高得点群＞0.0回であり、有意差があった。また、「衝突」事故では＜低得点群＞0.0回、＜中得点群＞0.05回、＜高得点群＞0.4回であり、＜低得点群＞は有意に事故が少なかった。他の年齢階層では、統計的な有意差は認められなかった。

【考察】

1.　各家庭における安全対策の実施状況

今回の調査では、2-7ヵ月児に対する安全対策の実施率が最も高く、事故発生が多いと言われている8ヵ月から3歳児における実施率は有意に低かった。

2-7ヵ月児の安全対策実施率が高かったのは、子どもの生活全般が養育者の手に委ねられ、気遣われている時期であり、必然的に安全対策が行われていたためと考えられる。8ヵ月-1歳児と2-3歳児においても、「手の届かないところに置く」など、目につきやすく簡便に対処できる対策の実施率は高かった。逆に実施率の低かった項目は、「ドアや扉、ひきだしの開け閉め」や「テーブルや家具の角の保護」であり、何らかの道具を用いる必要性があったために行われにくかったと考えられる。4-6歳児においては、事故予防に関する教育や指導の対策の実施率が高く、発達に伴い子ども自身が自分の身を守るように安全教育に重点をおいていると考えられる。

安全対策の実施に関して、養育者は子どもの成長発達段階に合わせて対策を取っていくものと考えられる。しかし、運動・精神機能ともに不安定な幼児前期の子どもに対する安全対策において、目の届きにくい場所や器具や手間を要する対策は行われにくく、先行研究においても同時期の子どもに対するドアや扉への対処は行なわれにくいとされており[2]、原因を明らかにした上で指導を強化していく必要があると考えられる。「チャイルドシートの装着」では、我々が一昨年に行なったA町での調査[3]と比較しても、1歳児までの乳幼児では装着率が上昇しており、法的な義務化により実施の定着が増したものと思われる。

また、2-3歳児において「車の中に子どもを1人にする」母親が半数以上おり、宇田の報告[1]も同様であった。今回の調査時期が10月以降という季節性を考慮しても、死亡事故に繋がる状況であるにもかかわらず、対策がとられにくかったことから、日頃より習慣化できるよう指導する必要性が示唆された。

2.　安全対策と事故との関連

今回は、安全対策が事故予防策と成り得ていたか否かを明らかにする方法として、現状の安全対策実施状況を確認した上で、毎日の事故実態を正確に記録する方法を用いたが、過去の事故を想起する方法で行なった調査[5]と同様に、安全対策と事故実態との関連における有意差はほとんど見られなかった。唯一、「切る」事故については、安全対策を講じている方が事故回数は有意に少なかったが、〔切る〕対策の実施との関連は認められなかった。子どもの事故に対する母親の注目により事故予防に繋がっているとも考えられる。

8ヵ月-1歳児と2-3歳児では、他の階層と比較して事故経験が多かったにも関わらず、安全対策合計得点率は低かった。しかし、8ヵ月-1歳児では「切る」と「溺れ」事故に関しては対策の効果が見られており、さらに安全対策が実施されることにより、事故の多い幼児前期の事故予防に繋がることが予測される。2-3歳児における「転倒」事故と安全対策の正の相関については、子どもの運動機能発達上の特徴や母親の事故に関する敏感性の影響を受けていることも考えられ、事故の定義など今後の調査における課題との関連が予測される。

事故発生時の状況に関する調査では、周囲の大人が気をつけていたものの、ちょっと目を離した時あるいは場を離れた時間に発生しており、まさか起こるとは思っていなかったという母親の認識が報告[6]されている。安全対策が行なわれにくかった年代の子どもに対しては、特に家庭内での安全対策実施に関連する要因について検討するとともに、子どもの発達や行動の特性を加味した事故予防の指導の必要性が示唆された。

引用文献

1) 衛藤隆. 小児の事故とその予防に関する研究. 平成9年度厚生省心身障害研究「乳幼児死亡の防止に関する研究」報告書. 2000, 99-101.
2) 斉藤麗子. 健診を利用したサーベイランス. 平成9年度厚生省心身障害研究「乳幼児死亡の防止に関する研究」報告書. 2000, 102-107.
3) 澤田和美、奥野順子、川口千鶴他. 大東町における子どもの健康管理に関する調査. 平成12年度大東町健康調査報告書 2001;1-14.
4) 宇田英典. 小児の事故防止への介入研究. 平成8年度厚生省心身障害研究「子どもの健康に及ぼす生活環境の影響に関する研究」報告書. 1996;179-186.
5) 前掲論文 3)
6) 荒木暁子、東幸恵、相墨生惠他. 家庭内における乳幼児の事故とその防止への援助- 啓蒙パンフレットの作成とその効果- . 岩手県立大学看護学部紀要. 2003. 5;65-70.

（文責：関森みゆき）

乳幼児の事故に影響を及ぼす対象者の特性との関連

ー子ども側と養育者側との要因からー

【はじめに】

我が国における乳幼児死亡の原因として不慮の事故が多く、「健やか親子21」の主要課題に取り上げられているように、その事故予防に対する取り組みは急務である。

事故の要因として、事故を起こす子どもや養育者の特性は何かしらの関連がみられる。澤田ら(2002)の調査では、子どもの性別、きょうだいの有無、母親の仕事の有無や世話をする人数、養育者の育児負担感に差がみられた。

そこで今回、事故予防のための介入を考案する基礎資料とするため、日記形式の記録による事故経験を調査し、事故に関連する子どもと養育者の要因を明らかにすることを目的とした。

尚、本稿では小学校入学前の乳幼児を対象に、小児の生活行動範囲を考慮し、年齢階層を生後 2〜7 か月、8 か月〜1 歳、2〜3 歳、4〜6 歳に分類し検討を行った。

【研究方法】

調査対象：静岡県A町周辺の 3 町に在住する乳幼児のうち、平成 14 年 11 月から平成 15 年 2 月までに乳幼児健診の対象となった児とそのきょうだいとした。

調査期間：質問紙を平成 14 年 10 月に発送し、平成 15 年 2 月までの回収分を分析対象とした。

調査内容：①調査期間中に経験した事故実態、②子ども側の要因（性別、きょうだい数、出生順位、生活形態、住居形態、）、③養育者側の要因（子どもを世話する大人の人数、母親の年齢と就労、母親の育児困難感）とした。

上記の①〜③のうち、事故実態に関する調査は、事故の有無と「転倒」「転落」など、14 項目の種類別に事故の回数を 16 日間、記載してもらった。このうち、最初の 2 日間は事故に対する意識が高まっていると考え、分析から除外した。尚本稿では、手当を要したもの事故について分析した。

③養育者側の要因のうち、育児負担感を測定する尺度として、川井ら(2000)の『子ども総研式・育児支援質問紙（ミレニアム版）』より、育児の印象を問う領域 1 の育児困難感 I （育児への心配や戸惑い、不適格感から成る）および育児困難感 II （子どもに対するネガティブな感情や攻撃・衝動性から成る）の尺度（Cronbach α=0.80〜0.93）を使用した。尚、この質問紙は 0 歳児版、1 歳児版、2 歳児版、3〜6 歳児版と年齢段階に応じて分類されており、対象の年齢に合わせた尺度を使用した。

分析方法：事故実態を示す指標として事故の合計数を算出し、子どもや養育者の要因について統計ソフト SPSS11j を使用し、 t 検定および一元配置分散分析を行った。

倫理的配慮：質問紙調査の実施にあたっては、事前に主任研究者からの調査協力のお願い状に、居住自治体からの調査協力依頼を同封し、同意書を送付した。同意書を返送した対象に質問紙を郵送した。

尚、データは個人が特定できないように処理をし、保管は鍵付きの保管庫で行った。

【結果】

1．対象者の背景

調査対象となった乳幼児は 680 名で、そのうち養育者の同意が得られた乳幼児は 455 名（同意率 66. 9%）であり、転居等を除いた回収数は 440 名（回収率 96. 7%）で、有効回答数は 382 名（86. 8 %）であった。

乳幼児の年齢は、1 か月から 6 歳 6 か月までで、平均 2.3 歳 (SD=1.66) であった。その内訳は 2~7 か月児 75 名、8 か月~1 歳児 115 名、2~3 歳児 119 名、4~6 歳児 73 名であった。養育者である母親の年齢は 19 歳から 42 歳までで、平均 30.4 歳 (SD=4.05) であった。

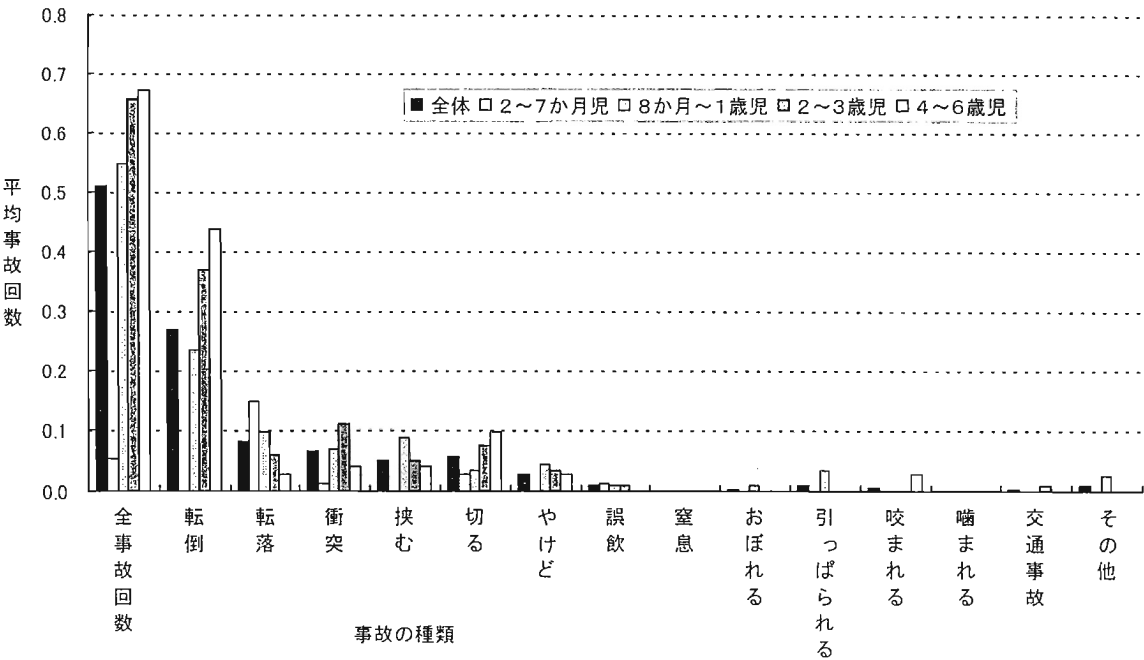



図1. 年齢別事故回数

2．事故実態

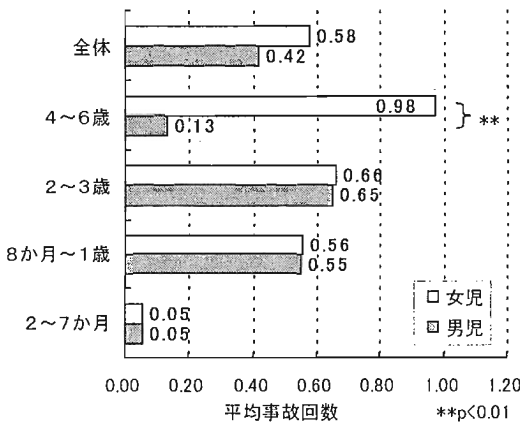
事故は手当を要としたものとし、14日間の事故の一人あたりの平均回数を指標とした（図1）。

事故回数は全体で平均0.5回(SD=1.03）で、最も事故の少ない年齢階層は2~7か月児で、他の年齢との間に有意な差がみられた($p<0.01$)。

事故の種類別では、「転倒」と「挟む」の事故が2~7か月児ではみられず、「転倒」では他の年齢階層($p<0.01$)と、「挟む」では8か月~1歳児($p<0.05$)とに有意な差がみられた。また、「衝突」においても2~7か月児が最も少なく、2~3歳児との間に有意な差がみられた($p<0.05$)。

3．事故実態と子ども側の要因との関連

1）性別

全事故において、全体では女児の方が事故回数が多かったが有意差はみられなかった（図2）。

年齢階層別では、4~6歳児において女児の方が有意に事故回数が多かった($p<0.01$)。

事故の種類別にみると、「転倒」で女児が有意に事故が多く($p<0.05$)、特に4~6歳児において有意に「転倒」が多かった($p<0.01$)。

2）きょうだい数（図3）

全事故において、全体ではきょうだいの数が“3人以上”が最も事故が多く、きょうだいのいない“一人っ子”と有意な差がみられ($p<0.05$)、特に8か月~1歳において有意差がみられた($p<0.05$)。

事故の種類別にみると、“3人以上”が有意に「転倒」の事故が多かった($p<0.05$)。年齢別では「誤飲」と「その他」において8か月~1歳で“3人以上”が最も有意に事故が多かった($p<0.05$)。

図2. 性別と事故

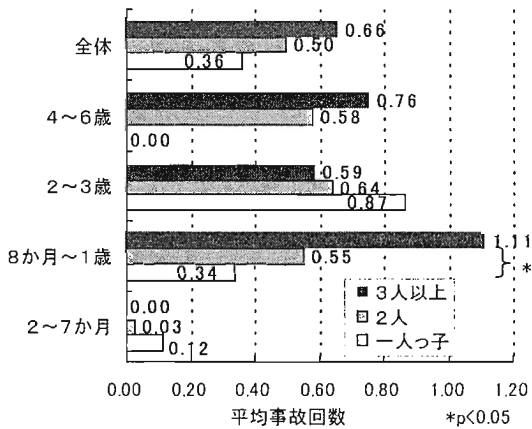



図3. きょうだい数と事故

3）出生順位

全事故、事故の種類において、全体および各年齢層共に出生順位に有意な差はみられなかったが、きょうだいがいるもののうち、下にきょうだいがいるか否か（図 4）では、全事故において 8 か月~1 歳児で下にきょうだいがいるものの方が有意に事故が多かった($p<0.01$)。

4）生活形態（図 5）

乳幼児の生活の主体が家庭内なのか保育園や幼稚園に通園しているのかで比較してみると、全事故における事故実態は全体で通園しているものの方が有意に事故が多かった($p<0.05$)。

しかし、「衝突」においては、2~3 歳児で家庭内にいるものの方が有意に事故が多かった($p<0.01$)。

5）住居形態：住居には平屋一戸建て、二階建ての一戸建て、集合住宅があったが、主に生活している範囲を 1 階か 2 階以上かに分類し、検討した。その結果、2~7 か月児では 2 階以上に住んでいるものの方が有意に事故が多かった（図 6）。

事故の種類では、8 か月~1 歳児($p<0.05$)、2~3 歳児($p<0.01$)、4~6 歳児($p<0.01$)における「切る」で、8 か月~1 歳児と 2~3 歳児($p<0.05$)における「やけど」で 2 階以上に住んでいるものの方が有意に事故が多かった。

4. 事故実態と養育者側の要因との関連

1）子どもを世話する大人の人数（図 7）

まず、子どもと同居する大人の人数について比較してみると、全事故において 3 人というもの方が、事故が多い傾向がみられたが、有意差はみられなかった。「切る」において 2~7 か月児と 2~3 歳児で、「転倒」において 8 か月~1 歳児で、3 人が有意に高かった($p<0.05$)。

主に子どもの世話をする大人が 1 人か 2 人以上なのかでは、全体および 8 か月~1 歳児で 1 人の方が有意に事故が多かった。

また、事故の種類では「転倒」「衝突」「挟む」「やけど」で 1 人が有意に多く($p<0.01$)、8 か月~1 歳児と 4~6 歳児においては「転倒」で、2~3 歳児では「切る」で 1 人が 2 人以上と比べ有意に事故が多かった($p<0.01$)。

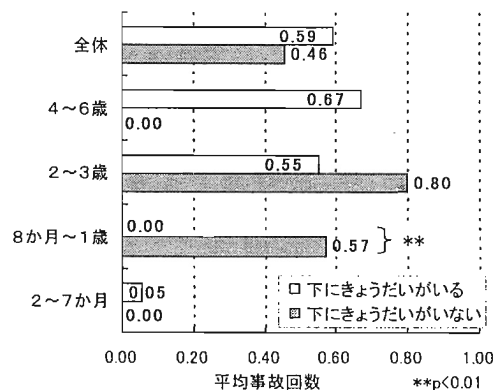



図4. 下のきょうだいの有無と事故

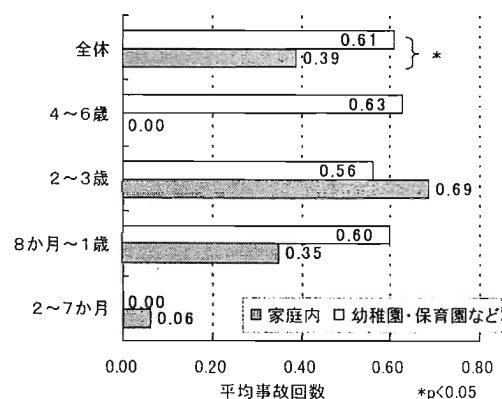



図5. 通園状態と事故

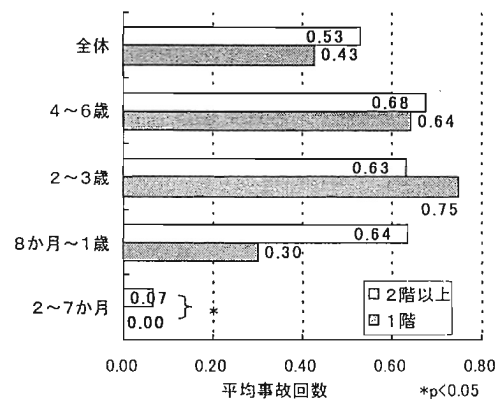



図6. 住居形態と事故

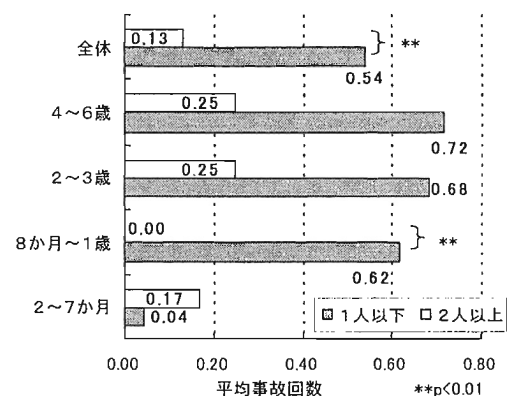



図7. 世話をする大人の人数と事故

2）母親の年齢（図8）

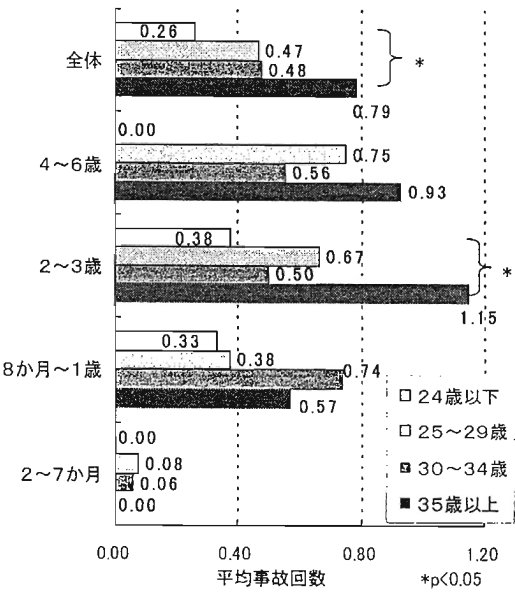
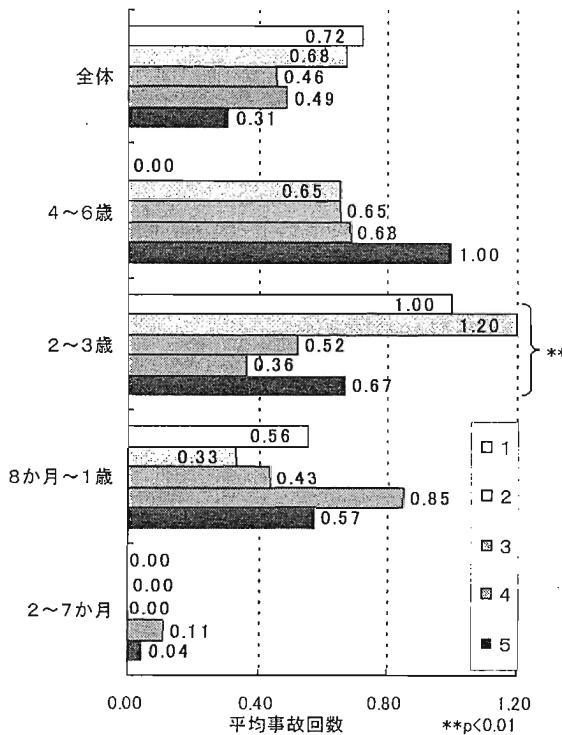
全体では母親が 35 歳以上のものが最も事故が多く、母親の各年齢層との間に有意な差がみられた(p<0.05)。特に、2~3 歳児において母親が 35 歳以上と、30~34 歳との間で有意な差がみられた(p<0.05)。「やけど」でも 35 歳以上と、30~34 歳との間で有意な差がみられた(p<0.05)。「その他」では全体と 8 か月~1 歳児において 35 歳以上が最も多く、25~29 歳と 30~34 歳との間で有意な差がみられた(p<0.05)。

図8. 母親の年齢と事故

3）母親の就労状況

母親が有職か無職かで比較してみたが、全事故、事故の種類において、全体および各年齢層共に有意な差はみられなかった。

4）育児困難感

全体で育児困難感Ⅰの得点は平均 3.2(SD=1.03)、育児困難感Ⅱは平均 3.0(SD=0.96)であった。年齢別にみると育児困難感Ⅰでは 2~7 か月児が最も高く、他の年齢で有意な差がみられた(p<0.01)。育児困難感Ⅱでは 2~3 歳児が、最も高く、8 か月~1 歳児との間に有意な差がみられた。

事故と育児困難感との比較では、全体でみると育児困難感が高くなるほど事故回数が減少している傾向がみられたが、有意な差はみられなかった。2~3 歳児において育児困難感Ⅰのランク 2 のものが最も事故が多く、ランク 4・5 のものと有意な差がみられた(p<0.01)（図 9）。

育児困難感Ⅱではランク 1 のものが最も事故が多く、他の年齢と有意な差がみられた(p<0.01)（図 10）。

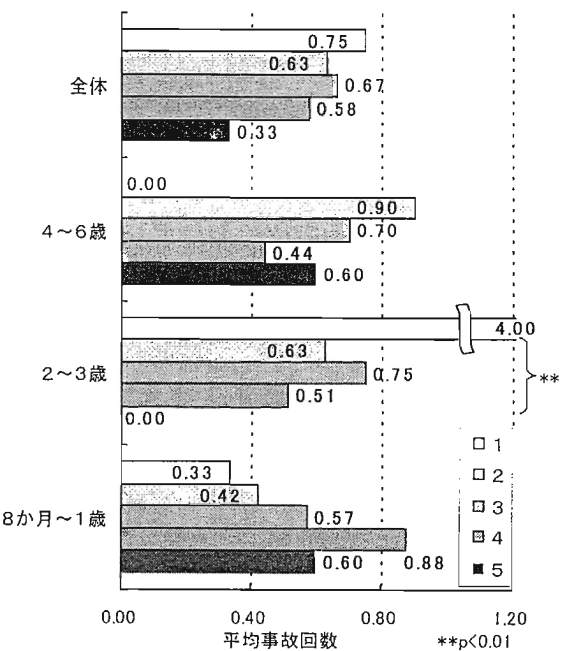



図9. 育児困難感Ⅰと事故

図10. 育児困難感Ⅱと事故

【考察】

今回の事故実態の調査では、子どもや養育者の特性が影響を及ぼしていることが明らかになった。

まず、子ども側の要因として性別では、田中(1990)や高橋ら(1990)によると男児の方が事故が多いとの報告を得ていたが、本研究では男児よりも女児の方が事故が多かった。

また、子どものきょうだい数や生活形態において、きょうだい数の多いもの、下にきょうだいがいるもの、通園しているものに事故が多く、日常の子ども同士の遊びなどの関わりの中でけがをする機会が増加したのもと推測される。

養育者の要因としては、子どもを実際に世話をする養育者の人数が多い方が事故が少ないことから、大人の関わりの多さが事故を減少させることを示している。また、主な養育者である母親の年齢が35歳以上の事故が多いことから、子どもの活動量に対し、母親の体力や注意力の衰えから事故を未然に防ぐことができないことが考えられる。

養育者の育児困難感においては、育児困難感が高いものほど事故回数が少なかった。特に2~3歳児に著明にその傾向がみられたことから、子どもの自我の芽生えから自己中心性が出てきたところで、子どもへの対応に不安を抱き、育児に対する自信を失いつつある一方、そういう時期であるからこそ、子どもへの関心が向き、事故が少なくなっていると思われる。また、逆に子どもに対し、事故などが起きないように気を配っていること自体が育児困難感を招いているものとも考えられる。この育児困難感と事故との関連においては、今後、検討が必要である。

これらのことから、子どもの事故予防には養育者の子どもに対する関わりの多さだけではなく、子どもの発達や行動特性を理解し、事故予防対策を事前にとることが重要であることが示唆された。

引用文献

川井尚(2003)：「子ども総研式・育児支援質問紙」利用手引き，母子愛育会・日本子ども家庭総合研究所，東京.

澤田和美，川口千鶴，奥野順子，他2名(2002)：大東町における子どもの事故に関連する要因－乳幼児健診結果との関連－，平成13年度大東町健康調査報告書，11-23.

高橋種昭，須永進，湯川礼子，他5名(1990)：現代児童の生活形態に関する研究－乳幼児の事故と安全教育－，日本総合愛育研究所紀要，第26集，53-61.

田中哲朗(1990)：乳幼児の事故の実態に関する調査研究，平成2年度厚生省心身障害者研究「地域・家庭環境の小児に対する影響等に関する研究」報告書，163-171.

（文責：臼井雅美）

表1．年齢階層別事故回数と事故の種類

	全体 (n=382)		2～7か月児 (n=75)		8か月～1歳児 (n=115)		2～3歳児 (n=119)		4～6歳児 (n=73)	
	平均	SD	平均	SD	平均	SD	平均	SD	平均	SD
全事故回数	0.5	1.03	0.1	0.23	0.5	1.22	0.7	1.05	0.7	1.07
転倒	0.3	0.63	0.0	0.00	0.2	0.64	0.4	0.67	0.4	0.76
転落	0.1	0.58	0.1	1.16	0.1	0.30	0.1	0.33	0.0	0.23
衝突	0.1	0.32	0.0	0.12	0.1	0.34	0.1	0.41	0.0	0.26
挟む	0.0	0.25	0.0	0.00	0.1	0.36	0.1	0.22	0.0	0.20
切る	0.1	0.24	0.0	0.16	0.0	0.18	0.1	0.27	0.1	0.34
やけど	0.0	0.17	0.0	0.00	0.0	0.20	0.0	0.18	0.0	0.16
誤飲	0.0	0.09	0.0	0.12	0.0	0.09	0.0	0.09	0.0	0.00
窒息	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00
おぼれる	0.0	0.05	0.0	0.00	0.0	0.09	0.0	0.00	0.0	0.00
引っぱられる	0.0	0.20	0.0	0.00	0.0	0.37	0.0	0.00	0.0	0.00
咬まれる	0.0	0.07	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.16
噛まれる	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00
交通事故	0.0	0.05	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.09	0.0	0.00
その他	0.0	0.15	0.0	0.00	0.0	0.28	0.0	0.00	0.0	0.00

表2．性別と事故の種類別事故回数

事故の種類	項目	全体 (n=382)		2～7か月児 (n=75)		8か月～1歳児 (n=115)		2～3歳児 (n=119)		4～6歳児 (n=73)	
		平均	SD	平均	SD	平均	SD	平均	SD	平均	SD
転倒	男児	0.2	0.50	0.0	0.00	0.2	0.46	0.4	0.65	0.1	0.31
	女児	0.3	0.68	0.0	0.00	0.3	0.75	0.4	0.71	0.6	0.73
転落	男児	0.1	0.30	0.0	0.16	0.1	0.27	0.1	0.42	0.0	0.00
	女児	0.1	0.75	0.3	1.62	0.1	0.32	0.0	0.14	0.0	0.31
衝突	男児	0.1	0.30	0.0	0.16	0.1	0.48	0.1	0.24	0.0	0.00
	女児	0.1	0.34	0.0	0.00	0.0	0.18	0.2	0.55	0.1	0.34
挟む	男児	0.0	0.16	0.0	0.00	0.0	0.20	0.0	0.21	0.0	0.00
	女児	0.1	0.31	0.0	0.00	0.1	0.46	0.1	0.23	0.1	0.26
切る	男児	0.1	0.24	0.0	0.00	0.1	0.24	0.1	0.31	0.0	0.18
	女児	0.1	0.25	0.1	0.23	0.0	0.13	0.0	0.19	0.1	0.42
やけど	男児	0.0	0.18	0.0	0.00	0.1	0.27	0.0	0.17	0.0	0.00
	女児	0.0	0.16	0.0	0.00	0.0	0.13	0.0	0.19	0.0	0.22
誤飲	男児	0.0	0.10	0.0	0.16	0.0	0.00	0.0	0.12	0.0	0.00
	女児	0.0	0.07	0.0	0.00	0.0	0.13	0.0	0.00	0.0	0.00
窒息	男児	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00
	女児	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00
溺れ	男児	0.0	0.07	0.0	0.00	0.0	0.14	0.0	0.00	0.0	0.00
	女児	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00
引く	男児	0.0	0.29	0.0	0.00	0.1	0.56	0.0	0.00	0.0	0.00
	女児	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00
咬む	男児	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00
	女児	0.0	0.10	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.22
交通	男児	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00
	女児	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00
噛む	男児	0.0	0.07	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.12	0.0	0.00
	女児	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00
その他	男児	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00
	女児	0.0	0.21	0.0	0.00	0.0	0.38	0.0	0.00	0.0	0.00

表3．きょうだいの数と事故の種類別事故回数

事故の種類	項目	全体 (n=382)		2～7か月児 (n=75)		8か月～1歳児 (n=115)		2～3歳児 (n=119)		4～6歳児 (n=73)	
		平均	SD	平均	SD	平均	SD	平均	SD	平均	SD
転倒	1人	0.2	0.49	0.0	0.00	0.2	0.48	0.5	0.74	0.0	
	2人	0.3	0.66	0.0	0.00	0.2	0.68	0.3	0.67	0.4	0.84
	3人以上	0.4	0.68	0.0	0.00	0.5	0.86	0.3	0.67	0.5	0.69
転落	1人	0.2	1.11	0.4	1.96	0.1	0.33	0.2	0.77		
	2人	0.0	0.16	0.0	0.17	0.1	0.25	0.0	0.12	0.0	0.00
	3人以上	0.1	0.30	0.0	0.00	0.1	0.32	0.1	0.31	0.1	0.33
衝突	1人	0.1	0.25	0.0	0.20	0.1	0.24	0.1	0.35	0.0	0.17
	2人	0.1	0.35	0.0	0.00	0.1	0.46	0.1	0.42	0.1	0.33
	3人以上	0.1	0.32	0.0	0.00	0.1	0.24	0.1	0.41		
挟む	1人	0.0	0.15	0.0	0.00	0.0	0.20	0.0	0.00	0.0	0.17
	2人	0.1	0.24	0.0	0.00	0.1	0.35	0.1	0.25	0.1	0.23
	3人以上	0.1	0.33	0.0	0.00	0.2	0.65	0.0	0.19		
切る	1人	0.1	0.25	0.1	0.27	0.0	0.20	0.1	0.35	0.1	0.23
	2人	0.1	0.22	0.0	0.00	0.0	0.20	0.1	0.27	0.1	0.42
	3人以上	0.1	0.28	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.19		
やけど	1人	0.0	0.15	0.0	0.00	0.0	0.14	0.1	0.26	0.0	0.17
	2人	0.0	0.16	0.0	0.00	0.0	0.20	0.0	0.16	0.0	0.16
	3人以上	0.0	0.20	0.0	0.00	0.1	0.32	0.0	0.19		
誤飲	1人	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00
	2人	0.0	0.10	0.0	0.17	0.0	0.00	0.0	0.12	0.0	0.00
	3人以上	0.0	0.10	0.0	0.00	0.1	0.24	0.0	0.00		
窒息	1人	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00
	2人	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00
	3人以上	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00		
溺れ	1人	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00
	2人	0.0	0.07	0.0	0.00	0.0	0.15	0.0	0.00	0.0	0.00
	3人以上	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00		
引く	1人	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00
	2人	0.0	0.29	0.0	0.00	0.1	0.58	0.0	0.00	0.0	0.00
	3人以上	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00		
咬む	1人	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.1	0.23
	2人	0.0	0.10	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00
	3人以上	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00		
交通	1人	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00
	2人	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00
	3人以上	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00		
噛む	1人	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00
	2人	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00
	3人以上	0.0	0.10	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.19		
その他	1人	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00
	2人	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00
	3人以上	0.0	0.30	0.0	0.00	0.2	0.71	0.0	0.00		

表4．出生順位と事故の種類別事故回数

事故の種類	項目	全体 (n=382)		2～7か月児 (n=75)		8か月～1歳児 (n=115)		2～3歳児 (n=119)		4～6歳児 (n=73)	
		平均	SD	平均	SD	平均	SD	平均	SD	平均	SD
転倒	第1子	0.3	0.61	0.0	0.00	0.2	0.47	0.3	0.64	0.4	0.76
	第2子以上	0.3	0.66	0.0	0.00	0.3	0.76	0.4	0.72	0.6	0.78
転落	第1子	0.1	0.75	0.4	1.96	0.1	0.32	0.0	0.37	0.0	0.00
	第2子以上	0.1	0.27	0.0	0.14	0.1	0.28	0.1	0.27	0.1	0.47
衝突	第1子	0.0	0.22	0.0	0.20	0.1	0.23	0.1	0.27	0.0	0.13
	第2子以上	0.1	0.41	0.0	0.00	0.1	0.42	0.2	0.53	0.1	0.47
挟む	第1子	0.0	0.18	0.0	0.00	0.0	0.19	0.0	0.21	0.0	0.19
	第2子以上	0.1	0.31	0.0	0.00	0.1	0.46	0.1	0.23	0.1	0.24
切る	第1子	0.1	0.27	0.1	0.27	0.0	0.19	0.1	0.27	0.1	0.33
	第2子以上	0.0	0.22	0.0	0.00	0.0	0.18	0.1	0.27	0.2	0.38
やけど	第1子	0.0	0.16	0.0	0.00	0.0	0.14	0.0	0.21	0.0	0.13
	第2子以上	0.0	0.18	0.0	0.00	0.1	0.25	0.0	0.14	0.1	0.24
誤飲	第1子	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00
	第2子以上	0.0	0.13	0.0	0.14	0.0	0.13	0.0	0.14	0.0	0.00
窒息	第1子	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00
	第2子以上	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00
溺れ	第1子	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00
	第2子以上	0.0	0.07	0.0	0.00	0.0	0.13	0.0	0.00	0.0	0.00
引く	第1子	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00
	第2子以上	0.0	0.30	0.0	0.00	0.1	0.51	0.0	0.00	0.0	0.00
咬む	第1子	0.0	0.10	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.19
	第2子以上	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00
交通	第1子	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00
	第2子以上	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00
噛む	第1子	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00
	第2子以上	0.0	0.07	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.14	0.0	0.00
その他	第1子	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00
	第2子以上	0.0	0.22	0.0	0.00	0.0	0.38	0.0	0.00	0.0	0.00

表5. 下のきょうだいの有無と事故の種類別事故回数

事故の種類	項 目	全体 (n=382)		2～7か月児 (n=75)		8か月～1歳児 (n=115)		2～3歳児 (n=119)		4～6歳児 (n=73)	
		平均	SD	平均	SD	平均	SD	平均	SD	平均	SD
転倒	下にいない	0.2	0.57	0.3	0.61	0.2	0.65	0.4	0.70	.	.
	下にいる	0.4	0.70	0.3	0.66	0.0	0.00	0.3	0.65	0.4	0.76
転落	下にいない	0.1	0.71	0.1	0.75	0.1	0.30	0.1	0.44	.	.
	下にいる	0.0	0.22	0.1	0.27	0.0	0.00	0.0	0.21	0.0	0.23
衝突	下にいない	0.1	0.36	0.0	0.22	0.1	0.35	0.2	0.56	.	.
	下にいる	0.0	0.24	0.1	0.41	0.0	0.00	0.1	0.24	0.0	0.26
挟む	下にいない	0.1	0.27	0.0	0.18	0.1	0.37	0.0	0.20	.	.
	下にいる	0.0	0.21	0.1	0.31	0.0	0.00	0.1	0.24	0.0	0.20
切る	下にいない	0.0	0.21	0.1	0.27	0.0	0.19	0.1	0.30	.	.
	下にいる	0.1	0.29	0.0	0.22	0.0	0.00	0.1	0.24	0.1	0.34
やけど	下にいない	0.0	0.16	0.0	0.16	0.0	0.21	0.0	0.14	.	.
	下にいる	0.0	0.18	0.0	0.18	0.0	0.00	0.0	0.21	0.0	0.16
誤飲	下にいない	0.0	0.11	0.0	0.00	0.0	0.10	0.0	0.14	.	.
	下にいる	0.0	0.00	0.0	0.13	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00
窒息	下にいない	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	.	.
	下にいる	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00
溺れ	下にいない	0.0	0.07	0.0	0.00	0.0	0.10	0.0	0.00	.	.
	下にいる	0.0	0.00	0.0	0.07	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00
引く	下にいない	0.0	0.26	0.0	0.00	0.0	0.38	0.0	0.00	.	.
	下にいる	0.0	0.00	0.0	0.30	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00
咬む	下にいない	0.0	0.00	0.0	0.10	0.0	0.00	0.0	0.00	.	.
	下にいる	0.0	0.12	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.16
交通	下にいない	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	.	.
	下にいる	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00
噛む	下にいない	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	.	.
	下にいる	0.0	0.08	0.0	0.07	0.0	0.00	0.0	0.12	0.0	0.00
その他	下にいない	0.0	0.20	0.0	0.00	0.0	0.29	0.0	0.00	.	.
	下にいる	0.0	0.00	0.0	0.22	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00

表6. 通園状況と事故の種類別事故回数

事故の種類	項 目	全体 (n=382)		2～7か月児 (n=75)		8か月～1歳児 (n=115)		2～3歳児 (n=119)		4～6歳児 (n=73)	
		平均	SD	平均	SD	平均	SD	平均	SD	平均	SD
転倒	家庭内	0.2	0.49	0.0	0.00	0.1	0.36	0.3	0.69	.	.
	外部(幼稚園・保育園)	0.4	0.63	.	.	0.3	0.55	0.4	0.67	0.4	0.64
転落	家庭内	0.1	0.73	0.2	1.24	0.1	0.31	0.1	0.38	.	.
	外部(幼稚園・保育園)	0.0	0.24	.	.	0.1	0.31	0.0	0.18	0.0	0.24
衝突	家庭内	0.1	0.37	0.0	0.12	0.1	0.37	0.1	0.47	.	.
	外部(幼稚園・保育園)	0.0	0.22	.	.	0.1	0.22	0.0	0.00	0.0	0.27
挟む	家庭内	0.0	0.24	0.0	0.00	0.1	0.32	0.1	0.24	.	.
	外部(幼稚園・保育園)	0.0	0.20	.	.	0.1	0.22	0.0	0.18	0.0	0.20
切る	家庭内	0.0	0.22	0.0	0.17	0.0	0.16	0.1	0.28	.	.
	外部(幼稚園・保育園)	0.1	0.32	.	.	0.1	0.31	0.1	0.25	0.1	0.35
やけど	家庭内	0.0	0.16	0.0	0.00	0.0	0.19	0.0	0.19	.	.
	外部(幼稚園・保育園)	0.0	0.20	.	.	0.1	0.31	0.0	0.18	0.0	0.17
誤飲	家庭内	0.0	0.09	0.0	0.12	0.0	0.00	0.0	0.11	.	.
	外部(幼稚園・保育園)	0.0	0.00	.	.	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00
窒息	家庭内	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	.	.
	外部(幼稚園・保育園)	0.0	0.00	.	.	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00
溺れ	家庭内	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	.	.
	外部(幼稚園・保育園)	0.0	0.09	.	.	0.1	0.22	0.0	0.00	0.0	0.00
引く	家庭内	0.0	0.27	0.0	0.00	0.1	0.46	0.0	0.00	.	.
	外部(幼稚園・保育園)	0.0	0.00	.	.	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00
咬む	家庭内	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	.	.
	外部(幼稚園・保育園)	0.0	0.13	.	.	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.17
交通	家庭内	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	.	.
	外部(幼稚園・保育園)	0.0	0.00	.	.	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00
噛む	家庭内	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	.	.
	外部(幼稚園・保育園)	0.0	0.09	.	.	0.0	0.00	0.0	0.18	0.0	0.00
その他	家庭内	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	.	.
	外部(幼稚園・保育園)	0.0	0.00	.	.	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00

表7．住居形態と事故の種類別事故回数

事故の種類	項目	全体 (n=382)		2～7か月児 (n=75)		8か月～1歳児 (n=115)		2～3歳児 (n=119)		4～6歳児 (n=73)	
		平均	SD	平均	SD	平均	SD	平均	SD	平均	SD
転倒	1階	0.3	0.63	0.0	0.00	0.1	0.43	0.5	0.83	0.5	0.76
	2階以上	0.3	0.63	0.0	0.00	0.3	0.70	0.3	0.63	0.4	0.77
転落	1階	0.2	1.11	0.2	1.11	0.1	0.25	0.0	0.20	0.0	0.00
	2階以上	0.1	0.29	0.1	0.29	0.1	0.31	0.1	0.35	0.0	0.26
衝突	1階	0.1	0.32	0.0	0.00	0.0	0.18	0.2	0.51	0.1	0.27
	2階以上	0.1	0.32	0.0	0.13	0.1	0.38	0.1	0.38	0.0	0.26
挟む	1階	0.1	0.29	0.0	0.00	0.1	0.43	0.0	0.20	0.0	0.00
	2階以上	0.0	0.24	0.0	0.00	0.1	0.34	0.1	0.22	0.1	0.22
切る	1階	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00
	2階以上	0.1	0.27	0.0	0.18	0.0	0.21	0.1	0.29	0.1	0.38
やけど	1階	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00
	2階以上	0.0	0.19	0.0	0.00	0.1	0.24	0.0	0.20	0.0	0.18
誤飲	1階	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00
	2階以上	0.0	0.10	0.0	0.13	0.0	0.11	0.0	0.10	0.0	0.00
窒息	1階	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00
	2階以上	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00
溺れ	1階	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00
	2階以上	0.0	0.06	0.0	0.00	0.0	0.11	0.0	0.00	0.0	0.00
引く	1階	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00
	2階以上	0.0	0.23	0.0	0.00	0.0	0.43	0.0	0.00	0.0	0.00
咬む	1階	0.0	0.11	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.1	0.27
	2階以上	0.0	0.06	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.13
交通	1階	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00
	2階以上	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00
噛む	1階	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00
	2階以上	0.0	0.06	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.10	0.0	0.00
その他	1階	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00
	2階以上	0.0	0.17	0.0	0.00	0.0	0.33	0.0	0.00	0.0	0.00

表8．子どもと同居する大人の人数と事故の種類別事故回数

事故の種類	項目	全体 (n=382)		2～7か月児 (n=75)		8か月～1歳児 (n=115)		2～3歳児 (n=119)		4～6歳児 (n=73)	
		平均	SD	平均	SD	平均	SD	平均	SD	平均	SD
転倒	2人	0.2	0.56	0.0	0.00	0.2	0.51	0.4	0.67	0.4	0.66
	3人	0.5	1.16	0.0	0.00	0.7	1.34	0.3	0.71	1.3	1.89
	4人以上	0.3	0.57	0.0	0.00	0.2	0.46	0.4	0.69	0.5	0.65
転落	2人	0.1	0.75	0.3	1.51	0.1	0.34	0.1	0.42	0.0	0.31
	3人	0.0	0.19	0.0	0.00	0.1	0.32	0.0	0.00	0.0	0.00
	4人以上	0.0	0.12	0.0	0.00	0.0	0.17	0.0	0.15	0.0	0.00
衝突	2人	0.1	0.34	0.0	0.15	0.1	0.41	0.1	0.36	0.1	0.34
	3人	0.0	0.19	0.0	0.00	0.0	0.00	0.1	0.35	0.0	0.00
	4人以上	0.0	0.30	0.0	0.00	0.0	0.17	0.1	0.49	0.0	0.00
挟む	2人	0.0	0.25	0.0	0.00	0.1	0.37	0.0	0.21	0.0	0.15
	3人	0.1	0.27	0.0	0.00	0.1	0.32	0.0	0.00	0.3	0.50
	4人以上	0.0	0.25	0.0	0.00	0.1	0.35	0.1	0.25	0.0	0.20
切る	2人	0.0	0.19	0.0	0.15	0.0	0.17	0.0	0.17	0.1	0.26
	3人	0.1	0.32	0.2	0.45	0.0	0.00	0.3	0.46	0.0	0.00
	4人以上	0.1	0.31	0.0	0.00	0.1	0.24	0.1	0.32	0.2	0.47
やけど	2人	0.0	0.15	0.0	0.00	0.0	0.17	0.0	0.12	0.0	0.22
	3人	0.1	0.27	0.0	0.00	0.1	0.32	0.1	0.35	0.0	0.00
	4人以上	0.0	0.17	0.0	0.00	0.1	0.24	0.0	0.21	0.0	0.00
誤飲	2人	0.0	0.09	0.0	0.00	0.0	0.12	0.0	0.12	0.0	0.00
	3人	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00
	4人以上	0.0	0.09	0.0	0.20	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00
窒息	2人	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00
	3人	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00
	4人以上	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00
溺れ	2人	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00
	3人	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00
	4人以上	0.0	0.09	0.0	0.00	0.0	0.17	0.0	0.00	0.0	0.00
引く	2人	0.0	0.27	0.0	0.00	0.1	0.48	0.0	0.00	0.0	0.00
	3人	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00
	4人以上	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00
咬む	2人	0.0	0.09	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.22
	3人	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00
	4人以上	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00
交通	2人	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00
	3人	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00
	4人以上	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00
噛む	2人	0.0	0.07	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.12	0.0	0.00
	3人	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00
	4人以上	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00
その他	2人	0.0	0.20	0.0	0.00	0.0	0.36	0.0	0.00	0.0	0.00
	3人	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00
	4人以上	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00

表9. 子どもの世話をする大人の人数と事故の種類別事故回数

事故の種類	項目	全体 (n=382)		2～7か月児 (n=75)		8か月～1歳児 (n=115)		2～3歳児 (n=119)		4～6歳児 (n=73)	
		平均	SD	平均	SD	平均	SD	平均	SD	平均	SD
転倒	1人以下	0.3	0.65	0.0	0.00	0.3	0.67	0.4	0.69	0.5	0.79
	2人以上	0.1	0.25	0.0	0.00	0.0	0.00	0.3	0.46	0.0	0.00
転落	1人以下	0.1	0.60	0.2	1.21	0.1	0.30	0.1	0.34	0.0	0.24
	2人以上	0.0	0.18	0.0	0.00	0.1	0.28	0.0	0.00	0.0	0.00
衝突	1人以下	0.1	0.34	0.0	0.12	0.1	0.36	0.1	0.42	0.0	0.27
	2人以上	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00
挟む	1人以下	0.1	0.26	0.0	0.00	0.1	0.39	0.1	0.23	0.0	0.21
	2人以上	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00
切る	1人以下	0.1	0.24	0.0	0.12	0.0	0.20	0.1	0.27	0.1	0.34
	2人以上	0.1	0.25	0.2	0.41	0.0	0.00	0.0	0.00	0.3	0.50
やけど	1人以下	0.0	0.17	0.0	0.00	0.0	0.22	0.0	0.19	0.0	0.17
	2人以上	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00
誤飲	1人以下	0.0	0.09	0.0	0.12	0.0	0.10	0.0	0.09	0.0	0.00
	2人以上	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00
窒息	1人以下	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00
	2人以上	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00
溺れ	1人以下	0.0	0.05	0.0	0.00	0.0	0.10	0.0	0.00	0.0	0.00
	2人以上	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00
引く	1人以下	0.0	0.21	0.0	0.00	0.0	0.40	0.0	0.00	0.0	0.00
	2人以上	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00
咬む	1人以下	0.0	0.08	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.17
	2人以上	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00
交通	1人以下	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00
	2人以上	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00
噛む	1人以下	0.0	0.05	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.09	0.0	0.00
	2人以上	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00
その他	1人以下	0.0	0.16	0.0	0.00	0.0	0.30	0.0	0.00	0.0	0.00
	2人以上	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00

表10. 母親の就労状況と事故の種類別事故回数

事故の種類	項目	全体 (n=382)		2～7か月児 (n=75)		8か月～1歳児 (n=115)		2～3歳児 (n=119)		4～6歳児 (n=73)	
		平均	SD	平均	SD	平均	SD	平均	SD	平均	SD
転倒	有職	0.3	0.62	0.0	0.00	0.3	0.63	0.4	0.67	0.4	0.69
	無職	0.2	0.54	0.0	0.00	0.2	0.44	0.4	0.69	0.4	0.63
転落	有職	0.1	0.23	0.0	0.00	0.2	0.36	0.0	0.16	0.0	0.00
	無職	0.1	0.70	0.2	1.35	0.1	0.26	0.1	0.39	0.0	0.31
衝突	有職	0.1	0.35	0.0	0.00	0.1	0.22	0.1	0.58	0.0	0.19
	無職	0.1	0.31	0.0	0.13	0.1	0.39	0.1	0.31	0.0	0.31
挟む	有職	0.1	0.28	0.0	0.00	0.1	0.35	0.1	0.27	0.1	0.26
	無職	0.0	0.23	0.0	0.00	0.1	0.35	0.0	0.19	0.0	0.16
切る	有職	0.1	0.26	0.1	0.23	0.1	0.27	0.1	0.31	0.0	0.19
	無職	0.1	0.24	0.0	0.13	0.0	0.12	0.1	0.25	0.1	0.42
やけど	有職	0.0	0.18	0.0	0.00	0.1	0.27	0.0	0.16	0.0	0.00
	無職	0.0	0.17	0.0	0.00	0.0	0.17	0.0	0.19	0.0	0.22
誤飲	有職	0.0	0.09	0.0	0.00	0.0	0.16	0.0	0.00	0.0	0.00
	無職	0.0	0.09	0.0	0.13	0.0	0.00	0.0	0.11	0.0	0.00
窒息	有職	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00
	無職	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00
溺れ	有職	0.0	0.09	0.0	0.00	0.0	0.16	0.0	0.00	0.0	0.00
	無職	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00
引く	有職	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00
	無職	0.0	0.26	0.0	0.00	0.1	0.48	0.0	0.00	0.0	0.00
咬む	有職	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00
	無職	0.0	0.09	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.22
交通	有職	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00
	無職	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00
噛む	有職	0.0	0.09	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.16	0.0	0.00
	無職	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00
その他	有職	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00
	無職	0.0	0.19	0.0	0.00	0.0	0.36	0.0	0.00	0.0	0.00

表11. 母親の年齢と事故の種類別事故回数

事故の種類	項 目	全体 (n=382)		2～7か月児 (n=75)		8か月～1歳児 (n=115)		2～3歳児 (n=119)		4～6歳児 (n=73)	
		平均	SD	平均	SD	平均	SD	平均	SD	平均	SD
転倒	24歳以下	0.2	0.58	0.0	0.00	0.3	0.62	0.4	0.74	0.0	0.00
	25～29歳	0.2	0.53	0.0	0.00	0.1	0.33	0.4	0.71	0.6	0.60
	30～34歳	0.3	0.67	0.0	0.00	0.3	0.86	0.3	0.50	0.4	0.87
	35歳以上	0.4	0.73	0.0	0.00	0.3	0.61	0.7	0.88	0.4	0.74
転落	24歳以下	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00
	25～29歳	0.1	0.88	0.4	1.96	0.2	0.38	0.0	0.15		
	30～34歳	0.0	0.19	0.0	0.17	0.1	0.22	0.1	0.25	0.0	0.00
	35歳以上	0.1	0.49	0.0	0.00	0.1	0.27	0.2	0.67	0.0	0.00
衝突	24歳以下	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.1	0.52
	25～29歳	0.0	0.20	0.0	0.00	0.0	0.20	0.1	0.25	0.1	0.22
	30～34歳	0.1	0.34	0.0	0.17	0.1	0.52	0.1	0.36	0.0	0.00
	35歳以上	0.1	0.52	0.0	0.00	0.0	0.00	0.3	0.73	0.1	0.52
挟む	24歳以下	0.0	0.19	0.0	0.00	0.1	0.29	0.0	0.00	0.0	0.00
	25～29歳	0.1	0.29	0.0	0.00	0.1	0.42	0.1	0.25	0.0	0.00
	30～34歳	0.0	0.23	0.0	0.00	0.1	0.35	0.0	0.21	0.0	0.17
	35歳以上	0.1	0.23	0.0	0.00	0.0	0.00	0.1	0.22	0.1	0.35
切る	24歳以下	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00
	25～29歳	0.1	0.29	0.0	0.20	0.1	0.24	0.1	0.29	0.1	0.45
	30～34歳	0.1	0.22	0.0	0.17	0.0	0.16	0.1	0.25	0.1	0.28
	35歳以上	0.1	0.26	0.0	0.00	0.0	0.00	0.1	0.31	0.1	0.35
やけど	24歳以下	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00
	25～29歳	0.0	0.19	0.0	0.00	0.0	0.20	0.1	0.25	0.0	0.00
	30～34歳	0.0	0.11	0.0	0.00	0.1	0.22	0.0	0.00	0.0	0.00
	35歳以上	0.1	0.26	0.0	0.00	0.1	0.27	0.1	0.22	0.1	0.35
誤飲	24歳以下	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00
	25～29歳	0.0	0.08	0.0	0.20	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00
	30～34歳	0.0	0.11	0.0	0.00	0.0	0.16	0.0	0.15	0.0	0.00
	35歳以上	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00
窒息	24歳以下	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00
	25～29歳	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00
	30～34歳	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00
	35歳以上	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00
溺れ	24歳以下	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00
	25～29歳	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00
	30～34歳	0.0	0.08	0.0	0.00	0.0	0.16	0.0	0.00	0.0	0.00
	35歳以上	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00
引く	24歳以下	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00
	25～29歳	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00
	30～34歳	0.0	0.32	0.0	0.00	0.1	0.64	0.0	0.00	0.0	0.00
	35歳以上	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00
咬む	24歳以下	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00
	25～29歳	0.0	0.08	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.1	0.22
	30～34歳	0.0	0.08	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.17
	35歳以上	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00
交通	24歳以下	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00
	25～29歳	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00
	30～34歳	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00
	35歳以上	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00
噛む	24歳以下	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00
	25～29歳	0.0	0.08	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.15	0.0	0.00
	30～34歳	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00
	35歳以上	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00
その他	24歳以下	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00
	25～29歳	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00
	30～34歳	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00
	35歳以上	0.1	0.40	0.0	0.00	0.2	0.80	0.0	0.00	0.0	0.00

表12. 養育者の育児負担感Ⅰと事故の種類別事故回数

事故の種類	ランク	全体 (n=382)		2〜7か月児 (n=75)		8か月〜1歳児 (n=115)		2〜3歳児 (n=119)		4〜6歳児 (n=73)	
		平均	SD	平均	SD	平均	SD	平均	SD	平均	SD
転倒	1	0.3	0.59	0.0	0.00	0.2	0.67	0.5	0.53	0.0	.
	2	0.4	0.73	0.0	0.00	0.1	0.30	0.8	0.93	0.5	0.73
	3	0.2	0.54	0.0	0.00	0.2	0.57	0.3	0.53	0.4	0.64
	4	0.2	0.68	0.0	0.00	0.3	0.89	0.2	0.51	0.4	0.96
	5	0.2	0.54	0.0	0.00	0.3	0.49	0.7	0.82	1.0	1.00
転落	1	0.1	0.24			0.1	0.33	0.0	0.00	0.0	.
	2	0.1	0.39	0.0	0.00	0.0	0.22	0.2	0.65	0.0	0.00
	3	0.1	0.27	0.1	0.26	0.1	0.32	0.0	0.00	0.1	0.39
	4	0.0	0.20	0.0	0.00	0.1	0.29	0.1	0.23	0.0	0.00
	5	0.3	1.61	0.4	2.09	0.1	0.38	0.0	0.00	0.0	0.00
衝突	1	0.1	0.32	0.0	0.00	0.0	0.00	0.3	0.46	0.0	.
	2	0.1	0.45	0.0	0.00	0.0	0.00	0.3	0.74	0.0	0.21
	3	0.0	0.25	0.0	0.00	0.0	0.21	0.0	0.21	0.1	0.39
	4	0.1	0.34	0.0	0.19	0.2	0.57	0.1	0.23	0.0	0.00
	5	0.0	0.16	0.0	0.00	0.1	0.38	0.0	0.00	0.0	0.00
挟む	1	0.1	0.24	0.0	0.00	0.0	0.00	0.1	0.35	0.0	.
	2	0.1	0.35	0.0	0.00	0.2	0.60	0.0	0.20	0.0	0.21
	3	0.0	0.21	0.0	0.00	0.0	0.15	0.1	0.25	0.1	0.27
	4	0.0	0.24	0.0	0.00	0.1	0.42	0.0	0.17	0.0	0.00
	5	0.0	0.16	0.0	0.00	0.1	0.38	0.0	0.00	0.0	0.00
切る	1	0.1	0.24	0.0	0.00	0.0	0.00	0.1	0.35	0.0	.
	2	0.0	0.19	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.20	0.1	0.29
	3	0.1	0.26	0.0	0.00	0.1	0.29	0.1	0.29	0.0	0.20
	4	0.1	0.30	0.1	0.26	0.0	0.00	0.1	0.28	0.2	0.54
	5	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00
やけど	1	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	.
	2	0.0	0.16	0.0	0.00	0.0	0.22	0.0	0.20	0.0	0.00
	3	0.0	0.19	0.0	0.00	0.0	0.15	0.0	0.21	0.1	0.27
	4	0.0	0.18	0.0	0.00	0.1	0.29	0.0	0.17	0.0	0.00
	5	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00
誤飲	1	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	.
	2	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00
	3	0.0	0.09	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.15	0.0	0.00
	4	0.0	0.09	0.0	0.00	0.0	0.17	0.0	0.00	0.0	0.00
	5	0.0	0.16	0.0	0.21	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00
窒息	1	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	.
	2	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00
	3	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00
	4	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00
	5	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00
溺れ	1	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	.
	2	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00
	3	0.0	0.09	0.0	0.00	0.0	0.15	0.0	0.00	0.0	0.00
	4	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00
	5	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	.
引く	1	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	
	2	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00
	3	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00
	4	0.0	0.37	0.0	0.00	0.1	0.70	0.0	0.00	0.0	0.00
	5	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	.
咬む	1	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00
	2	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00
	3	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00
	4	0.0	0.09	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00
	5	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	.
交通	1	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00
	2	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00
	3	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00
	4	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00
	5	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00
噛む	1	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00
	2	0.0	0.11	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.20	0.0	0.00
	3	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00
	4	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00
	5	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00
その他	1	0.2	0.71	0.0	0.00	0.3	1.00	0.0	0.00	0.0	0.00
	2	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00
	3	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00
	4	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00
	5	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00

表13. 養育者の育児負担感Ⅱと事故の種類別事故回数

事故の種類	ランク	全体 (n=382)		8か月～1歳児 (n=115)		2～3歳児 (n=119)		4～6歳児 (n=73)	
		平均	SD	平均	SD	平均	SD	平均	SD
転倒	1	0.3	0.79	0.1	0.29	2.0	1.41	0.0	0.00
	2	0.4	0.79	0.2	0.49	0.4	0.77	0.7	1.01
	3	0.4	0.72	0.3	0.82	0.4	0.64	0.4	0.63
	4	0.3	0.53	0.2	0.40	0.3	0.58	0.2	0.55
	5	0.2	0.55	0.2	0.45	0.0	0.00	0.6	0.89
転落	1	0.2	0.40	0.3	0.45	0.0	0.00	0.0	0.00
	2	0.0	0.20	0.1	0.27	0.0	0.20	0.0	0.00
	3	0.1	0.38	0.1	0.29	0.1	0.45	0.1	0.38
	4	0.0	0.20	0.1	0.25	0.1	0.23	0.0	0.00
	5	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00
衝突	1	0.2	0.75	0.0	0.00	1.5	2.12	0.0	0.00
	2	0.0	0.20	0.0	0.20	0.1	0.28	0.0	0.00
	3	0.1	0.34	0.0	0.19	0.1	0.41	0.1	0.42
	4	0.1	0.39	0.3	0.77	0.0	0.16	0.0	0.00
	5	0.1	0.24	0.2	0.45	0.0	0.00	0.0	0.00
挟む	1	0.1	0.25	0.0	0.00	0.5	0.71	0.0	0.00
	2	0.1	0.29	0.1	0.39	0.0	0.20	0.0	0.22
	3	0.1	0.28	0.1	0.35	0.0	0.20	0.1	0.27
	4	0.1	0.29	0.1	0.50	0.1	0.23	0.0	0.00
	5	0.1	0.24	0.2	0.45	0.0	0.00	0.0	0.00
切る	1	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00
	2	0.1	0.26	0.0	0.20	0.1	0.28	0.1	0.30
	3	0.1	0.27	0.1	0.23	0.1	0.31	0.1	0.27
	4	0.1	0.31	0.0	0.00	0.1	0.23	0.2	0.51
	5	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00
やけど	1	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00
	2	0.0	0.20	0.1	0.27	0.0	0.20	0.0	0.00
	3	0.0	0.19	0.0	0.19	0.0	0.20	0.0	0.19
	4	0.0	0.20	0.1	0.25	0.0	0.16	0.1	0.24
	5	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00
誤飲	1	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00
	2	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00
	3	0.0	0.12	0.0	0.14	0.0	0.14	0.0	0.00
	4	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00
	5	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00
窒息	1	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00
	2	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00
	3	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00
	4	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00
	5	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00
溺れ	1	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00
	2	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00
	3	0.0	0.09	0.0	0.14	0.0	0.00	0.0	0.00
	4	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00
	5	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00
引く	1	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00
	2	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00
	3	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00
	4	0.1	0.47	0.3	1.00	0.0	0.00	0.0	0.00
	5	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00
咬む	1	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00
	2	0.0	0.12	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.22
	3	0.0	0.09	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.19
	4	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00
	5	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00
交通	1	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00
	2	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00
	3	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00
	4	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00
	5	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00
噛む	1	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00
	2	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00
	3	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00
	4	0.0	0.12	0.0	0.00	0.0	0.16	0.0	0.00
	5	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00
その他	1	0.2	0.75	0.3	0.87	0.0	0.00	0.0	0.00
	2	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00
	3	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00
	4	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00
	5	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00

乳幼児の事故予防プログラムの評価
－事故実態の介入群非介入群の比較－

【はじめに】

事故予防プログラムで介入が行われた介入群は、非介入群よりも、事故が少ない事が予測された。そのため、介入後の調査の介入群と非介入群、さらにベースラインスタディと介入後の事故実態の比較を行った。

この章では仮説４：介入群は非介入群より事故が少ない、仮説５：介入群は介入後に事故が減少する、について論じ、仮説４の一部、介入群と非介入群の事故実態の差に関連する要因については、「乳幼児の事故予防プログラムの評価－対象の背景と介入前後の事故変化との関連から－」で論じる。

【研究方法】

対象：介入前調査と同様、静岡県Ａ町周辺３町村に在住する乳幼児のうち、平成14年10月から平成15年2月までに乳幼児健診の対象となった子どもとそのきょうだいとした。上記期間中の乳幼児健診において、本研究の事故予防プログラムを実施した健診の受診者およびそのきょうだいを介入群とし、従来保健センターで行なわれていた指導のみの健診を受けた者およびそのきょうだいを非介入群とした。

調査方法：前回調査において調査協力に同意が得られた養育者に対して、調査依頼文および調査用紙を郵送にて送付し、回収を行った。

調査期間：平成15年9月から11月

調査項目：①事故：「転倒」「転落」など、14項目の種類別に事故の回数と手当の内容を、16日間記載してもらった。うち最初の２日間は事故に対する意識が高まっていうると考え、分析から除外した。②デモグラフィックデータとして前回調査から変化が生じうる家族背景、母親の就業の有無、前回調査以降の出産の有無とした。また、事故予防介入プログラムの印象についても質問項目とした。

分析では、介入前後での事故実態の変化を示す指標として、(1) 14日間に事故があったかないか、(2) 14日間の事故の合計数(3)事故があった日数を指標とした。統計ソフトSPSS11ｊを使用し、有意水準を0.05として、χ^2検定、平均値の差の検定、対応のあるｔ検定を行った。

【結果】

同意が得られた養育者の数は399名であり、転居世帯を除いた回収数は344名、回収率は86.2%であった。うち介入群171名（きょうだい68名含む）、非介入群173名（きょうだい59名含む）であった。

１．対象特性

年齢は、介入後の調査時点での平均年齢は、介入群3.49歳、非介入群3.56歳であり、７歳児が全体で８名（介入群３名、非介入群５名）いた。年齢、性別、同居の人数とも、介入群非介入群に有意な差はなかった。

２．事故実態

１）事故全体

(1)事故の有無

事故があったものが介入群は150名（87.7%）、非介入群は152名（87.9%）で、事故の無かった者は介入群21名(12.3%)、非介入群21名(12.1%)であった（表１）。

表1．事故の有無

	介入群	%	非介入群	%	合計	%
事故なし	21	12.3%	21	12.1%	42	12.2%
事故あり	150	87.7%	152	87.9%	302	87.8%
合計	171		173		344	

表2-1. 事故合計数

		平均値	SD
事故合計	介入群	6.60	12.06
	非介入群	6.34	8.00
手当なし	介入群	5.70	11.96
	非介入群	5.55	7.92
手当あり	介入群	0.90	1.11
	非介入群	0.79	1.06

表2-2. 手当ありの事故の内訳合計数

家庭で手当	介入群	0.80	1.05
	非介入群	0.76	1.05
病院で手当	介入群	0.09	0.38
	非介入群	0.02	0.13
入院して手当	介入群	0.01	0.11
	非介入群	0.01	0.08

表3. 14日間の事故のあった日数

		平均値	SD
事故のあった日数	介入群	4.09	3.62
	非介入群	4.35	3.71

(2)事故の合計数

介入群は6.60±12.06件、非介入群は6.34±8.00件で、事故数は非介入群の方がわずかに少なかった。さらに、手当なし、手当あり（家庭で手当、病院にかかった)、いずれも非介入群の方が少なかったが、有意差は認められなかった。入院して手当をした事故数はほぼ同じであった（表2-1　2-2)。

(3)事故があった日数

介入群は4.09±3.62日、非介入群は4.35±3.71日で、日数は介入群の方が少なかったが、有意差は認められなかった（表3)。

2）事故の種類別比較

事故は、「転倒」「転落」「衝突」「はさむ」「切る・さされる」「やけど」「誤飲」「窒息」「おぼれる」「ひっぱる」「咬まれる」「噛まれる」「交通事故」「その他」で分けた。このうち「交通事故」は、介入分、非介入群とも0件であった。

(1)事故の有無

表4の通りであり、介入群、非介入群ともほぼ同じ割合で事故経験があった。

表4.事故の種類別でみた事故の有無

		介入群	%	非介入群	%	合計	%
転倒	なし	48	28.1%	52	30.1%	100	29.1%
	あり	123	71.9%	121	69.9%	244	70.9%
転落	なし	106	62.0%	108	62.4%	214	62.2%
	あり	65	38.0%	65	37.6%	130	37.8%
衝突	なし	93	54.4%	89	51.4%	182	52.9%
	あり	78	45.6%	84	48.6%	162	47.1%
挟む	なし	133	77.8%	145	83.8%	278	80.8%
	あり	38	22.2%	28	16.2%	66	19.2%
切る・さされる	なし	142	83.0%	149	86.1%	291	84.6%
	あり	29	17.0%	24	13.9%	53	15.4%
やけど	なし	167	97.7%	169	97.7%	336	97.7%
	あり	4	2.3%	4	2.3%	8	2.3%
誤飲	なし	171	100.0%	169	97.7%	340	98.8%
	あり	0	0.0%	4	2.3%	4	1.2%
窒息	なし	170	99.4%	167	96.5%	337	98.0%
	あり	1	0.6%	6	3.5%	7	2.0%
溺れる	なし	168	98.2%	170	98.3%	338	98.3%
	あり	3	1.8%	3	1.7%	6	1.7%
引っぱる	なし	151	88.3%	150	86.7%	301	87.5%
	あり	20	11.7%	23	13.3%	43	12.5%
咬まれる	なし	163	95.3%	169	97.7%	332	96.5%
	あり	8	4.7%	4	2.3%	12	3.5%
噛まれる	なし	158	92.4%	158	91.3%	316	91.9%
	あり	13	7.6%	15	8.7%	28	8.1%
その他の事故	なし	162	94.7%	170	98.3%	332	96.5%
	あり	9	5.3%	3	1.7%	12	3.5%

表5. 事故の種類別事故の回数

		平均値	SD
転倒	介入群	2.91	5.78
	非介入群	3.08	5.03
転落	介入群	0.64	1.05
	非介入群	0.69	1.36
衝突	介入群	1.88	5.98
	非介入群	1.43	2.57
挟む	介入群	0.32	0.73
	非介入群	0.22	0.57
切る・さされる	介入群	0.20	0.48
	非介入群	0.16	0.43
やけど	介入群	0.02	0.15
	非介入群	0.02	0.15
誤飲	介入群	0.00	0.00
	非介入群	0.05	0.35
窒息	介入群	0.01	0.08
	非介入群	0.04	0.23
溺れる	介入群	0.02	0.13
	非介入群	0.02	0.13
引っぱる	介入群	0.37	2.36
	非介入群	0.43	1.66
咬まれる	介入群	0.06	0.30
	非介入群	0.02	0.15
噛まれる	介入群	0.12	0.55
	非介入群	0.16	0.57
その他の事故	介入群	0.06	0.29
	非介入群	0.03	0.23

(2) 事故の合計数

表５の通りであり、介入群、非介入群の平均事故回数において、有意差は認められなかった。

3）介入後の調査時点での年齢階層別の比較

(1) 事故の有無

事故があったものは8ヶ月～１歳11ヶ月で介入群より非介入群の方が多かったが、２～３歳、４歳以上では、介入群の方がわずかに少なかった(表６）　。

(2) 事故の合計数

全年齢階層で事故合計数の平均値は介入群の方が、非介入群よりも多かったが、有意差は認められなかった（表７)。

(3) 事故があった日数

８ヶ月～１歳 11 ヶ月、２～３歳で事故にあった日数は介入群の方が、非介入群よりも少なく、４歳以上では介入群の方が多かったが、有意差は認められなかった（表８)。

４）前後の変化

14 日間の事故の合計数は、介入群でベースライン 5.16±8.30、介入後 6.60±12.06、非介入群ベースライン 5.55±6.80、介入後 6.34±8.00 で、いずれも増加傾向にあるが対応のあるＴ検定において有意差はなかった。

表6. 年齢階層別の事故の有無

	介入群				非介入群				合計			
	事故あり		事故なし		事故あり		事故なし		事故あり		事故なし	
8ヶ月～1歳11ヶ月	30	93.8%	2	6.3%	31	83.8%	6	16.2%	61	88.4%	8	11.6%
2歳～3歳	81	86.2%	13	13.8%	84	89.4%	10	10.6%	165	87.8%	23	12.2%
4歳以上	39	86.7%	6	13.3%	37	88.1%	5	11.9%	76	87.4%	11	12.6%

表7. 年齢階層別の事故合計数

	介入群			非介入群			合計		
年齢階層	人数	平均値	SD	人数	平均値	SD	人数	平均値	SD
8ヶ月～1歳11ヶ月	32	9.03	19.15	37	8.11	9.40	69	8.54	14.64
2歳～3歳	94	6.97	11.28	94	6.68	8.07	188	6.82	9.78
4歳以上	45	4.11	4.80	42	4.02	5.86	87	4.07	5.31
合計	171	6.60	12.06	173	6.34	8.00	344	6.47	10.20

表8. 年齢階層別の事故のあった日数

	介入群			非介入群			合計		
年齢階層	人数	平均値	SD	人数	平均値	SD	人数	平均値	SD
8ヶ月～1歳11ヶ月	32	4.66	3.94	37	5.62	4.53	69	5.17	4.26
2歳～3歳	94	4.32	3.79	94	4.55	3.62	188	4.44	3.70
4歳以上	45	3.20	2.87	42	2.76	2.45	87	2.99	2.67
合計	171	4.09	3.62	173	4.35	3.71	344	4.22	3.67

【考察】

乳幼児健診での介入後の事故実態は、14 日間の事故の有無、合計数、14 日間で事故のあった日数を比較しても、介入群と非介入群での差は認められず、数値はほぼ同じ値を示していた。これは事故の種類別、年齢階層別に検討しても同様であった。

事故予防に関する教育という介入の効果として、事故実態が減ることが予測されたが、仮説は棄却された。介入群と非介入群の差がなかったのは、介入が１年前であり、介入効果以外の要素が事故実態の結果に現れていた可能性が考えられた。また、事故実態の調査方法は、毎日記入することで実態を反映する事を期待したが、記入する養育者が事故と捉えられるかという主観が影響していたことが考えられた。一方で、介入効果が明らかにならない原因と考えられたのは、ベースラインスタディで事故実態を記入し、安全対策の質問に回答することが、事故予防の意識化となって、介入群、非介入群ともに影響を与えた可能性である。

この徴候を示しているのが、ベースラインスタディよりも介入後の事故実態の方が、両群ともに事故回数は増えていたことである。さらに介入群は事故予防プログラムにより、一層事故への意識が高まったことも予測され、このため介入群の方が事故の有無や平均回数が多かったと考える。しかし 14 日間で事故のあったに日数を比較すると４歳以上を除き、介入群の方が非介入群より少なかった。すなわち介入群は事故に敏感になり、事故を記入し、また事故の手当もしていることが考えられ、非介入群よりも介入群が事故に注意を払っていたために事故回数が多かったことが推察された。

清水ら[1]の介入研究では６ヶ月及び１歳６ヶ月健診で個別に保健指導を実施した群と実施しない分を比較したところ、１年後の事故発生率は指導実施群の方が６ヶ月健診では転倒・転落、１歳６ヶ月健診ではやけどで有意に低かった。しかし、この時の事故実態の調査方法については明らかにされていない。今回の結果からは事故実態測定の課題が引き続き残っており、今後、客観性を高めた事故実態の調査方法の考案し、より実態にそった事故実態の把握を行うことで、乳幼児健診における事故予防活動といった介入の効果を正確に計れる必要がある。また、対照群の設定について検討をし、より介入効果が明らかになるような介入デザインをする必要がある。

引用文献

1) 清水美登里、高野陽. 小児の事故防止のための保健指導の試みとその効果. 児童研究 1996. 75; 16-24.

（文責：澤田和美）

乳幼児の事故予防プログラムの評価
－対象の背景と介入前後の事故変化との関連から－

【はじめに】

我が国の乳幼児の不慮の事故は他の先進諸国に比べ多発しており、予防活動の必要性が示唆されている。各地域、自治体においてさまざまな事故予防策が講じられている現状である。本稿では、われわれの作成した事故予防プログラムの効果について、「仮説６：介入群は、非介入群より育児困難感が低減し、事故が少なく、安全対策を実施している」の面から評価検討する。

【研究方法】

対象：介入前調査と同様、静岡県A町周辺3町に在住する乳幼児のうち、平成14年11月から平成15年2月までに乳幼児健診の対象となった子どもとそのきょうだいとした。上記期間中の乳幼児健診において、本研究の事故予防介入プログラムを実施した健診の受診者およびそのきょうだいを介入群とし、従来保健センターで行なわれていた指導のみの健診を受けた者およびそのきょうだいを非介入群とした。

調査方法：ベースラインスタディ（介入前）において、調査協力に同意が得られた養育者に対して、介入後調査の調査依頼文および調査用紙を郵送にて送付し、回収を行った。調査用紙の内容は、対象者の調査時点の年齢階層に合わせた。

調査期間：平成15年9月から11月

調査項目：① 調査期間中に経験した事故実態、② 母親の育児困難感、③ 安全対策実施状況の３点とした。なお、デモグラフィックデータとして前回調査から変化が生じうる家族背景、母親の就業の有無、前回調査以降の出産の有無とした。また、事故予防介入プログラムの印象についても質問項目とした。

① 事故実態に関する調査

安全対策についての質問に回答後、「転倒」「転落」など、14項目の種類別に事故の回数と手当の内容を16日間、記載してもらった。このうち、最初の２日間は事故に対する意識が高まっていると考え、分析から除外した。

② 母親の育児困難感

「子ども総研式・育児支援質問紙（ミレニアム版）」[1]より、育児の印象を問う領域1の育児困難感Ｉ（育児への心配や戸惑い、不適格感から成る）および育児困難感Ⅱ（子どもに対するネガティブな感情や攻撃・衝動性から成る）の尺度を使用した。なお、本質問用紙は発達段階を考慮し、0歳児、1歳児群、2歳児群、3歳～6歳児（3歳児以上）に分けられているため、それぞれに該当する質問用紙を送付した。

③ 安全対策の実施状況

ベースラインスタディ同様、調査時点での年齢に合わせ該当する年齢階層の調査用紙を使用した。

分析では、介入前後での事故実態の変化を示す指標として、①事故総計、②事故増加数、③事故総数のうち手当てを必要とした事故の確率をそれぞれ算出した。統計ソフトSPSS12ｊを使用し、ｔ検定および一元配置分散分析を行った。

なお、本稿はベースラインスタディから1年後調査の分析結果であり、年齢階層の4区分は、8ヵ月-1歳児（ベースラインスタディ時：2-7ヵ月児）、2歳児（同：8ヵ月-1歳児）、3歳児（同：2-3歳児）、4歳以上（同：4-6歳児）と表記する。

倫理的配慮：データは個人が特定できないように処理をし、保管は鍵つきの保管庫で行なった。

表1　対象者数

年齢階層	人数（%）	介入／非介入
8ヵ月-1歳児	67名（19.9）	32名／35名
2歳児	99名（29.4）	54／45
3歳児	86名（25.5）	40／46
4歳以上	85名（25.2）	45／40

【結果】

1．対象者の背景

同意が得られた養育者の数は399名であり、転居世帯を除いた回収数は344名、回収率は86.2%であった。回収された調査用紙に含まれる分析対象の乳幼児は337名で、介入群171名、非介入群166名であった。年齢階層による内訳では8ヵ月-1歳児67名（介入群32名、非介入群35名）、2歳児99名（介入群54名、非介入群45名）、3歳児86名（介入群40名、非介入群46名）、4歳以上85名（介入群45名、非介入群40名）であった。

2．子どもの属性と事故変化との関連

1）　性別　（表2）

8ヵ月-1歳児の男児では、介入群の方が事故総計は多く、介入前よりも増加しているが有意差は見られなかった。2歳児の男児は、介入群の方が事故総計は少なく、特に介入後には有意に事故の減少が見られた（p<.05）。

4歳児以上では、女児の事故総計は非介入群の方が多い傾向にあった。

8ヵ月-1歳児の女児において、介入群の方が手当てを必要とする事故の確率が高い傾向にあった。2歳児の介入群では、女児の方が手当てを必要とする事故を起こしていた。

2）　きょうだい数　（表3）

一人っ子の場合、非介入群の方が介入群より事故総計の多い傾向が見られ、下にきょうだいがいる子どもでは介入群の方に事故が多い傾向にあったが有意差は認められなかった。

どの年齢階級のきょうだい数においても、介入群の方が手当てを必要とした事故の発生確率が高い傾向は見られたが、有意差は認められなかった。

3）　出生順位　（表4）

8ヵ月-1歳児、2歳児では、第1子の場合に非介入群の方が事故総計は多い傾向にあった。また、第2子、第3子の場合には、介入群において事故総計が多い傾向が見られた。いずれも有意差はなかった。

手当てを必要とした事故については、出生順、介入の有無による差は認められなかった。

表2　性別による事故変化との比較

			8ヵ月-1歳児			2歳児			3歳児			4歳児以上		
			N	M	SD	N	M	SD	N	M	SD	N	M	SD
事故総計	男児	介入群	14	12.36	16.56	24	7.58	9.25	28	4.89	6.73	20	5.10	6.28
		非介入群	21	6.38	5.95	20	10.65	12.88	20	3.45	2.44	20	2.95	2.63
	女児	介入群	18	9.50	24.27	29	7.76	13.88	12	4.50	6.14	25	3.32	3.09
		非介入群	14	10.21	13.14	25	8.12	8.01	26	4.77	4.71	20	5.20	8.00
事故の増加数（02年→03年）	男児	介入群	14	11.21	16.31	24	−3.71	7.61]*	28	−0.46	5.78	20	2.20	6.76
		非介入群	21	4.43	6.19	20	2.60	12.90	20	−4.00	7.51	20	−0.85	5.73
	女児	介入群	18	7.89	23.88	29	−0.24	15.22	12	0.75	5.88	25	0.28	2.64
		非介入群	14	8.57	13.47	25	−0.40	8.64	26	−1.54	5.49	20	0.55	5.94
事故総数に対する手当有りの確率	男児	介入群	13	0.18	0.23	19	0.16	0.20	24	0.34	0.34	19	0.41	0.34
		非介入群	17	0.17	0.33	17	0.11	0.19	18	0.38	0.33	16	0.38	0.42
	女児	介入群	17	0.17	0.34	28	0.28	0.35	9	0.33	0.41	20	0.32	0.35
		非介入群	12	0.09	0.11	23	0.17	0.31	23	0.26	0.31	19	0.15	0.27

表3　きょうだい数による事故変化との比較

			8ヵ月-1歳児			2歳児			3歳児			4歳児以上		
			N	M	SD	N	M	SD	N	M	SD	N	M	SD
事故総計	1人	介入群	8	3.75	3.69	21	5.38	8.46	3	8.33	11.93			
		非介入群	12	7.42	13.30	23	6.91	7.28	7	4.14	3.29			
	2人	介入群	18	12.39	25.07	26	9.19	14.41	28	4.68	6.75	26	4.35	5.57
		非介入群	15	9.73	7.21	16	10.94	14.10	29	4.24	4.56	19	4.32	5.84
	3人	介入群	6	15.17	21.46	6	8.67	10.88	8	4.25	3.20	19	3.79	3.61
		非介入群	8	5.25	6.48	6	13.67	8.07	10	4.10	2.13	21	3.86	6.26
	4人	介入群				1	5.00		1	1.00				
		非介入群												
事故の増加数（02年→03年）	1人	介入群	8	1.88	5.00	21	-3.71	10.36	3	3.33	6.66			
		非介入群	12	7.08	12.96	23	0.78	7.52	7	-6.71	8.88			
	2人	介入群	18	10.83	24.33	26	0.54	14.07	28	-0.64	5.31	35	1.00	5.42
		非介入群	15	5.93	8.80	16	0.44	15.74	29	-1.52	6.04	26	0.08	7.06
	3人	介入群	6	14.83	21.57	6	-5.00	10.86	8	0.38	7.54	10	1.60	2.91
		非介入群	8	4.88	6.69	6	2.83	3.71	10	-2.90	5.24	14	-0.57	2.21
	4人	介入群				1	-5.00		1	1.00				
		非介入群												
事故総数に対する手当有りの確率	1人	介入群	3	0.28	0.39	18	0.25	0.33	2	0.60	0.58			
		非介入群	9	0.12	0.15	20	0.24	0.34	7	0.42	0.37			
	2人	介入群	17	0.16	0.28	23	0.17	0.27	23	0.33	0.35	23	0.3	0.29
		非介入群	13	0.06	0.08	15	0.04	0.13	25	0.27	0.33	16	0.32	0.41
	3人	介入群	6	0.11	0.20	6	0.33	0.38	7	0.34	0.35	16	0.45	0.40
		非介入群	7	0.31	0.48	5	0.09	0.08	9	0.27	0.26	19	0.21	0.32
	4人	介入群				1	0.40		1	0.00				
		非介入群												

表4　出生順による事故変化との比較

			8ヵ月-1歳児			2歳児			3歳児			4歳児以上		
			N	M	SD	N	M	SD	N	M	SD	N	M	SD
事故総計	第1子	介入群	9	3.67	3.46	23	5.17	8.12	21	5.90	8.48	35	3.91	5.16
		非介入群	12	7.42	13.30	25	8.60	11.98	21	4.57	3.20	26	4.00	5.18
	第2子	介入群	17	12.94	25.73	24	9.71	14.89	14	3.50	3.23	10	4.80	3.39
		非介入群	15	9.73	7.21	14	8.50	8.12	19	3.95	4.99	14	4.21	7.49
	第3子	介入群	6	15.17	21.46	6	8.67	10.88	4	4.25	0.96			
		非介入群	8	5.25	6.48	6	13.67	8.07	6	3.67	2.34			
	第4子	介入群				1	5.00		1	1.00				
		非介入群												
事故の増加数（02年→03年）	第1子	介入群	9	1.33	4.95	23	-3.39	9.94	21	-0.05	5.82	35	1.00	5.42
		非介入群	12	7.08	12.96	25	2.64	11.71	21	-2.67	7.02	26	0.08	7.06
	第2子	介入群	17	11.64	24.83	24	0.58	14.66	14	-8.3E-17	5.67	10	1.60	2.91
		非介入群	15	5.93	8.80	14	-2.93	10.33	19	-2.21	6.65	14	-0.57	2.21
	第3子	介入群	6	14.83	21.57	6	-5.00	10.86	4	-1.00	8.04			
		非介入群	8	4.88	6.69	6	2.83	3.71	6	-3.67	4.59			
	第4子	介入群				1	-5.00		1	1.00				
		非介入群												
事故総数に対する手当有りの確率	第1子	介入群	9	0.24	0.24	23	0.26	0.26	21	0.27	0.27	35	0.21	0.20
		非介入群	11	0.27	0.30	25	0.33	0.27	21	0.31	0.23	26	0.20	0.16
	第2子	介入群	17	0.38	0.31	24	0.40	0.29	14	0.21	0.15	10	0.29	0.20
		非介入群	14	0.49	0.30	14	0.41	0.27	19	0.23	0.24	14	0.18	0.21
	第3子	介入群	6	0.49	0.35	6	0.36	0.34	4	0.27	0.07			
		非介入群	7	0.27	0.25	6	0.56	0.35	6	0.21	0.13			
	第4子	介入群				1	0.57		1	0.07				
		非介入群												

4) 生活形態（所属） （表5）

8ヵ月-1歳児、2歳児では介入に関係なく、保育園に通園している子どもより、家庭内の方が事故総計は多かったが、統計的な有意差は認められなかった。

表5 通園などによる事故変化との比較

			8カ月-1歳児			2歳児			3歳児			4歳児以上		
			N	M	SD	N	M	SD	N	M	SD	N	M	SD
事故総計	家庭内	介入群	28	11.11	22.21	40	8.43	13.56						
		非介入群	23	9.87	10.66	36	9.61	11.19	6	4.83	3.87			
	保育園	介入群	4	8.25	9.91	9	4.22	1.99	11	3.64	3.83	13	4.62	3.97
		非介入群	9	3.11	3.55	9	7.78	6.67	8	2.25	2.92	10	3.50	7.96
	幼稚園	介入群							28	5.36	7.34	20	5.30	6.04
		非介入群							28	4.68	4.30	22	4.77	6.08
	小学校	介入群										9	1.56	1.51
		非介入群										7	3.14	1.95
事故の増加数 (02年→03年)	家庭内	介入群	28	9.57	21.93	40	−2.05	13.89						
		非介入群	23	7.26	11.35	36	1.58	11.81	6	1.83	3.31			
	保育園	介入群	4	7.75	8.92	9	−1.78	6.26	11	0.36	4.50	13	0.62	4.43
		非介入群	9	2.67	3.74	9	−1.67	3.50	8	−1.75	2.92	10	1.00	8.30
	幼稚園	介入群							28	−0.21	6.34	20	2.45	6.12
		非介入群							28	−2.71	6.61	22	−0.68	5.61
	小学校	介入群										9	−0.78	2.59
		非介入群										7	−0.29	1.50
事故総数に対する手当有りの確率	家庭内	介入群	26	0.17	0.3	35	0.25	0.32						
		非介入群	19	0.1	0.23	31	0.13	0.26	6	0.14	0.17			
	保育園	介入群	4	0.21	0.25	8	0.21	0.26	9	0.4	0.4	11	0.24	0.25
		非介入群	8	0.25	0.34	9	0.2	0.3	6	0.48	0.47	7	0.19	0.38
	幼稚園	介入群							23	0.28	0.32	19	0.4	0.36
		非介入群							25	0.34	0.3	20	0.34	0.4
	小学校	介入群										7	0.46	0.42
		非介入群										7	0.11	0.21

5) 住居形態 (表6)

住居形態の違いでは、事故総計、増加数、手当ての必要な事故の発生確率に差は認められなかった。

表6 住居形態による事故変化との比較

			8カ月-1歳児			2-3歳児			4-6歳児			6歳児以上		
			N	M	SD	N	M	SD	N	M	SD	N	M	SD
事故総計	平屋一戸建て	介入群				7	6.71	4.00	4	12.25	7.68	4	2.50	2.38
		非介入群	3	7.00	7.94	1	18.00		3	2.67	0.58	3	10.67	13.32
	2階以上一戸建て	介入群	16	6.31	8.81	30	8.63	14.25	27	3.00	2.67	32	4.56	5.54
		非介入群	21	6.33	6.18	19	11.89	12.94	28	4.46	4.42	23	2.74	2.45
	集合住宅1階	介入群	5	23.60	46.13	7	4.00	2.89	2	1.00	1.41	3	2.67	0.58
		非介入群	5	13.00	7.04	11	8.91	8.92	6	6.83	2.99	5	8.60	11.87
	集合住宅2階	介入群	7	14.71	20.59	7	6.57	13.04	6	4.17	4.07	2	3.50	0.71
		非介入群	3	17.67	26.39	8	6.75	8.01	3	2.33	2.31	4	4.25	3.40
	集合住宅3階	介入群	2	4.00	4.24	3	9.67	9.81				3	4.67	1.53
		非介入群	2	0.50	0.71	4	4.00	2.71	4	1.75	1.71	4	1.75	1.71
	集合住宅4階	介入群	1	3.00					1	34.00		1	0.00	
		非介入群	1	4.00		2	2.00	1.41	1	4.00		1	1.00	
	集合住宅5階	介入群	1	11.00										
		非介入群							1	1.00				
事故の増加数(02年→03年)	平屋一戸建て	介入群				7	4.14	3.39	4	7.25	3.30	4	0.25	2.06
		非介入群	3	7.00	7.94	1	8.00		3	−1.67	5.58	3	9.00	13.23
	2階以上一戸建て	介入群	16	5.44	8.13	30	−1.57	13.62	27	−1.33	5.71	32	1.59	5.22
		非介入群	21	4.24	6.49	19	3.84	13.33	28	−3.71	7.48	23	−0.39	2.79
	集合住宅1階	介入群	5	19.20	46.53	7	−6.14	17.58	2	0.50	2.12	3	−2.33	8.39
		非介入群	5	10.00	9.19	11	1.45	6.11	6	−1.67	5.13	5	−3.80	10.76
	集合住宅2階	介入群	7	14.14	20.60	7	−3.57	2.76	6	1.33	4.55	2	1.50	0.71
		非介入群	3	16.67	26.31	8	0.13	3.40	3	−1.67	5.51	4	−1.00	1.41
	集合住宅3階	介入群	2	2.50	3.54	3	−4.33	10.12	4	0.00	1.63	3	1.67	3.21
		非介入群	2	−0.50	0.71	4	−6.25	6.40				4	0.00	0.82
	集合住宅4階	介入群	1	3.00					1	−6.00		1	−2.00	
		非介入群	1	4.00		2	−15.50	17.68	1	4.00		1	−1.00	
	集合住宅5階	介入群	1	9.00										
		非介入群							1	0.00				
事故総数に対する手当有りの確率	平屋一戸建て	介入群				7	0.25	0.35	4	0.38	0.42	4	0.50	0.41
		非介入群	3	0.10	0.13	1	0		3	0.33	0.58	3	0.50	0.50
	2階以上一戸建て	介入群	16	0.14	0.27	26	0.20	0.27	22	0.34	0.37	27	0.35	0.36
		非介入群	17	0.19	0.33	18	0.15	0.24	24	0.39	0.31	19	0.28	0.38
	集合住宅1階	介入群	4	0.04	0.07	7	0.25	0.38	1	0.50		3	0.28	0.25
		非介入群	5	0.08	0.08	10	0.24	0.41	6	0.27	0.24	5	0.06	0.10
	集合住宅2階	介入群	6	0.14	0.19	5	0.27	0.43	5	0.35	0.31	2	0.25	0.35
		非介入群	2	0.01	0.15	6	0.08	0.08	3	0.20	0.35	4	0.36	0.45
	集合住宅3階	介入群	2	0.71	0.40	3	0.28	0.20				3	0.43	0.37
		非介入群	1	0		3	0.11	0.19	3	0	0	3	0.17	0.29
	集合住宅4階	介入群	1	0.67					1	0				
		非介入群	1	0		2	0	0	1	0.25				
	集合住宅5階	介入群	1	0										
		非介入群							1	0		1	0	

3. 養育者の属性と事故変化との関連

1) 同居する大人の人数 (表7)

3歳児の介入群では大人が2人の場合より、3人の方が事故の増加数において有意に減少していた(p<.05)。

手当てを必要とした事故の発生確率にはほとんど差は見られなかった。

2) 母親の年齢 (表8)

8ヵ月-1歳児の介入群において、20歳以下の母親に最も事故が多く、他の年齢と有意差がみられた(p<.05)。また、4歳児以上の非介入群では、25歳以下の母親に事故が多く、他の年齢との間に有意差が認められた(p<.05)。

8ヵ月-1歳児、2歳児、4歳児以上では、母親の年齢に関係なく介入群の方に手当てを必要とした事故が多い傾向が見られたが、統計学的な差はなかった。

3) 母親の就労の有無 (表9)

8ヵ月-1歳児では、有職の母親において、介入群の方が有意に事故総計は多く、2歳児では、非介入群の方が事故総計は有意に多かった。また、2歳児では介入群において母親の就業の有無を比較したところ、無職の母親の方が事故総計は多かった(P<.05)。

4歳児以上の介入群では、手当てを必 要とする事故の発生確率において無職の母親の方が、有職の母親よりも有意に高かった(p<.05)。

表7 大人の人数による事故変化との比較

			8ヵ月-1歳児			2歳児			3歳児			4歳児以上		
			N	M	SD	N	M	SD	N	M	SD	N	M	SD
事故総計	2人	介入群	21	12.38	24.90	29	5.52	7.40	19	6.58	8.58	20	2.50	1.93
		非介入群	17	9.18	12.02	30	7.97	7.57 *	26	4.31	4.30	24	5.25	7.33
	3人	介入群	1	4.00		8	6.63	7.21	3	1.00	1.73	2	6.50	9.19
		非介入群	2	2.00	1.41	2	31.00	33.94	3	4.33	5.13	1	0.00	
	4人	介入群	5	3.80	1.10	8	19.38	24.09	9	2.11	1.69	13	5.77	7.28
		非介入群	11	8.00	6.43	9	7.44	8.13	10	4.20	4.13	8	2.25	2.76
	5人	介入群	2	8.00	9.90	4	3.00	2.94	5	3.80	3.42	5	5.00	3.39
		非介入群	2	13.00	7.07	2	17.50	13.44	4	3.75	1.71	3	3.33	2.08
	6人	介入群	3	15.00	19.08	3	5.33	4.51	2	2.50	0.71	3	2.67	0.58
		非介入群	3	1.00	1.73	1	12.00		3	3.67	2.08	4	2.25	1.50
事故の増加数(02年→03年)	2人	介入群	21	10.62	24.76	29	−3.38	9.46	19	1.89	4.29	20	0.25	3.54
		非介入群	17	7.47	12.25	30	−1.13	7.83	26	−2.73	6.02	24	−0.21	7.16
	3人	介入群	1	4.00		8	−3.00	6.46	3	−10.33	5.51	2	−1.00	8.49
		非介入群	2	2.00	1.41	2	22.00	35.36	3	−5.33	14.29	1	−1.00	
	4人	介入群	5	3.40	1.14	8	3.63	25.82	9	−1.56	4.13	13	2.15	6.90
		非介入群	11	4.91	7.46	9	0.56	9.00	10	−1.20	5.85	8	0.00	2.62
	5人	介入群	2	7.00	9.90	4	−3.25	4.50	5	−1.60	6.84	5	1.60	2.61
		非介入群	2	12.50	7.78	2	9.50	12.02	4	−3.50	6.14	3	−0.33	5.86
	6人	介入群	3	13.67	16.77	3	−0.33	0.58	2	−1.50	2.12	3	0.67	0.58
		非介入群	3	1.00	1.73	1	9.00		3	−2.33	7.51	4	0.25	2.50
事故総数に対する手当有りの確率	2人	介入群	19	0.26	0.34	24	0.24	0.34	17	0.27	0.30	17	0.36	0.36
		非介入群	14	0.15	0.26	26	0.09	0.20	23	0.22	0.25	23	0.22	0.32
	3人	介入群	1	0.00		8	0.24	0.23	1	0		1	0	
		非介入群	2	0.17	0.24	2	0.08	0.09	2	0.1	0.14			
	4人	介入群	5	0.00		8	0.28	0.38	7	0.64	0.38	11	0.37	0.37
		非介入群	10	0.11	0.31	8	0.29	0.30	9	0.52	0.41	5	0.58	0.43
	5人	介入群	2	0.07	0.09	3	0.06	0.10	4	0.18	0.24	5	0.29	0.28
		非介入群	2	0.03	0.04	2	0	0	4	0.4	0.43	3	0.33	0.58
	6人	介入群	3	0.07	0.09	3	0.13	0.12	2	0.5	0.71	3	0.50	0.50
		非介入群	1	0.03		1	0		3	0.39	0.10	4	0	0

表8 母親の年齢による事故変化との比較

			8ヵ月-1歳児				2歳児			3歳児			4歳児以上		
			N	M	SD		N	M	SD	N	M	SD	N	M	SD
事故総計	20歳以下	介入群	2	54.50	72.83		1	3.00		1	4.00				
		非介入群													
	21? 25歳	介入群	2	5.00	7.07		5	9.60	8.14	3	15.67	5.69	1	2.00	
		非介入群	4	2.75	3.10	*	7	9.14	8.99	1	9.00		2	19.00	14.14
	26? 30歳	介入群	15	7.87	14.11		28	9.86	14.83	14	2.14	1.83	21	5.00	6.04
		非介入群	16	7.38	6.05		22	8.05	7.78	22	3.23	2.18	14	4.21	6.53
	31? 35歳	介入群	13	8.23	10.79		14	4.79	7.51	16	4.88	8.13	17	3.18	2.98
		非介入群	13	10.77	13.67		12	11.92	15.70	15	4.47	4.24	18	2.89	2.65
	36? 40歳	介入群					3	2.00		4	3.00	2.45	4	2.50	3.11
		非介入群	2	4.00	2.83		3	10.33	7.23	7	5.57	6.70	6	2.33	2.66
	41歳以上	介入群					2	3.00	2.83						
		非介入群								1	7.00				
事故の増加数（02年→03年）	20歳以下	介入群	2	49.50	74.25		1	−10.00		1	2.00				
		非介入群													
	21? 25歳	介入群	2	5.00	7.07		5	3.80	4.44	3	9.67	1.15	1	2.00	
		非介入群	4	2.75	3.10		7	0.29	10.37	1	−1.00		2	−11.00	16.97
	26? 30歳	介入群	15	6.47	14.78		28	−1.21	15.78	14	−1.43	4.64	21	2.05	5.31
		非介入群	16	3.81	6.51		22	0.55	7.95	22	−3.14	6.54	14	1.86	6.86
	31? 35歳	介入群	13	7.15	9.86		14	−3.86	7.36	16	−1.50	4.63	17	0.06	3.98
		非介入群	13	10.31	13.62		12	2.33	16.64	15	−0.80	7.17	18	−0.06	2.44
	36? 40歳	介入群					3	−2.33	6.66	4	−1.75	7.80	4	−1.25	4.92
		非介入群	2	3.50	2.12		3	0.33	0.58	7	−4.29	5.31	6	−1.50	1.52
	41歳以上	介入群					2	−6.00	7.07						
		非介入群								1	−8.00				
事故総数に対する手当有りの確率	20歳以下	介入群	2	0.01	0.01		1	0.67		1	0.50				
		非介入群													
	21? 25歳	介入群	1	0.20			4	0.12	0.1	3	0.22	0.05	1	0.50	
		非介入群	3	0.16	0.17		7	0.21	0.36	1	0.22		2	0.15	0.11
	26? 30歳	介入群	15	0.19	0.30		25	0.21	0.33	10	0.42	0.36	18	0.30	0.31
		非介入群	13	0.07	0.10		19	0.14	0.24	20	0.30	0.31	13	0.22	0.38
	31? 35歳	介入群	12	0.19	0.33		12	0.21	0.31	14	0.32	0.44	15	0.46	0.41
		非介入群	11	0.24	0.39		10	0.04	0.06	13	0.34	0.38	16	0.32	0.41
	36? 40歳	介入群					3	0.50	0	3	0.30	0.26	3	0.14	0.25
		非介入群	2	0	0		3	0.12	0.11	6	0.26	0.27	4	0.17	0.19
	41歳以上	介入群					2	0	0						
		非介入群								1	0.57				

表9 母親の就業の有無による事故変化との比較

			8ヵ月-1歳児				2歳児				3歳児			4歳児以上			
			N	M	SD		N	M	SD		N	M	SD	N	M	SD	
事故総計	有職	介入群	7	12.43	13.46	]*	21	4.05	3.35		17	2.88	3.33	22	3.00	3.30	
		非介入群	10	3.70	4.16		12	11.00	8.97	*	11	3.36	2.73	9	3.78	8.38	
	無職	介入群	24	10.54	23.30		31	10.29	14.86		20	5.80	8.35	20	5.10	5.95	
		非介入群	25	9.60	10.55		31	9.12	11.08		35	4.46	4.21	30	4.27	5.34	
事故の増加数（02年→03年）	有職	介入群	7	11.14	12.21		21	−4.33	10.76		17	−0.65	4.94	22	0.00	3.82	
		非介入群	10	3.10	4.04		12	2.83	9.24		11	−1.73	2.33	9	1.44	8.68	
	無職	介入群	24	9.17	23.08		31	−0.13	13.46		20	−0.45	6.27	20	1.90	5.62	
		非介入群	25	7.28	11.17		31	0.32	11.62		35	−2.89	7.34	30	−0.67	4.84	
事故総数に対する手当有りの確率	有職	介入群	7	0.09	0.19		17	0.23	0.23		14	0.40	0.39	17	0.22	0.29	
		非介入群	8	0.19	0.35		12	0.15	0.11		10	0.28	0.34	7	0.14	0.38	*
	無職	介入群	22	0.21	0.32		29	0.22	0.35		16	0.31	0.36	19	0.48	0.37	
		非介入群	21	0.12	0.23		27	0.11	0.21		31	0.32	0.32	27	0.30	0.36	

表10　調査時点での育児困難感Ⅰ、Ⅱ（介入・非介入群別）

		全数			8カ月-1歳児			2歳児			3歳児			4歳児以上		
		N	M	SD	N	M	SD	N	M	SD	N	M	SD	N	M	SD
育児困難感 i	介入群	170	2.96	0.94	31	3.00	1.13	54	2.80	0.79	40	3.08	0.10	45	3.04	0.93
	非介入群	165	2.93	1.03	35	2.94	0.97	45	2.78	0.95	45	3.04	1.15	40	2.98	1.05
育児困難感 ii	介入群	169	2.93	0.92	32	2.69	0.82	54	2.93	0.87	38	3.16	0.97	45	2.93	0.99
	非介入群	165	3.00	0.90	35	2.94	0.68	45	3.11	0.94	46	2.96	0.92	39	2.97	1.04

4．育児困難感と事故変化との関連

1） 介入後の調査時点における育児困難感（表10）

育児困難感Ⅰの得点は 2.95±0.99 点、育児困難感Ⅱでは 2.97±0.91 点であり、介入群と非介入群はほぼ同じ得点であった。

2） 介入前後での変化（表11）

育児困難感Ⅰは、介入群において介入前 3.21±1.06 点、介入後は 2.96±0.94 点であった。非介入群では、介入前 3.17±1.03 点、介入後は 2.93±1.03 点と、いずれも低下しており、有意差が認められた（p<.01）。

育児困難感Ⅱでは、介入群の介入前 3.09±0.95 点、介入後 2.93±0.92 点であった。非介入群では、介入前 2.95±1.00 点、介入後 3.00±0.90 点であった。対応のある t 検定を行なったが、どちらの群も有意差は認められなかった。

表11　育児困難感の介入前後での変化

		育児困難感Ⅰ M	SD		育児困難感Ⅱ M	SD
介入群	介入前	3.21	1.06	]*	3.09	0.95
	介入後	2.96	0.94		2.93	0.92
非介入群	介入前	3.17	1.03	]*	2.95	1.00
	介入後	2.93	1.03		3.00	0.90

*<.01

3） 事故合計と安全対策得点との比較

介入の効果を見るために、事故総計と安全対策合計得点率について比較した結果を表12に示した。介入群では育児困難感Ⅰ、Ⅱともに、育児困難感が強いほど安全対策合計得点率は低く、有意差が認められた（p<.05）。非介入群では育児困難感Ⅰ、Ⅱともに同じような得点であり、有意差は見られなかった。また、育児困難感と事故総計においても有意差は見られなかった（表12）。

表12　育児困難感と事故合計、安全対策得点の変化

			事故総計			事故の増加数			安全対策合計得点率			
			N	M	SD	N	M	SD	N	M	SD	
育児困難感Ⅰ	介入群	1	4	17.00	36.08	8	14.38	35.67	8	84.02	4.55	*
		2	5	5.07	6.66	45	-0.71	5.15	44	82.83	9.99	
		3	11	6.31	10.63	71	1.08	11.75	68	76.16	11.94	
		4	9	6.51	10.24	37	2.43	10.90	37	67.63	13.26	
		5	2	6.78	10.71	9	-1.89	7.03	9	62.54	17.08	
	非介入群	1	3	5.62	4.48	13	1.85	6.19	13	76.27	12.83	
		2	8	6.22	6.82	46	0.07	6.55	46	77.50	11.59	
		3	12	8.40	11.05	53	2.53	11.65	53	76.09	11.38	
		4	12	4.51	6.14	45	0.11	7.82	45	76.57	10.06	
		5		4.88	2.59	8	-4.75	8.26	8	71.83	11.48	

			N	M	SD	N	M	SD	N	M	SD	
育児困難感Ⅱ	介入群	1	9	5.56	4.67	9	2.67	5.02	9	83.62	7.16	*
		2	42	6.00	16.14	42	2.67	16.28	41	82.82	9.11	
		3	77	6.86	10.84	77	0.38	11.98	75	75.03	13.07	
		4	33	7.94	12.08	33	3.00	10.62	32	69.05	11.42	
		5	8	3.50	3.07	8	-2.13	6.79	8	60.86	20.64	
	非介入群	1	7	3.57	2.51	7	-1.57	4.83	7	83.40	10.33	
		2	41	4.39	4.22	41	-0.27	5.83	41	75.55	13.06	
		3	67	7.43	9.30	67	2.55	8.60	67	77.77	10.00	
		4	45	7.29	9.45	45	-0.13	11.87	45	74.97	10.55	
		5	5	3.40	1.82	5	-2.20	5.02	5	65.08	9.76	

表 13 育児困難感1 と事故種別回数との関連

介入群

		育児困難感Ⅰ			育児困難感Ⅱ		
		N	M	SD	N	M	SD
転倒	事故なし	48	3.21	0.97	48	2.96	0.99
	事故あり	122	2.87	0.92	121	2.93	0.90
転落	事故なし	105	2.90	0.94	106	2.89	0.94
	事故あり	65	3.06	0.95	63	3.02	0.89
衝突	事故なし	93	2.88	0.93	92	2.86	0.97
	事故あり	77	3.06	0.95	77	3.03	0.86
挟む	事故なし	133	2.95	0.94	132	2.97	0.92
	事故あり	37	3.03	0.96	37	2.81	0.91
切る	事故なし	141	2.91	0.95	140	2.89	0.89
	事故あり	29	3.21	0.90	29	3.17	1.04
やけど	事故なし	166	2.98	0.95	165	2.95	0.91
	事故あり	4	2.50	0.58	4	2.50	1.29
誤飲	事故なし	170	2.96	0.94	169	2.93	0.92
	事故あり						
窒息	事故なし	169	2.96	0.94	168	2.93	0.92
	事故あり	1	4.00		1	3.00	
溺れ	事故なし	167	2.97	0.95	166	2.95	0.92
	事故あり	3	2.67	0.58	3	2.33	1.16
引く	事故なし	150	2.99	0.97	149	2.94	0.95
	事故あり	20	2.80	0.70	20	2.90	0.64
咬む	事故なし	162	2.96	0.95	161	2.93	0.93
	事故あり	8	3.00	0.93	8	3.12	0.64
交通	事故なし	170	2.96	0.94	169	2.93	0.92
	事故あり						
噛む	事故なし	157	2.99	0.94	156	2.97	0.95
	事故あり	13	2.62	0.96	13	2.54	1.05
その他	事故なし	161	2.96	0.96	160	2.92	0.94
	事故あり	9	3.00	0.71	9	3.22	0.44

非介入群

		育児困難感Ⅰ			育児困難感Ⅱ		
		N	M	SD	N	M	SD
転倒	事故なし	51	3.04	1.04	51	3.02	0.93
	事故あり	114	2.89	1.03	114	2.99	0.90
転落	事故なし	103	3.09	1.10	103	3.09	0.94
	事故あり	62	2.68	0.86	62	2.85	0.83
衝突	事故なし	85	2.96	1.03	84	2.89	0.89
	事故あり	80	2.90	1.04	81	3.11	0.91
挟む	事故なし	139	2.99	1.02	139	3.01	0.95
	事故あり	26	2.65	1.06	26	2.92	0.63
切る	事故なし	142	2.95	1.05	142	2.98	0.91
	事故あり	23	2.83	0.89	23	3.13	0.87
やけど	事故なし	161	2.96	1.03	161	3.01	0.91
	事故あり	4	2.00	0.82	4	2.50	0.58
誤飲	事故なし	161	2.94	1.03	161	3.00	0.92
	事故あり	4	2.50	1.00	4	3.00	0.00
窒息	事故なし	159	2.96	1.02	159	3.00	0.91
	事故あり	6	2.33	1.21	6	3.00	0.89
溺れ	事故なし	162	2.94	1.03	162	2.99	0.91
	事故あり	3	2.33	1.16	3	3.33	0.58
引く	事故なし	145	2.93	1.01	145	2.99	0.92
	事故あり	20	2.95	1.19	20	3.05	0.83
咬む	事故なし	161	2.94	1.03	161	3.00	0.92
	事故あり	4	2.50	1.00	4	3.00	0.00
交通	事故なし	165	2.93	1.03	165	3.00	0.90
	事故あり						
噛む	事故なし	153	2.93	1.04	153	3.01	0.91
	事故あり	12	2.92	1.00	12	2.92	0.79
その他	事故なし	162	2.93	1.04	162	2.99	0.90
	事故あり	3	3.33	0.58	3	3.33	1.16

4) 事故種類との比較 (表 13)

種類別の事故の有無と育児困難感ⅠとⅡを比較したが、対象者全体では介入の有無は関係なく、どの事故においても有意な差は認められなかった。

【考察】

今回、子どもの事故予防策として行なった介入の効果測定を目的に調査を行ったが、介入前後での明確な事故件数の減少は見られなかった。したがって、仮説「介入群は、非介入群より育児困難感が低減し、事故が少なく、安全対策を実施している」は棄却された。

子どもの属性との関連においては、介入群の2歳男児の事故が有意に減少していたが、介入プログラム実施からの時間経過を考慮すると他の要因からの影響を受けていることも考えられた。調査方法については検討が必要であると思われた。

きょうだい数では、きょうだいが多いほど事故回数は多く、日常の子ども同士の関わりの中でけがをする機会が増加することを示している。また、子どもの出生順において第1子の非介入群に有意に事故が多かったこと、母親が若いほど事故回数が多かったことから、事故予防対策の指導においては、養育者が子どもの発達課題

や行動の特性を理解できるような内容を含めていくことが不可欠であると思われる。

母親の育児困難感は、介入群では育児困難感Ⅰにおいて介入後に有意な減少が認められた。しかし、非介入群も同様に減少していることから、事故予防の介入プログラムによる効果とは判断しにくい。育児困難感Ⅰの調査内容が、“育児に対する心配や不安”を反映していることから、日々の子どもとのかかわりを通じて母親が育児に関する自信を獲得していったものと考えられる。また、事故総計と育児困難感については直接的な関連は見出されなかったが、育児困難感と安全対策の実施の間には関連が認められた。このことより、事故原因への直接的なアプローチの他に、母親のもつ育児困難感に対する支援など養育者の精神的な側面への取り組みにより、安全対策が実施されるようになり、間接的な事故予防に繋がっていくとも考えられる。今回、有意差は認められなかったが、介入群において育児困難感Ⅱつまり“子どもに対するネガティブな感情や攻撃、衝動性”の減少傾向が見られていたことから、事故予防策の今後の方向性を考えていくことも可能ではないかと考える。

引用文献

1) 川井尚、庄司順一、千賀悠子他.育児不安に関する臨床的研究Ⅵ－子ども総研式・育児支援質問紙（ミレニアム版）の手引きの作成－.日本子ども家庭総合研究所紀要　第37集、159－180、2001.

（文責：関森みゆき）

乳幼児の事故予防対策プログラムの評価
ー介入群と非介入群の安全対策実施率の比較からー

【はじめに】

本稿では、事故予防対策プログラムの効果を安全対策実施状況から行った。すなわち「仮説6 介入群は非介入群より安全対策を実施している」を検証するために、安全対策実施率と、子どもの生活行動の視点から各年齢階層で頻発する事故に対する安全対策の各質問項目の実施状況を、介入群と非介入群で比較検討した。さらに、介入プログラムが印象に残っている対象で、個別指導の有無による安全対策実施状況の比較をした。

【研究方法】

対象：介入前調査と同様、静岡県Ａ町周辺3町に在住する乳幼児のうち、平成14年10月から平成15年2月までに乳幼児健診の対象となった子どもとそのきょうだいとした。上記期間中の乳幼児健診において、本研究の事故予防プログラムを実施した健診の受診者およびそのきょうだいを介入群とし、従来保健センターで行なわれていた指導のみの健診を受けた者およびそのきょうだいを非介入群とした。

調査方法：前回調査において、調査協力に同意が得られた養育者に対して、2回目となる今回の調査依頼文および調査用紙を郵送にて送付し、回収を行った。

調査期間：平成15年9月から11月

調査項目：① 調査期間中に経験した事故実態、② 家庭での安全対策、③事故予防プログラムが印象について（介入群のみ）であった。なお、デモグラフィックデータとして家族背景、母親の就業の有無、前回調査以降の出産の有無とした。

① 事故実態に関する調査は、安全対策についての質問に回答後、「転倒」「転落」など、14項目の種類別に事故の回数と手当の内容を16日間、記載してもらった。このうち、最初の２日間は事故に対する意識が高まっていると考え、分析から除外した。なお、本研究では回答のうち手当てをしたものを事故として扱った。

② 家庭内で行われている安全対策

生活行動範囲を考慮して生後2-7か月児〈自力で移動が可能となるまでの時期〉、8か月-１歳児〈ハイハイや歩行により移動が始まる時期〉、2-3歳児〈自我や知的好奇心が広がる時期〉、4-6歳児〈幼稚園など家庭外での集団生活が営まれる時期〉の年齢階層に分けた調査票を用いた。質問紙は年齢によって安全対策が異なるため、調査時点の年齢にあった質問紙を用いた。

質問項目は、事故実態の先行研究および死因統計結果より予防が可能な項目を独自に作成とした。各年齢階層の質問項目数は、2-7か月児23、8か月-1歳児25、2-3歳児24、4-6歳児25であった。（質問内容は別添資料１参照）。

回答は「いつもしている」3点、「時々している」2点、「あまりしていない」1点、「まったくしていない」0点とした。逆説設問では、「いつもしている」0点から「まったくしていない」3点とし、点数が高い方が安全対策を実施しているように設定した。

分析方法：①安全対策の合計得点を求め、さらに年齢階層別の質問項目による差を無くすために割合を算出してこれを「安全対策合計実施率」として比較した。②介入群と非介入群の安全対策の実施状況を質問項目ごとの点数で比較した。③介入群に実施した調査項目の事故予防プログラムの印象において、印象に残ったという対象に限定して、介入時に実施したスクリーニングでリスク要因があると判断して事故予防プログラムに加えて個別指導の介入を行った群と行わなかった群の安全対策の実施状況を比較した。（研究の概要　図参照）

なお、年齢階層の４区分は、ベースラインスタディから１年後の調査であるため、8か月-1歳

児（ベースラインスタディ時：2-7か月児）、2歳児（同：8か月-1歳児）、3歳児（同：2-3歳児）、4歳以上（同：4-6歳児）と表記する。

倫理的配慮：データは個人が特定できないように処理をし、保管は鍵つきの保管庫で行った。

【結果】

1．対象者の背景

同意が得られた養育者の数は399名であり、転居世帯を除いた回収数は344名（86.2%）であった。分析対象の乳幼児は333名で、介入群167名、非介入群166名であった。年齢階層による内訳では8か月－1歳児67名（介入群32名、非介入群35名）、2歳児96名（介入群51名、非介入群45名）、3歳児86名（介入群40名、非介入群46名）、4歳以上84名（介入群44名、非介入群40名）であった（表1）。

表1　対象者数

年齢階層	人数（%）	介入／非介入
8か月－1歳児	67名（19.9）	32名／35名
2歳児	96名（29.4）	51／45
3歳児	86名（25.5）	40／46
4歳以上	84名（25.2）	44／40

1．全体の安全対策実施率

安全対策実施率の全体の平均の比較では、介入群 75.8%（SD=13.36）と非介入群 76.4%（SD=11.17）の間に有意な差はなかった。

年齢別に検討しても実施率に有意な差は見られなかった。

2．安全対策の比較

年齢階層ごとに安全対策の実施状況を点数で比較した結果、有意差があった項目は8か月-1歳児で「犬や動物にかまれないように注意している」、4歳以上の「遊ぶ場所が安全か確認している」で、非介入群の方が介入群より高かった。

3．介入内容が印象に残っている対象の安全対策実施状況

1）介入が印象に残っている対象

安全対策実施状況の比較では、明らかな差が見られなかったため、介入が印象に残っていると回答した対象のみに限定して分析することにした。介入が印象に残っている対象は8か月-1歳児30名（うち個別指導対象者21名）、2歳児36名（同21名）、3歳児33名（同21名）、4歳以上26名（同20名）であった。

2）個別指導実施群との比較

介入が印象に残っていると回答して介入効果が比較しやすいと考えられた対象のみで、スクリーニングにおいてリスク要因がある判断され、事故予防プログラムに加え個別指導を実施した群と、一律の予防プログラムのみの群とを比較した。

その結果、8か月-1歳児では「食べ物がのどにつかえない注意」をしているのが個別指導実施群の方が高かった（$p<0.05$）

3歳児では「熱い食べ物が入った食器や調理器具を子どもの手の届くところに置かない」対策、「ストーブやアイロン、ポットなどに子どもが触れない」対策、「自動車に乗せる場合のチャイルドシートの装着」の対策において個別指導実施群の方が高かった。（$p<0.05$）

4歳以上では、「窓の側やベランダに踏み台となるような物を置かないようにする」（$p<0.05$）、「物を口にくわえたまま歩かないよう注意する」（$p<0.05$）、「自動車に乗せる際のチャイルドシートの装着」（$p<0.05$）、で個別指導実施群の方が高かった。

【考察】

乳幼児の事故予防プログラムの効果測定を目的に、介入群と非介入群の比較を行ったが、全体として介入群と非介入群に明らかな安全対策実施の差はなかった。これは事故の発生には季節的な変動が考えられたので介入前と同季節に実施した介入後の調査は、介入から1年近く経過していたこと、介入は健診時の一回であり、家庭に持ち帰る教材がパンフレットを主で、一回のみの配布であったこと等が考えられる。すなわち介入後の強化が行われておらず、介入効果を測定した時期、及び介入方法による影響が

考えられた。今後継続的な介入による安全対策の指導を行い、事故実態や安全対策の実施状況といった介入の効果を測定していくことが考えられる。

また、効果測定には今回の介入以外のマスコミ等による啓発、子どもが通園する施設からの指導など様々な子どもの安全に関する情報などが複合的な影響を、介入群、非介入群共に受けており、介入プログラムだけの効果を測定することはできなかったと考えられた。

このような介入以外の影響が考えられたので、介入が印象に残っている対象のみに限定して、さらにスクリーニングにより実施された個別指導の効果を検討した。その結果、介入プログラムに加えて個別指導を行った群で介入が印象に残っている対象は、介入プログラムのみの対象よりも安全対策が実施されていた項目がみられた。この項目は、介入時に配布したパンフレットの各年齢階層で発達段階に起こりやすい事故とその予防を強調した内容と一致しており、個別指導により家庭内の安全対策が実施され、介入の効果が現れる可能性が示唆された。すなわち、安全対策の実施には、一般的な事故予防介入のみでなく、個別性を考慮した介入が必要であることが考えられた。

（文責：日沼千尋）

質問紙

平成　　年　　月　　日生まれの
お子さまについての調査用紙

ご記入にあたって

1. ご記入は**おかあさま**にお願いいたします。
2. **上記の生年月日のお子さま**についてお答え下さい。
3. 質問用紙はピンク色の用紙が5枚です。
   なお、白い用紙が各ご家庭に1枚あります。
4. 質問は番号順にご記入いただき、**質問Ⅲまでの記入を終えてから**
   質問Ⅳの事故実態を16日間、続けてご記入下さい。
5. エンピツかボールペンではっきりとご記入下さい。

記入漏れがないかご確認頂き、
１０月２７日（月）までにご投函下さい。

２か月～７か月児用

1歳児用

Ⅰ．育児の印象に関する質問項目に、お考えやお気持ちに近いものをいずれか1つだけ選んで番号に○を付けてください。どちらとも決められず、迷うこともあると思いますが必ずどれか1つにお答えください。

A

	はい	ややはい	ややいいえ	いいえ
質問1．育児に自信が持てない	4	3	2	1
質問2．子どもをうまく育てている	1	2	3	4
質問3．子どものことでどうしたらよいかわからない	4	3	2	1
質問4．どのようにしつけたらよいかわからない	4	3	2	1
質問5．育児についていろいろ心配なことがある	4	3	2	1
質問6．母親として不適格と感じる	4	3	2	1
質問7．子どものことは理解できている	1	2	3	4
質問8．子育てに困難を感じる	4	3	2	1

B

	はい	ややはい	ややいいえ	いいえ
質問1．子どもに八つ当たりしては、反省して落ち込む	4	3	2	1
質問2．子どもを虐待しているのではないかと思う	4	3	2	1
質問3．子どもは何で叱られているのかわからないのに叱ってしまう	4	3	2	1
質問4．私はおこりっぽい	4	3	2	1
質問5．私はイライラしている	4	3	2	1
質問6．子どものことがわずらわしくてイライラする	4	3	2	1
質問7．母親として不適格と感じる	4	3	2	1

2〜11か月児用

Ⅰ．育児の印象に関する質問項目に、お考えやお気持ちに近いものをいずれか1つだけ選んで番号に○を付けてください。どちらとも決められず、迷うこともあると思いますが必ずどれか1つにお答えください。

	はい	ややはい	ややいいえ	いいえ
質問1．育児に自信が持てない	4	3	2	1
質問2．子どものことでどうしたらよいかわからない	4	3	2	1
質問3．子どものことは理解できている	1	2	3	4
質問4．どのようにしつけたらよいかわからない	4	3	2	1
質問5．母親として不適格と感じる	4	3	2	1
質問6．子育てに困難を感じる	4	3	2	1
質問7．子どもをうまく育てている	1	2	3	4
質問8．育児についていろいろ心配なことがある	4	3	2	1
質問9．子どものことがわずらわしくてイライラする	4	3	2	1
質問10．子どもを虐待しているのではないかと思う	4	3	2	1
質問11．子どもがかわいいと思えないことがある	4	3	2	1
質問12．子どもに八つ当たりしては、反省して落ち込む	4	3	2	1

3～6歳児用

Ⅰ．育児の印象に関する質問項目に、お考えやお気持ちに近いものを
いずれか1つだけ選んで番号に○を付けてください。どちらとも決められず、迷うこともあると思いますが必ずどれか1つにお答えください。

A	はい	ややはい	ややいいえ	いいえ
質問1．育児に自信が持てない	4	3	2	1
質問2．母親として不適格と感じる	4	3	2	1
質問3．子どもをうまく育てている	1	2	3	4
質問4．どのようにしつけたらよいかわからない	4	3	2	1
質問5．育児についていろいろ心配なことがある	4	3	2	1
質問6．子どものことでどうしたらよいかわからない	4	3	2	1
質問7．子育てに困難を感じる	4	3	2	1
質問8．子どものことは理解できている	1	2	3	4
質問9．子どものことがわずらわしくてイライラする	4	3	2	1
質問10．よその子どもと比べて落ち込んだり自信をなくす	4	3	2	1
質問11．子どもを育てることが負担である	4	3	2	1

B	はい	ややはい	ややいいえ	いいえ
質問1．とめどなく叱ってしまう	4	3	2	1
質問2．子どもに八つ当たりしては、反省して落ち込む	4	3	2	1
質問3．私はおこりっぽい	4	3	2	1
質問4．私はイライラしている	4	3	2	1
質問5．子どもは何で叱られているかわからないのに叱ってしまう	4	3	2	1
質問6．子どもを虐待しているのではないかと思う	4	3	2	1
質問7．子どものことがわずらわしくてイライラする	4	3	2	1

2歳児用

Ⅰ．育児の印象に関する質問項目に、お考えやお気持ちに近いものを
いずれか1つだけ選んで番号に○を付けてください。どちらとも決められず、迷うこともあると思いますが必ずどれか1つにお答えください。

A	はい	ややはい	ややいいえ	いいえ
質問1．育児に自信が持てない	4	3	2	1
質問2．子どものことでどうしたらよいかわからない	4	3	2	1
質問3．どのようにしつけたらよいかわからない	4	3	2	1
質問4．子どもをうまく育てている	1	2	3	4
質問5．育児についていろいろ心配なことがある	4	3	2	1
質問6．母親として不適格と感じる	4	3	2	1

B	はい	ややはい	ややいいえ	いいえ
質問1．子どもは何で叱られているかわからないのに叱ってしまう	4	3	2	1
質問2．とめどなく叱ってしまう	4	3	2	1
質問3．子どもに八つ当たりしては、反省して落ち込む	4	3	2	1
質問4．子どものことを許せない	4	3	2	1
質問5．私はおこりっぽい	4	3	2	1
質問6．子どもを虐待しているのではないかと思う	4	3	2	1

記入日　　月　　日

Ⅱ．家庭で現在行っている安全対策についてお尋ねします。（○は1つ）

質問1：お子さまをベッドに寝かせる場合、ベットの柵は上げていますか。
1. いつもしている　2. 時々している　3. あまりしていない　4. まったくしていない　5. ベットはない

質問2：ソファーやテーブルなどの上にお子さまを寝かせることがありますか。
1. いつもしている　2. 時々している　3. あまりしていない　4. まったくしていない　5. ソファーやテーブルには寝かせない

質問3：お子さまをラックやベビーカーなどに乗せた場合、固定ベルトはしめていますか。
1. いつもしている　2. 時々している　3. あまりしていない　4. まったくしていない　5. ラックやベビーカーは使用しない

質問4：お子さまを抱いたりおんぶしているときは自分の足下に注意していますか。
1. いつもしている　2. 時々している　3. あまりしていない　4. まったくしていない

質問5：カミソリやナイフ、はさみなどの危険物はお子さまの手の届かない場所に置くようにしていますか。
1. いつもしている　2. 時々している　3. あまりしていない　4. まったくしていない

質問6：お子さまの上には物が落ちてこないようにしていますか。
1. いつもしている　2. 時々している　3. あまりしていない　4. まったくしていない

質問7：お子さまを抱いたりおんぶしているときは周りにぶつからないように気をつけていますか。
1. いつも気をつけている　2. 時々気をつけている　3. あまり気をつけていない　4. まったく気をつけていない

質問8：お子さまの敷きふとんはかためのものにしていますか。
1. いつもしている　2. 時々している　3. あまりしていない　4. まったくしていない

質問9：お子さまをうつぶせで寝かせた時、お子さまの様子に注意していますか。
1. いつもしている　2. 時々している　3. あまりしていない　4. まったくしていない　5. うつぶせ寝にはしない

質問10：授乳後はゲップさせたりして乳汁を吐かないように気をつけていますか。
1. いつも気をつけている　2. 時々気をつけている　3. あまり気をつけていない　4. まったく気をつけていない

質問11：お子さまのしているよだれかけのひもなどは、首がしまらないように気をつけていますか。
1. いつも気をつけている　2. 時々気をつけている　3. あまり気をつけていない　4. まったく気をつけていない

質問12：細いひもやビニール袋はお子さまの手の届かない場所に置くようにしていますか。
1. いつもしている　2. 時々している　3. あまりしていない　4. まったくしていない

質問13：タバコはお子さまの手の届かない場所に置くようにしていますか。
1. いつもしている　2. 時々している　3. あまりしていない　4. まったくしていない　5. タバコはおいていない

質問14：お子さまの口に入るような小物は、お子さまの手の届かない場所に置くようにしていますか。
1. いつもしている　2. 時々している　3. あまりしていない　4. まったくしていない

質問15：お子さまにミルクを飲ませる前に、ミルクが適温かどうか確かめていますか。
1. いつもしている　2. 時々している　3. あまりしていない　4. まったくしていない　5. 母乳のみ飲ませている

質問16：お子さまを入浴させる場合、湯の温度が適温かどうか確かめていますか。
1. いつもしている　2. 時々している　3. あまりしていない　4. まったくしていない

質問17：お子さまを抱っこしている時、あなたが熱い物を食べたり、飲んだりしますか。
1. いつもしている　2. 時々している　3. あまりしていない　4. まったくしていない

質問18：やけどの原因になるもの（アイロンやポットなど）をお子さまのそばに置かないようにしていますか。
1. いつもしている　2. 時々している　3. あまりしていない　4. まったくしていない

質問19：お子さまの沐浴や入浴中は目を離さないようにしていますか。
1. いつもしている　2. 時々している　3. あまりしていない　4. まったくしていない

質問20：お子さまを自動車に乗せる場合、チャイルドシートは装着していますか。
1. いつもしている　2. 時々している　3. あまりしていない　4. まったくしていない　5. 自動車には乗せない

質問21：おもちゃやベビー用品の安全性を確認していますか。
1. いつもしている　2. 時々している　3. あまりしていない　4. まったくしていない

質問22：お子さまを家に一人にして出かけることがありますか。
1. いつもしている　2. 時々している　3. あまりしていない　4. まったくしていない

質問23：お子さまを自動車の中に一人きりにすることがありますか。
1. いつもしている　2. 時々している　3. あまりしていない　4. まったくしていない　5. 自動車には乗せない

記入日　　月　　日

Ⅱ．家庭で現在行っている安全対策についてお尋ねします。（○は1つ）

質問1：階段や玄関など段差のあるところから、お子さまが落ちないような対策をしていますか。

1. いつもしている　2. 時々している　3. あまりしていない　4. まったくしていない　5. 段差の大きいところはない

質問2：窓の側やベランダに、踏み台となるようなものを置かないようにしていますか。

1. いつもしている　2. 時々している　3. あまりしていない　4. まったくしていない

質問3：お子さまが使用する椅子やベビーカーなどは、ベルトをしめていますか。

1. いつもしている　2. 時々している　3. あまりしていない　4. まったくしていない　5. 椅子やベビーカーは使用しない

質問4：お子さまの周りに、つまずきやすいものがないようにしていますか。

1. いつもしている　2. 時々している　3. あまりしていない　4. まったくしていない

質問5：ドアや扉がバタンと閉まらないような対策をしていますか。

1. いつもしている　2. 時々している　3. あまりしていない　4. まったくしていない

質問6：カミソリやナイフ、はさみなどの危険物は、お子さまの手の届かない場所に置くようにしていますか。

1. いつもしている　2. 時々している　3. あまりしていない　4. まったくしていない

質問7：収納扉や引き出しには、お子さまが開けられないような対策をしていますか。

1. いつもしている　2. 時々している　3. あまりしていない　4. まったくしていない

質問8：テーブルや家具の角には、お子さまがけがをしないような対策をしていますか。

1. いつもしている　2. 時々している　3. あまりしていない　4. まったくしていない

質問9：食卓のテーブルクロスが動かないような対策をしていますか。

1. いつもしている　2. 時々している　3. あまりしていない　4. まったくしていない　5. テーブルクロスは使用しない

質問10：お子さまが犬などの動物に噛まれないように注意していますか。

1. いつもしている　2. 時々している　3. あまりしていない　4. まったくしていない

質問11：風船やビニール袋などは、お子さまの手の届かない場所に置くようにしていますか。

1. いつもしている　2. 時々している　3. あまりしていない　4. まったくしていない

質問12：お子さまの食べ物は、のどにつかえないように注意していますか。

1. いつもしている　2. 時々している　3. あまりしていない　4. まったくしていない

質問13：タバコはお子さまの手の届かない場所に置くようにしていますか。

1. いつもしている　2. 時々している　3. あまりしていない　4. まったくしていない　5. タバコはおいていない

質問14：薬品、洗剤、化粧品などは、お子さまの手の届かない場所に置くようにしていますか。

1. いつもしている　2. 時々している　3. あまりしていない　4. まったくしていない

質問15：お子さまの口に入るようなおもちゃや硬貨、ピーナツ、飴玉などは、お子さまの手の届かない場所に置くようにしていますか。

1. いつもしている　2. 時々している　3. あまりしていない　4. まったくしていない

質問16：熱い食べ物が入った食器や調理器具は、お子さまの手の届かない場所に置くようにしていますか。

1. いつもしている　2. 時々している　3. あまりしていない　4. まったくしていない

質問17：ストーブやアイロン、ポット、炊飯器などは、お子さまがさわれないようにしていますか。

1. いつもしている　2. 時々している　3. あまりしていない　4. まったくしていない

質問18：お子さまが入浴中は、お子さまから目を離さないように注意していますか。

1. いつもしている　2. 時々している　3. あまりしていない　4. まったくしていない

質問19：浴槽に残り湯をしている場合、お子さまが一人で浴槽に入れないような対策をしていますか。

1. いつもしている　2. 時々している　3. あまりしていない　4. まったくしていない　5. 残り湯はしない

質問20：お子さまを自動車に乗せる場合、チャイルドシートは装着していますか。

1. いつもしている　2. 時々している　3. あまりしていない　4. まったくしていない　5. 自動車には乗せない

質問21：お子さまを自転車に相乗りさせる場合、幼児座席のベルトはしめていますか。

1. いつもしている　2. 時々している　3. あまりしていない　4. まったくしていない　5. 自転車には乗せない

質問22：おもちゃや遊具の安全性を確認していますか。

1. いつもしている　2. 時々している　3. あまりしていない　4. まったくしていない

質問23：お子さまの遊ぶ場所が安全かどうかを確認していますか。

1. いつもしている　2. 時々している　3. あまりしていない　4. まったくしていない

質問24：お子さまを家に一人にして出かけることがありますか。

1. いつもしている　2. 時々している　3. あまりしていない　4. まったくしていない

質問25：お子さまを自動車の中に一人きりにすることがありますか。

1. いつもしている　2. 時々している　3. あまりしていない　4. まったくしていない　5. 自動車には乗せない

記入日　　月　　日

Ⅱ. 家庭で現在行っている安全対策についてお尋ねします。（○は1つ）

質問1：階段や玄関など段差のあるところから、お子さまが落ちないような対策をしていますか。

1. いつもしている	2. 時々している	3. あまりしていない	4. まったくしていない	5. 段差の大きいところはない

質問2：窓の側やベランダに、踏み台となるようなものを置かないようにしていますか。

1. いつもしている	2. 時々している	3. あまりしていない	4. まったくしていない

質問3：お子さまの周りに、つまずきやすいものがないようにしていますか。

1. いつもしている	2. 時々している	3. あまりしていない	4. まったくしていない

質問4：ドアや扉がバタンと閉まらないような対策をしていますか。

1. いつもしている	2. 時々している	3. あまりしていない	4. まったくしていない

質問5：カミソリやナイフ、はさみなどの危険物は、お子さまの手の届かない場所に置くようにしていますか。

1. いつもしている	2. 時々している	3. あまりしていない	4. まったくしていない

質問6：収納扉や引き出しには、お子さまが開けられないような対策をしていますか。

1. いつもしている	2. 時々している	3. あまりしていない	4. まったくしていない

質問7：お子さまが歯ブラシなど物を口にくわえたまま歩き回らないように注意していますか。

1. いつもしている	2. 時々している	3. あまりしていない	4. まったくしていない

質問8：お子さまが犬などの動物に噛まれないように注意していますか。

1. いつもしている	2. 時々している	3. あまりしていない	4. まったくしていない

質問9：タバコはお子さまの手の届かない場所に置くようにしていますか。

1. いつもしている	2. 時々している	3. あまりしていない	4. まったくしていない	5. タバコはおいていない

質問10：薬品、洗剤、化粧品などは、お子さまの手の届かない場所に置くようにしていますか。

1. いつもしている	2. 時々している	3. あまりしていない	4. まったくしていない

質問11：お子さまが耳や鼻に物を入れて遊ばないように注意していますか。

1. いつもしている	2. 時々している	3. あまりしていない	4. まったくしていない

質問12：お子さまがあめ玉や豆、こんにゃくゼリーなどを食べるときは、詰まらないように注意していますか。

1. いつもしている	2. 時々している	3. あまりしていない	4. まったくしていない

質問13：熱い食べ物が入った食器や調理器具は、お子さまの手の届かない場所に置くようにしていますか。

1. いつもしている	2. 時々している	3. あまりしていない	4. まったくしていない

質問14：ストーブやアイロン、ポット、炊飯器などはお子さまがさわれないようにしていますか。

1. いつもしている	2. 時々している	3. あまりしていない	4. まったくしていない

質問15：お子さまがコンセントをいたずらできないような対策をしていますか。

1. いつもしている	2. 時々している	3. あまりしていない	4. まったくしていない

質問16：浴槽に残り湯をしている場合、お子さまが一人で浴槽に入れないような対策をしていますか。

1. いつもしている	2. 時々している	3. あまりしていない	4. まったくしていない	5. 残り湯はしない

質問17：お子さまが水遊びをするときは、そばで安全を確認していますか。

1. いつもしている	2. 時々している	3. あまりしていない	4. まったくしていない	5. 水遊びはしない

質問18：お子さまを自動車に乗せる場合、チャイルドシートは装着していますか。

1. いつもしている	2. 時々している	3. あまりしていない	4. まったくしていない	5. 自動車には乗せない

質問19：お子さまを自転車に相乗りさせる場合、幼児座席のベルトはしめていますか。

1. いつもしている	2. 時々している	3. あまりしていない	4. まったくしていない	5. 自転車には乗せない

質問20：お子さまが三輪車に乗る場合、そばで安全を確認していますか。

1. いつもしている	2. 時々している	3. あまりしていない	4. まったくしていない	5. 三輪車には乗らない

質問21：おもちゃや遊具の安全性を確認していますか。

1. いつもしている	2. 時々している	3. あまりしていない	4. まったくしていない

質問22：お子さまの遊ぶ場所が安全かどうかを確認していますか。

1. いつもしている	2. 時々している	3. あまりしていない	4. まったくしていない

質問23：お子さまを家に一人にして出かけることがありますか。

1. いつもしている	2. 時々している	3. あまりしていない	4. まったくしていない

質問24：お子さまを自動車の中に一人きりにすることがありますか。

1. いつもしている	2. 時々している	3. あまりしていない	4. まったくしていない	5. 自動車には乗せない

記入日　　月　　日

Ⅱ．家庭で現在行っている安全対策についてお尋ねします。（○は1つ）

質問1：窓の側やベランダに、踏み台となるようなものを置かないようにしていますか。

1. いつもしている	2. 時々している	3. あまりしていない	4. まったくしていない

質問2：お子さまの周りに、つまずきやすいものがないようにしていますか。

1. いつもしている	2. 時々している	3. あまりしていない	4. まったくしていない

質問3：ドアや扉がバタンと閉まらないような対策をしていますか。

1. いつもしている	2. 時々している	3. あまりしていない	4. まったくしていない

質問4：カミソリやナイフ、はさみなどの危険物は、お子さまの手の届かない場所に置くようにしていますか。

1. いつもしている	2. 時々している	3. あまりしていない	4. まったくしていない

質問5：お子さまが歯ブラシなど物を口にくわえたまま、歩き回らないように注意していますか。

1. いつもしている	2. 時々している	3. あまりしていない	4. まったくしていない

質問6：お子さまが犬などの動物に噛まれないように注意していますか。

1. いつもしている	2. 時々している	3. あまりしていない	4. まったくしていない

質問7：お子さまが食事をするときは、ゆっくり落ち着いて食べるように注意していますか。

1. いつもしている	2. 時々している	3. あまりしていない	4. まったくしていない

質問8：薬品はお子さまの手の届かない場所に置くようにしていますか。

1. いつもしている	2. 時々している	3. あまりしていない	4. まったくしていない

質問9：タバコはお子さまの手の届かない場所に置くようにしていますか。

1. いつもしている	2. 時々している	3. あまりしていない	4. まったくしていない	5. タバコはおいていない

質問10：マッチやライターは、お子さまの手の届かない場所に置くようにしていますか。

1. いつもしている	2. 時々している	3. あまりしていない	4. まったくしていない

質問11：ストーブやアイロン、ポット、炊飯器などは、お子さまがさわれないようにしていますか。

1. いつもしている	2. 時々している	3. あまりしていない	4. まったくしていない

質問12：花火で遊ぶ場合、お子さまのそばで安全な遊び方を教えていますか。

1. いつもしている	2. 時々している	3. あまりしていない	4. まったくしていない	5. 花火はしない

質問13：お子さまを風呂場に一人にしておくことがありますか。

1. いつもしている	2. 時々している	3. あまりしていない	4. まったくしていない

質問14：お子さまがプールや海、川で遊ぶ場合、そばで安全を確認していますか。

1. いつもしている	2. 時々している	3. あまりしていない	4. まったくしていない	5. これらの場所では遊ばせない

質問15：お子さまを自動車に乗せる場合、チャイルドシートは装着していますか。

1. いつもしている	2. 時々している	3. あまりしていない	4. まったくしていない	5. 自動車には乗せない

質問16：お子さまを自転車に相乗りさせる場合、幼児座席のベルトはしめていますか。

1. いつもしている	2. 時々している	3. あまりしていない	4. まったくしていない	5. 自転車には乗せない

質問17：お子さまが三輪車に乗る場合、そばで安全を確認していますか。

1. いつもしている	2. 時々している	3. あまりしていない	4. まったくしていない	5. 三輪車には乗らない

質問18：お子さまが自転車に乗る場合、安全な乗り方を教えていますか。

1. いつもしている	2. 時々している	3. あまりしていない	4. まったくしていない	5. 自転車には乗らない

質問19：お子さまが車道に飛び出さないように注意していますか。

1. いつもしている	2. 時々している	3. あまりしていない	4. まったくしていない

質問20：お子さまに、信号の見方（意味）などの交通ルールを教えていますか。

1. いつもしている	2. 時々している	3. あまりしていない	4. まったくしていない

質問21：おもちゃや遊具の安全性を確認していますか。

1. いつもしている	2. 時々している	3. あまりしていない	4. まったくしていない

質問22：お子さまの遊ぶ場所が安全かどうかを確認していますか。

1. いつもしている	2. 時々している	3. あまりしていない	4. まったくしていない

質問23：お子さまに、おもちゃや遊具（滑り台やブランコなど）の正しい遊び方を教えていますか。

1. いつもしている	2. 時々している	3. あまりしていない	4. まったくしていない

質問24：お子さまを家に一人にして出かけることがありますか。

1. いつもしている	2. 時々している	3. あまりしていない	4. まったくしていない

質問25：お子さまを自動車の中に一人きりにすることがありますか。

1. いつもしている	2. 時々している	3. あまりしていない	4. まったくしていない	5. 自動車には乗せない

Ⅲ．お子さまの事故の実態について、記入例を参考にして毎日、ご記入ください。

☆ **P3までのご記入はおすみでしょうか？**

ご記入にあたって

1．毎日続けてご記入下さい。
2．事故があったか、なかったかどちらかに○をつけてください。
3．事故があった場合、該当する欄に○をつけてください。
4．同じ事故の種類が２回以上起こった場合は、○の中に数字を書いてください。
5．事故の原因となったものがわかっている場合は欄にその名称を記入してください。

⇨ **最後まで（16日分）記入できなかった場合でも、必ずご返送下さい。**

記入例　１　（1）

９月　２９日　日曜日　　（2）(事故あり)　　事故なし

事故の種類	手当しなかった	手当した 家庭などで	病院で	入院した	主な原因となったもの （5）
転　倒　（平らなところで転ぶ）	○				カーペット
転　落　（高いところや段差から落ちる）					
衝　突　（物や人にぶつかる）	（4）②	○（3）			おもちゃ　テーブル
はさむ		○			引き出し
切　る					

記入例　２　（1）

９月　30日　月曜日　　事故あり　　（2）(事故なし)

事故の種類	手当しなかった	手当した 家庭などで	病院で	入院した	主な原因となったもの
転　倒　（平らなところで転ぶ）					
転　落　（高いところや段差から落ちる）					
切　る					
やけど					

ではこれよりご記入をお願いいたします。

月　　日　　曜日　　事故あり　事故なし

事故の種類	手当しなかった	手当した 家庭などで	病院で	入院した	主な原因となったもの
転　倒　（平らなところで転ぶ）					
転　落　（高いところや段差から落ちる）					
衝　突　（物や人にぶつかる）					
はさむ					
切　る					
やけど					
誤　飲　（食べてはいけない物を飲み込む）					
窒　息　（のどに詰まらせる）					
おぼれる					
ひっぱる（人や物にひっぱられる）					
かまれる（動物や危険な虫にかまれる）					
交通事故					
その他（　　　　）					

月　　日　　曜日　　事故あり　事故なし

事故の種類	手当しなかった	手当した 家庭などで	病院で	入院した	主な原因となったもの
転　倒　（平らなところで転ぶ）					
転　落　（高いところや段差から落ちる）					
衝　突　（物や人にぶつかる）					
はさむ					
切　る					
やけど					
誤　飲　（食べてはいけない物を飲み込む）					
窒　息　（のどに詰まらせる）					
おぼれる					
ひっぱる（人や物にひっぱられる）					
かまれる（動物や危険な虫にかまれる）					
交通事故					
その他（　　　　）					

月　　日　　曜日　　事故あり　事故なし

事故の種類	手当しなかった	手当した 家庭などで	病院で	入院した	主な原因となったもの
転　倒　（平らなところで転ぶ）					
転　落　（高いところや段差から落ちる）					
衝　突　（物や人にぶつかる）					
はさむ					
切　る					
やけど					
誤　飲　（食べてはいけない物を飲み込む）					
窒　息　（のどに詰まらせる）					
おぼれる					
ひっぱる（人や物にひっぱられる）					
かまれる（動物や危険な虫にかまれる）					
交通事故					
その他（　　　　）					

月　　日　　曜日　　事故あり　事故なし

事故の種類	手当しなかった	手当した 家庭などで	病院で	入院した	主な原因となったもの
転　倒　（平らなところで転ぶ）					
転　落　（高いところや段差から落ちる）					
衝　突　（物や人にぶつかる）					
はさむ					
切　る					
やけど					
誤　飲　（食べてはいけない物を飲み込む）					
窒　息　（のどに詰まらせる）					
おぼれる					
ひっぱる（人や物にひっぱられる）					
かまれる（動物や危険な虫にかまれる）					
交通事故					
その他（　　　　）					

Ⅳ. あなたのお住まいやご家族の状況などについてお尋ねします。

質問１：どのような形態のお住まいですか。（○は１つ）

１．平屋の一戸建て　２．二階建て以上の一戸建て　３．集合住宅（　　階）

質問２：現在いっしょに住んでいるすべてのお子さまについて、下の表にご記入ください。

	性別	生年月日	通園、通学、職業など（該当するところに○をおつけ下さい）
一番上のお子さま	男 女	昭和・平成　年　月　日生	＊家庭内　＊幼稚園　＊保育園　＊小学校　＊中学校　＊高校　＊大学　＊有職　＊その他
二番目のお子さま	男 女	昭和・平成　年　月　日生	＊家庭内　＊幼稚園　＊保育園　＊小学校　＊中学校　＊高校　＊大学　＊有職　＊その他
三番目のお子さま	男 女	昭和・平成　年　月　日生	＊家庭内　＊幼稚園　＊保育園　＊小学校　＊中学校　＊高校　＊大学　＊有職　＊その他
四番目のお子さま	男 女	昭和・平成　年　月　日生	＊家庭内　＊幼稚園　＊保育園　＊小学校　＊中学校　＊高校　＊大学　＊有職　＊その他
五番目のお子さま	男 女	昭和・平成　年　月　日生	＊家庭内　＊幼稚園　＊保育園　＊小学校　＊中学校　＊高校　＊大学　＊有職　＊その他

1年目のみ

質問３：上記のお子さま以外に現在いっしょに住んでいる方々について、下の表にご記入ください。

お子さまとの続柄	年齢	職業（どちらかに○をおつけ下さい）	主にお子さまの世話をしている方に○をおつけ下さい	アンケートを記入した方に○をおつけ下さい
父	歳	＊有職（パートタイムを含む）　＊無職		
母	歳	＊有職（パートタイムを含む）　＊無職		
祖父	歳	＊有職（パートタイムを含む）　＊無職		
祖母	歳	＊有職（パートタイムを含む）　＊無職		
	歳	＊有職（パートタイムを含む）　＊無職		
	歳	＊有職（パートタイムを含む）　＊無職		
	歳	＊有職（パートタイムを含む）　＊無職		
	歳	＊有職（パートタイムを含む）　＊無職		

2年目のみ

1. 昨秋から冬にかけて、町の保健センターで行われた3ヶ月児相談、1歳6ヶ月児健診、3歳児健診についてお尋ねします。

質問1：事故予防に関する内容が含まれていましたか。（一つを選び○）

1. はい　2. いいえ　3. わからない、または覚えていない

2. いいえ／3. → 2の質問へお進み下さい

質問2：事故予防に関する内容は印象に残っていますか。（どちらかに○）

1. はい　2. いいえ

2. いいえ → 2の質問へお進み下さい

質問3：印象に残っていることは何ですか。（○はいくつでも）

1. 表紙にお子さまのお名前の入った事故防止パンフレット　2. 事故予防の歌入りビデオ
3. 展示してあった安全対策の物品やパネル　4. 子どもの視野体験めがね（工作用）
5. 保健師さんの事故予防に関する話　6. その他（　　　）

質問4：事故予防に関する内容は役立ちましたか。（どちらかに○）

1. はい　2. いいえ

2. いいえ → 2の質問へお進み下さい

質問5：役立ったことは何ですか。（○はいくつでも）

1. 表紙にお子さまのお名前の入った事故防止パンフレット　2. 事故予防の歌入りビデオ
3. 展示してあった安全対策の物品やパネル　4. 子どもの視野体験めがね（工作用）
5. 保健師さんの事故予防に関する話　6. その他（　　　）

2. ご家族の状況などについてお尋ねします。

質問1：アンケート調査をお願いしたお子さま（方）より年下に赤ちゃんはいらっしゃいますか。（どちらかに○）

1. 年下の赤ちゃんがいる　2. 年下の赤ちゃんはいない

質問2：あなた（おかあさま）は現在、仕事をされていますか。（どちらかに○）

1. 仕事をしている（パートタイムを含む）　2. 仕事をしていない（産休・育休を含む）

質問3：ご家庭で主にお子さまの世話をしている方はどなたですか。（○はいくつでも）

1. おとうさま　2. おかあさま　3. お祖父さま　4. お祖母さま　5. おじさま　6. おばさま
7. その他（　　　）

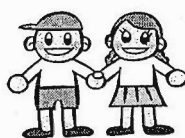
年齢別でみる乳幼児事故防止パンフレット

様へ

安全・安心子育て みんなで気をつけよう!!

1

目　次

事故の氷山図
（田中哲郎：新子どもの事故防止マニュアル．診断と治療社，2000より）

はじめに

子どもの死因の第１位は『不慮の事故』ということをご存じですか？

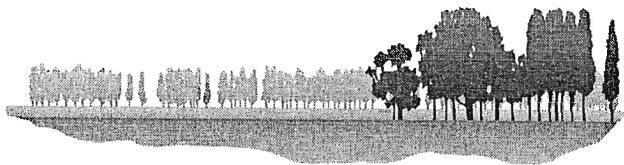
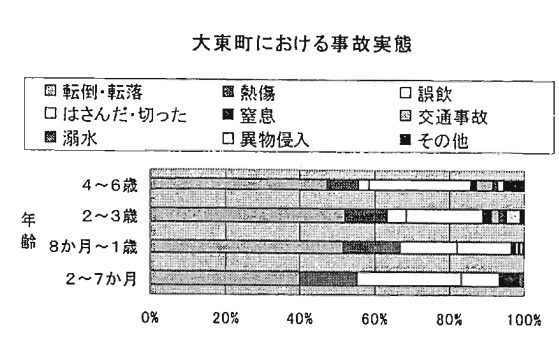
近年、1～14歳の子どもの死因の第１位は『不慮の事故』です。平成13年の統計によれば1～14歳の全死亡のうち不慮の事故が原因となっているものが約15%を占めています。

また、死に至らない多くの事故が起こっています。左図の「事故の氷山図」のように事故の発生は潜在的に多く、1～4歳の死亡１件に対して、医療機関を受診したのは約2,600件、家庭で処置が10万件、無処置で経過をみたのが19万件と推測されます。

その一方で、子どもの事故は、親たちが子どもの発達や行動パターンを理解し、的確に対応することで、予防が可能です。このため、「すこやか親子21」など、国を挙げて、子どもの事故予防への取り組みがなされています。

そこで、事故の起きやすい状況を知るとともに、みんなで子どもを事故から守るために日頃から安全に気をつけ、安心して子育てができるようにしましょう。

Ⅰ．こんなときは危ない！

子どもの事故といっても、年齢や発達の程度により、発生頻度や事故の内容が異なります。
下図は、昨年お隣の大東町において私たちが調査したものです。
その他の地域の調査でも同様の結果が得られています。

子どもは本来、事故にあいやすいものです。
しかし、他のお子さまよりも事故にあう確率の高いお子さまもいます。
左記の調査から、以下のようなお子さまや状況が事故につながりやすいという結果が得られました。

①下にきょうだいがいるお子さま
（特に、お兄ちゃんの場合）
・下にきょうだいがいる場合、上の子に十分な注意をはらえない場合があります。
特に男児の場合、女児に比べ事故経験が多く、全国的にも同様の結果が得られています。

②お子さまの面倒を見る人が少ない

③お母さまが子育てに負担を感じている
・お子さまの面倒をみる人が少なかったり、お母さんが子育てに対して身体的・精神的な負担を感じている場合、どうしても心に余裕がなく、事故に対する注意が不足がちになります。

2

Ⅱ．子どもの事故を予防するには

1．お子さまの生活する環境を整えましょう。

ひざを床につけて、お子さまの目線で部屋から部屋へ移動してみましょう。
どんなものがお子さまの目につきますか？
どこまで手が届きますか？

<安全な環境をつくるポイント>
①お部屋の中の小物などを整理整頓しておく。
②ベビー用品やおもちゃなどの取扱説明書や使用上の注意をよく読み、使用法をきちんと守る。
③ベッド，イス、衣服などの購入時は安全性や耐久性に注意する。

2．お子さまに目を配りましょう。

①お子さまの発達や行動パターンを知っておきましょう。
②お子さまを抱いたり、おぶったりするときは、周りの安全を確認して行動しましょう。
③お子さまをお家に一人にして外出しないようにしましょう。
④車から降りるときは必ず、お子さまも一緒に降ろしましょう。
⑤お子さまが大きくなったら、危ない場所や交通ルールなどを教えましょう。

3．子育てに対する負担感を和らげましょう

大東町の調査では、家族が子育てに協力してくれると感じているお母さまのお子さまは、事故の経験がないお子さまが多いとの結果が得られました。
家族が協力して、お母さまの子育てに対する負担感を和らげることも、事故を減らす一つの手段です。
子育てを一人で気負わないで、お父さまがお休みの日には1～2時間お子さまを預けてショッピングに行くとか、育児に疲れているときには思い切って実家に帰って、おばあさま・おじいさまに甘えてみてはいかがですか。

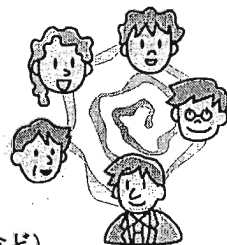
<子育てに対するポイント>

①子育ては家族・地域ぐるみで！

②時には母親休業日を作って、自分自身をみがこう！

③育児支援センターや育児サークルをうまく活用しよう！

④育児情報（雑誌、インターネットなど）をどんどん活用！

⑤悩んだら、思い切ってカウンセリングや育児相談のドアをたたこう！

Ⅲ．みんなで子どもを守ろう!!

お父さまへ

お母さまが子どもに振り回されて、疲れがたまりいらだっていてはいい育児もできず、また、事故の原因にもなりかねません。

ひとりよりはふたりですれば
・・・・よい知恵もでる
・子育ても楽しい
・幸せ気分になれる

ところでお母さまが
ひとりで自由に過ごせる時間はありますか？

安全対策こそお父さまの出番

お子さまは成長・発達に伴って、動きも活発になり、好奇心もわき出してきます。

おうちの中に段差や危険な場所はありませんか？特に、敷居や階段、角のある壁や家具、ドアや戸の隙間には、事故が起きないような工夫や、衝撃が少なくなるような工夫をしましょう。現在、安全対策グッズが販売されていますが、牛乳パックやラップ類の芯などを利用して、手作りの安全対策グッズもできます。

お休みの日に、おうちの中を見直し、お子さまの事故予防に、お父さまの腕をふるってみてください。

いざというときは冷静に対処しましょう

お子さまがけがをして大泣きしていると、親は焦ってしまい、出血していればよけいに何をしていいのかわからなくなってしまいます。そんな時こそ、冷静に対処しましょう。

日頃から、応急処置については学んでおきましょう。

おばあさま・おじいさまへ

今日の若い家族にはストレスが多く、それがお孫さまに影響し、事故なども多くなってきます。

おばあさま・おじいさまの暖かな支えで、若い親は安心し、前向きな気持ちになれます。

子育て経験をいかしながら、若い親たちにいい知恵を伝えていってあげてください。

お孫さまの目線でおうちの中をチェックしましょう!!

☆薬をお菓子の缶に入れてませんか？

☆子どもが興味を持ちやすいビンにお酒や洗剤を入れてませんか？

☆ジュースの缶を灰皿代わりにしていませんか？

Ⅳ．２～７か月のお子さまに対する事故予防

5

この時期の事故順位
転倒・転落
誤飲
やけど
はさんだ・切った
窒息・溺水

1．この時期のお子さまは？　～自分の力で移動が可能になる時期～

子どもの発達は早いもので、動きが少なかったお子さまが、手足をバタつかせてベッド上を移動したり、突然寝返りをうつこともあります。また、手に触れる物を握ったり、なめたりするようにもなります。

2．こんな事故、こんなところに気をつけましょう!!

★寝返りや体を反ったり、ずり上がるなどの移動により柵のないベッド等からの転落

★親がつまずいたり、誤って落とす

大東日記：ベッドの上で枕に乗って柵から身を乗り出し、床に転落。頭にこぶができました。

安全対策

①ベッドの柵を必ず上げておきましょう。

②ソファやテーブルなどの高いところには寝かせないようにしましょう。

③ラックやベビーカーに乗せるときはベルトをきちんと締めるようにしましょう。

④お子さまを抱いているときは足元に注意を十分払いましょう。
- ・カーペットや段差に注意。
- ・階段は明るく、滑り止めを。

⑤クーハン（かご）での移動時は両方の取っ手をしっかり握っているか確認して持ち上げましょう。

★手に触れる物は何でも口に入れることによる、タバコや小物、ビニールなどの誤飲

大東日記：床に落ちていたビニール製のシールを口の中に入れていました。

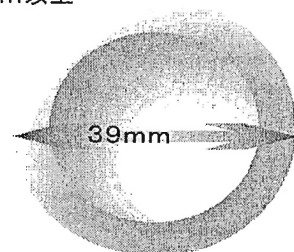
安全対策

①部屋の中は整理整頓し、タバコや灰皿、小物、ビニール袋などはお子さまの手の届かないところに置きましょう。
お子さまの口の大きさは最大 39 ㎜。
それより小さいものは床から1ｍ以上の高さの所へ置きましょう。

②ジュースの缶を灰皿にしないでください。

③自宅だけではなく、実家や外出先でも注意しましょう。

No.3

やけど

★熱いミルクをを飲ませたことによるやけど
★熱いお風呂によるやけど
★保護者が熱いものを扱っているときに、誤って子どもにかかった時のやけど

大東日記：ポットの湯気が出ているところに手をやって赤くなってしまいました。

安全対策

①ミルクやお風呂の温度は必ず確かめましょう。
②片手でお子さまを抱きながら、熱いものを食べたり、飲んだり、運んだりしないようにしましょう。

No.4

はさんだ切った

★ドアに手をはさむ
★おもちゃの継ぎ目やささくれにより、口や手を切る

大東日記：ベビーカーの隙間から手が出ていて、リクライニングを倒したら、指を挟んでしまいました。

安全対策

①ドアや扉などの開閉時にはお子さまの手や足の位置を確認しましょう。
②開けっ放しのドアは強風で閉まらないように、ドアストッパーなどで固定しましょう。
③おもちゃは壊れたところやとがったところが無いか、遊ぶ前に確認しましょう。

No.5

窒息

★やわらかい布団でのうつぶせ寝による窒息
★ベッド柵とマットレスの隙間に頭を入れ窒息
★よだれかけのひもによる窒息

安全対策

①硬めの敷き布団を使用し、仰向けに寝かせましょう。
②うつぶせ寝の時は注意してみていましょう。
③ベッド柵とマットレスの間に隙間のないように使用しましょう。
隙間ができる場合はタオルなどを詰めましょう。
④首のヒモ類は注意し、寝かせるときははずしましょう。
⑤離乳食は、適切な大きさ、硬さにして食べさせましょう。

No.6

溺水

★親の不注意による入浴中の溺水

安全対策

①入浴中のお子さまから目を離さないようにしましょう。
②入浴中は、着替えを取りに行ったり、電話に出たりなどせず、お子さまを短時間でも一人にしないようにしましょう。

メモ

6

7

V. 8か月～1歳のお子さまに対する事故予防

この時期の事故順位
転倒・転落
誤飲
やけど
はさんだ・切った
窒息

1. この時期のお子さまは？　～ハイハイ歩行により移動が始まる時期～

この月齢になってくると、お座り、ハイハイ、つかまり立ち、歩行などが可能になり、行動範囲が広がってきます。
また、指でものをつかむのも上手になり、何でも口に持っていこうとします。

2. こんな事故、こんなところに気をつけましょう!!

No.1

転倒転落

★じゅうたんや敷居の段差、床においてあるものにつまずいて転倒
★転んだときに家具や敷居、おもちゃ等の角で打撲
★階段や玄関、窓やベランダ、イスやベビーカーからの転落

大東日記：階段上につけてあるベビーゲードを閉め忘れ、上から下を覗いて階段の下まで落ちてしまいました。

安全対策

①敷居や段差のあるところは手をつないで歩きましょう。
②階段の上下には安全柵をつけましょう。
③床にものを置かないようにしましょう。
④家具やテーブルに限らず、角のあるところはクッション材でガードしておきましょう。
⑤階段や玄関などの段差のあるところは、子どもが自由にいけないような工夫をしましょう
⑥窓の側やベランダには踏み台になるようなものは置かないようにしましょう。
⑦イスやベビーカーに乗せるときはベルトを着用しましょう。

No.2

誤飲

★手に触れる物は何でも口に入れ誤飲
・タバコや薬品・洗剤、化粧品
・おもちゃ、硬貨、ピーナッツ、あめ玉等

大東日記：おばあちゃんが抱いていて、服のボタンがなくなったと思ったら、翌日、子どもの便からボタンが出てきたんです。

〔こんな物を誤飲〕防虫剤，トイレの芳香剤，石ヘアピン，シャボン玉の液など

安全対策

①部屋の中は整理整頓し、タバコや薬品、洗剤、化粧品などはお子さまの手の届かないところに置きましょう。
②ジュースの缶を灰皿にしないようにしましょう。
③おもちゃの電池がはずれやすくないか確認しましょう。
（特にボタン電池は危険）
④自宅だけではなく、実家や外出先でも注意しましょう。

No.3

やけど

★熱い食べ物が入った食器や調理器具、ストーブやアイロン、ポット、炊飯器によるやけど
★テーブルクロスを引っ張り、頭からみそ汁などの熱いものをかぶってやけど
大東日記：お墓参りに行って、火のついたお線香を突然握り、水疱ができました。

安全対策
①熱い食べ物が入った食器や調理器具、アイロン、炊飯器などはお子さまの手の届かないところに置きましょう。
②ストーブやポットなどをさわらないような工夫（安全柵など）をしましょう。
③テーブルクロスは敷かないようにしましょう。

No.4

はさんだ切った

★ドアや扉に手をはさむ
★カミソリやナイフ、はさみなどで手や口を切る
大東日記：玄関の蝶つがいのところに手を挟み、腫れ上がってしまいました。

安全対策
①ドアや扉の開閉時にはお子さまの手や足の位置を確認しましょう。
②テレビ台の扉やビデオデッキのテープ取り出し口は、カバーで覆い、開けられないようにしましょう
③カミソリやナイフ、はさみなどはお子さまの手の届かないところに置きましょう。

No.5

窒息

★風船やビニール袋などによる窒息
★食べ物がのどにつかえる
大東日記：おじいさんの焼きそばを欲しがって、あげたら、のどに詰まってしまいました。

安全対策
①風船やビニール袋などは子どもの手の届かないところに置きましょう。
②ピーナッツ類は3歳を過ぎるまでは与えないようにしましょう。
③食べ物は硬さや大きさ、口の中に入れる量を考え、ゆっくりと食べさせましょう。

No.6

溺水

★親の不注意による入浴中の溺水
★浴槽への転落による溺水

安全対策
①入浴中のお子さまから目を離さず、短時間でも一人にしないようにしましょう。
②子どもが簡単に浴室に入れないように、ドアには外鍵をつけましょう。

交通事故

★自動車に同乗中の急停車や衝突による打撲

安全対策
①車に乗せるときは年齢にあったチャイルドシートを後部座席に取り付け使用しましょう。

9

Ⅵ. 2～3歳のお子さまに対する事故予防

1. この時期のお子さまは？～自我や知的好奇心が強くなり行動範囲が広がる時期～

この時期には、一人でうまく歩行ができるようになり、より一層行動範囲が広くなります。また、いろいろなものに興味を示し、探索活動が始まってきます。

この時期の事故順位
転倒・転落
はさんだ・切った
やけど
誤飲
異物侵入・窒息

2. こんな事故、こんなところに気をつけましょう!!

No.1

転倒転落

★階段や玄関、窓やベランダ、ベッド・イスやベビーカーからの転落
★じゅうたんや敷居の段差、床においてあるものにつまずいて転倒
★転んだときに家具や敷居、おもちゃ等の角で打撲
大東日記：スーパーのカートに乗ったまま階段から落ち、頭を打ってこぶができてしまいました。

安全対策
①階段の上り下りは、必ず大人が下側にいるようにしましょう。
②階段の上下には安全柵をつけましょう。
③窓の側やベランダには踏み台になるようなイスや箱などを置かないようにしましょう。
④イスやベビーカーに乗せるときはベルトを着用しましょう。
⑤部屋の中は整理整頓し、子どもの周りにつまずきやすい物や段差がないか確認しましょう。
⑥床にものを置かないようにしましょう。
⑦家具やテーブルに限らず、角のあるところはクッション材でガードしておきましょう。

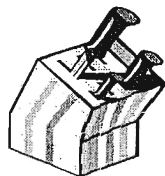
No.2

はさんだ切った

★ドアや扉に手や足をはさむ
★カミソリやナイフ、はさみ等で手や口を切る。
大東日記：ボーリング場で、ボーリングの球が返ってくるところに手を突っ込み、ボールが出てくるところに手が挟まり、腫れてしまいました。

安全対策
①ドアや扉の開閉時にはお子さまの手や足の位置を確認しましょう。
②テレビ台の扉やビデオデッキのテープ取り出し口は、カバーで覆い、開けられないようにしましょう。
③カミソリやナイフ、はさみなどはお子さまの手の届かないところに置きましょう。

No.3

やけど

★熱い食べ物が入った食器や調理器具、ストーブやアイロン、ポット、炊飯器によるやけど
★テーブルクロスを引っ張り、頭からみそ汁などの熱いものをかぶってやけど
★カップラーメンを倒してやけど
大東日記：使ったばかりのアイロンを自分で倒して手の甲にやけど。

安全対策

①熱い食べ物が入った食器や調理器具、アイロン、炊飯器、ポットなどは子どもの手の届かないところに置きましょう。
②ストーブやヒーターなどをさわらないような工夫（安全柵など）をしましょう。
③テーブルクロスは敷かないようにしましょう。

No.4

誤飲

★手に触れる物は何でも口に入れることによる誤飲（タバコ，薬品・洗剤，化粧品，おもちゃ，硬貨，ピーナッツ，あめ玉等）
大東日記：安全ピンを飲み込み入院。下剤で便の中から出てきました。
〔こんな物を誤飲〕風邪薬の水薬、便秘薬 お菓子の缶ケースのおばあちゃんの降圧剤

安全対策

①お部屋は整理整頓し、タバコや薬品、洗剤、化粧品などはお子さまの手の届かないところに置きましょう
②ジュースの缶を灰皿にしないようにしましょう。
③自宅だけではなく実家や外出先でも注意しましょう。

No.5

異物侵入

★手に触れる物をおもちゃにして耳や鼻に入れることによるけが
〔こんなものを詰めた〕
鼻の中へ花の種やこんぺいとう
耳の中へブラジャーのワイヤー

安全対策

①部屋の中は整理整頓し、小物はお子さまの手の届かないところに置きましょう
②小物を耳や鼻に入れて遊ばないように注意しましょう。

窒息

★あめ玉や豆、こんにゃくゼリーなどによる窒息

安全対策

①食べ物は硬さや大きさ、口の中に入れる量を考え、ゆっくりと食べさせましょう。

No.6

溺水

★浴槽への転落による溺水
★水遊び中の溺水

安全対策

①浴室のドアには外鍵をつけましょう。
②水遊びの際にはそばにいて安全を確認しましょう。

交通事故

★自動車や自転車に同乗中の急停車や衝突による転落・打撲
★三輪車に乗っていて、車との接触・衝突

安全対策

①車に乗せるときは年齢にあったチャイルドシートを後部座席に取り付け使用しましょう。
②自転車に相乗りさせる時は幼児用座席のベルトをしめましょう。
③お子さまが三輪車に乗る場合は、そばで安全を確認しましょう。

10

Ⅶ．４歳～小学校入学前のお子さまに対する事故予防

11

1．この時期のお子さまは？　～幼稚園など家庭外での集団生活が営まれる時期～

この時期になると、走ったり、登ったり活発な運動ができる一方、周囲の状況に対する判断は十分にできません。
また、活動の場がおうちの中から、外に出る機会も多く、母親だけの気配りではきかなくなってきます。

この時期の事故順位
転倒・転落
はさんだ・切った
やけど
交通事故
誤飲・窒息

2．こんな事故、こんなところに気をつけましょう!!

No.1

転倒 転落

★ソファやイスを踏み台にして窓からの転落
★ビール瓶のケースやエアコンの室外機などを踏み台に、ベランダから転落
★公園の遊具（ブランコなど）からの転落
★おもちゃなどにつまずいて転倒
大東日記：鯉のぼりを握ったとき、強い風で吹き飛ばされ、腕を脱臼してしまいました

安全対策

①窓の側やベランダには踏み台になるようなものは置かないようにしましょう。
②おもちゃや遊具の正しい使い方を教えましょう。
③部屋の中は整理整頓し、お子さまにもおもちゃなどを片づけることを教えましょう。

No.2

はさんだ 切った

★ドアや扉に手や足をはさむ
★カミソリやナイフ、はさみなどで手や口を切る
★歯ブラシをくわえたまま転倒し、口を切る
大東日記：皮むき器をいじっていて手を切ってしまいました

安全対策

①ドアや扉の開閉時にはお子さまの手や足の位置を確認しましょう。
②カミソリやナイフ、はさみなどはお子さまの手の届かないところに置きましょう。
③歯ブラシなどを口にくわえたまま歩き回らないよう、注意しましょう。

＜子育て支援情報＞※詳細は、各場所におたずねください

菊川町

＜プラザけやき＞
①**乳幼児相談**：乳幼児身体計測、相談など
②**子育て支援センター**：育児相談や子育て情報提供
③**児童館**：児童の健全育成、母親クラブ等の育成
④**おもちゃ図書館**：障害のある子供たちがおもちゃ等での遊び交流

＜地域子育て支援＞
①**園庭開放・社会交流**
場所：内田保育園　TEL 0537-35-3407
　小笠郡菊川町中内田 4744-1
②**お山の子育てサロン**：家庭育児の方に園を開放し、遊びの場や親同士の交流の場を提供
場所：愛育保育園　TEL 0537-35-2504
　小笠郡菊川町堀之内 69
※園庭開放などは他の保育園でも実施していますので、お問い合わせください。

＜子育て支援ボランティア＞
①**りぼん**：児童館、子育て支援センターを中心に活動している託児ボランティアサークル
問い合わせ：プラザけやき内
　TEL 0537-37-1135
　（火）～（土）　8:30 ～ 17:00

小笠町

＜児童館　子育て支援＞
①**自由来館**：楽しいおもちゃがいっぱい
実施日時：火～土　8:30 ～ 16:30
　（毎月第3土曜日はお休み）
②**ちびっこお楽しみ館**：親子ふれあい遊びや手遊び、リズム遊び、絵本、パネルシアターなど
実施日時：毎月第2・第4(火)
　10:00 ～ 11:00
※お弁当を持ってきていい日もあります。
③**子育て相談**：家庭相談員による子どもの発達、しつけ等のお話と個人相談
実施日時：2002.11/27
　2003.1/28，3/25
　11:00 ～ 12:00
④**移動児童館**：各地区を巡回
※①～②の詳細は「児童館だより」をご覧ください。

＜保健センター　子育て支援＞
①乳幼児相談「**にこにこ広場**」：
・乳幼児の身体計測、相談等、おかあさんやお子さんのお友達づくりの場としてもご利用下さい。
※日程はinfo. おがさ「保健だより」をご覧下さい。

児童館・保健センター問い合わせ：
　TEL 0537-73-5533

浜岡町

＜子育て支援センター＞
・未就園の乳幼児に施設を開放し、遊び場を提供したり、親同士の交流や情報交換、育児相談の場を提供
①**にこにこランド**
場所：高松保育園
　小笠郡浜岡町門屋 2070 － 650
　TEL 0537- 86-9595
②**さくらんぼ広場**
実施日時：毎週(火・木)10:00 ～ 11:30
場所：佐倉保育所
　小笠郡浜岡町佐倉 918-2
　TEL 0537-86-4943
③**なかよしっ子**
実施日時：月2回　9:30 ～ 11:00
場所：浜岡保育所
　小笠郡浜岡町池新田 2331-6
　TEL 0537-86-2211

＜児童館　子育て支援＞
親子体操・リズム遊び・幼児教室など
場所：浜岡町中央児童館
　小笠郡浜岡町池新田 1359-1
　TEL 0537-86-8066
＜健康センター＞
①**ひよこ相談、赤ちゃんの自由測定日など**
場所：浜岡町健康センター
　TEL 0537-86-7015
問い合わせ：TEL 0537-86-8830

14

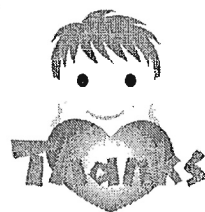
アッ、あぶないよー
～子どもの事故予防の歌～

作詞：臼井　雅美
作曲：川口　千鶴

1．ぼくの大好きなカップ・ラーメン、はやく食べたいけーど
　掃除・買い物・お洗濯　ママは忙しい
　「ぼく、ひとりで食べちゃおうか」
　で・も・ね！
　ラーメンのつゆは、アッチッチ、アッチッチ
　気をつけないと、やけどしてしちゃうよ
　だから、大好きなラーメン
　大好きなママと、いっしょに食べようね

2．私の好きな、お・ふ・ろ、パパと入りたいけーど
　パパはお仕事忙しい、まだ帰らない
　「私、ひとりで入っちゃおうか」
　で・も・ね！
　おふろですべって、アップップ、アップップ
　気をつけないとおぼれてしまう
　だから、大好きなお・ふ・ろー
　大好きなパパと、いっしょに入ろうね

3．ぼくの大好きな、ぴーちゃん、おばあちゃん家のベランダの
　天井のカゴでさびしそう、手が届かない
　「ぼく、ひとりで遊ぼうか」
　で・も・ね！
　イスが倒れたら、イッタッタ、イッタッタ
　気をつけないと転んでじゃうのさ
　だから、大好きなぴーちゃん
　おばあちゃんと、いっしょに遊ぼうねー

安全・安心子育て

みんなで気をつけよう!!

このパンフレットに関する連絡先

「乳幼児の事故に関する調査」研究班
　代表　日沼千尋
　〒162-8666 東京都新宿区河田町８－１
　東京女子医科大学看護学部小児看護学
　TEL & FAX　03-3357-4874

2〜7か月児用

乳児相談　乳幼児の事故予防チェックリスト

お子さまのお名前 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　性別　男・女

生年月日　平成　　年　　月　　日（　　歳　　か月）

今回健診のお子さまのごきょうだいの有無

	パンフレットNo.
あり（性別と年齢　　　　　） なし	2,5,6,7,8,9,10,11,12

以下について、「はい」か「いいえ」のいずれかに○をしてください

			パンフレットNo.
1. 最近、お子さまがけがをしたり、事故にあったりしたことがありますか？	はい	いいえ	2,3,4,5,6

2. 現在、ご家庭で以下の安全対策について行っていますか？。

1)おもちゃやベビー用品の安全性の確認	はい	いいえ	3
2)お子さまを家や車の中に一人きりにしない	はい	いいえ	3
3)お子さまが寝るベッドやラックでの転倒・転落予防	はい（使用しない）	いいえ	5
4)お子さまを抱いたり、おんぶしているときの自分の足元・周囲に注意	はい	いいえ	5
5)ビニール袋や小物、タバコなどを誤飲しないような対策	はい	いいえ	5
6)お子さまがやけどしないような対策	はい	いいえ	6
7)お子さまがドアなどに手を挟まないような対策	はい	いいえ	6
8)お子さまが布団やヒモなどで窒息しないような対策	はい	いいえ	6
9)お子さまがお風呂などでおぼれないような対策	はい	いいえ	6
10)お子さまを交通事故から守る対策	はい	いいえ	13

3. 子育ての現状についておたずねします。

1)お子さまの面倒を見ている方はあなた以外にいらっしゃいますか？	はい	いいえ	2,3,4
2)あなたのご家族は子育てに協力的ですか？	はい	いいえ	4
3)お子さまのことで、どうしたらよいかわからないことがありますか？	はい	いいえ	2,3
4)お子さまをわずらわしいと思うことがありますか？	はい	いいえ	14

記入された方とお子さまとの関係＿＿＿＿＿＿＿＿

※以下は記入しないでください

保健師欄	事故予防パンフ個別指導　済

もし事故が起こってしまったら

救急車　１１９番

中毒１１０番　（財）日本中毒情報センター
＊通話料＋情報提供料（３分間３００円）

★つくば中毒１１０番
TEL　０９９０－５２－９８９９（９：００〜１７：００）

★大阪中毒１１０番
TEL　０９９０－５０－２４９９（２４時間年中無休）

安心子育て応急ダイヤル
・乳幼児の事故防止と応急手当情報
TEL　０５４－２７５－２２０３（２４時間年中無休）

休日診療
☆共立菊川総合病院　TEL０５３７－３５－２１３５
☆町立浜岡総合病院　TEL０５３７－８６－８５１１
☆掛川市立総合病院　TEL０５３７－２２－６２１１

かかりつけ医　〜メモしておきましょう〜
TEL

救急車を呼ぶときには

①［１］［１］［９］番　「救急です」

②住所・氏名などを、あわてず答えましょう。
下記にあらかじめ記入しておきましょう。

住所：
誰にでもわかるような目印：
氏名：
電話番号：

③事故の状況と症状を説明しましょう。
「いつ：　　」
「何歳の：　　」
「誰が：　　」
「どこで：　　」
「どうしたのか：　　」

④到着するまでに必要があれば、応急手当の指示を受けましょう。

⑤健康保険証，お金，着替えの準備

2歳～3歳11か月児用

３歳児健診　乳幼児の事故予防チェックリスト

お子さまのお名前 ＿＿＿＿＿＿＿＿　性別　男・女

生年月日　平成　　年　　月　　日（　　歳　　か月）

今回健診のお子さまのごきょうだいの有無

	パンフレットNo.
あり（性別と年齢　　　　　　　） なし	2,5,6,7,8, 11,12

以下について、「はい」か「いいえ」のいずれかに○をしてください

質問			パンフレットNo.
1. 最近、お子さまがけがをしたり、事故にあったりしたことがありますか？	はい	いいえ	2,3,4,9,10

2. 現在、ご家庭で以下の安全対策について行っていますか？			
1)おもちゃやベビー用品の安全性の確認	はい	いいえ	3
2)お子さまを家や車の中に一人きりにしない	はい	いいえ	3
3)お子さまが階段，窓やベランダ，イスやベビーカーからの転落予防	はい	いいえ	9
4)お子さまが段差やものにつまずくなどの転倒予防	はい	いいえ	9
5)お子さまがドアや扉などに手・足を挟まないような対策	はい	いいえ	9
6)お子さまがカミソリやナイフなどで手を切らないような対策	はい	いいえ	9
7)お子さまがやけどしないような対策	はい	いいえ	10
8)タバコや薬品，洗剤，小物などを誤飲しないような対策	はい	いいえ	10
9)お子さまが鼻や耳にものを入れて遊ばないような対策	はい	いいえ	10
10)お子さまが食べ物などで窒息しないような対策	はい	いいえ	10
11)お子さまがお風呂やプールなどでおぼれないような対策	はい	いいえ	10
12)お子さまを交通事故から守る対策	はい	いいえ	10/13

3. 子育ての現状についておたずねします。			
1)お子さまの面倒を見ている方はあなた以外にいらっしゃいますか？	はい	いいえ	2,3,4
2)あなたのご家族は子育てに協力的ですか？	はい	いいえ	4
3)お子さまのことで、どうしたらよいかわからないことがありますか？	はい	いいえ	2,3
4)お子さまをわずらわしいと思うことがありますか？	はい	いいえ	14

記入された方とお子さまとの関係＿＿＿＿＿＿＿＿

※以下は記入しないでください

保健師欄	事故予防パンフ個別指導　済

8か月～1歳11か月児用

１歳６か月健診　乳幼児の事故予防チェックリスト

お子さまのお名前 ＿＿＿＿＿＿＿＿　性別　男・女

生年月日　平成　　年　　月　　日（　　歳　　か月）

今回健診のお子さまのごきょうだいの有無

	パンフレットNo.
あり（性別と年齢　　　　　　　） なし	2,5,6,9,10, 11,12

以下について、「はい」か「いいえ」のいずれかに○をしてください

質問			パンフレットNo.
1. 最近、お子さまがけがをしたり、事故にあったりしたことがありますか？	はい	いいえ	2,3,4,7,8

2. 現在、ご家庭で以下の安全対策について行っていますか？			
1)おもちゃやベビー用品の安全性の確認	はい	いいえ	3
2)お子さまを家や車の中に一人きりにしない	はい	いいえ	3
3)お子さまが階段，窓やベランダ，イスやベビーカーからの転落予防	はい	いいえ	7
4)お子さまが段差やものにつまずくなどの転倒予防	はい	いいえ	7
5)タバコや薬品，洗剤，小物などを誤飲しないような対策	はい	いいえ	7
6)お子さまがやけどしないような対策	はい	いいえ	8
7)お子さまがドアや扉などに手を挟まないような対策	はい	いいえ	8
8)お子さまがカミソリやナイフなどで手を切らないような対策	はい	いいえ	8
9)お子さまが風船やビニール袋，食べ物などで窒息しないような対策	はい	いいえ	8
10)お子さまがお風呂などでおぼれないような対策	はい	いいえ	8
11)お子さまを交通事故から守る対策	はい	いいえ	8/13

3. 子育ての現状についておたずねします。			
1)お子さまの面倒を見ている方はあなた以外にいらっしゃいますか？	はい	いいえ	2,3,4
2)あなたのご家族は子育てに協力的ですか？	はい	いいえ	4
3)お子さまのことで、どうしたらよいかわからないことがありますか？	はい	いいえ	2,3
4)お子さまをわずらわしいと思うことがありますか？	はい	いいえ	14

記入された方とお子さまとの関係＿＿＿＿＿＿＿＿

※以下は記入しないでください

保健師欄	事故予防パンフ個別指導　済